

Nikon

ソフトウェア

NX Studio

Ver.1.10

使用説明書

- この使用説明書の内容は、オンライン（HTML）でも閲覧できます。

<https://nikonimglib.com/nxstdo/onlinehelp/ja/>

- Nikon ID について

NX Studio を使用するには、Nikon ID が必要です。Nikon ID については以下をご覧ください。

<https://accounts.cld.nikon.com/other/whatIsNikonId>

■ Nikon Transfer 2

NX Studio と一緒にインストールされる Nikon Transfer 2 を使用すると、画像をパソコンに転送できます。Nikon Transfer 2 の使用方法については下記の使用説明書をご覧ください。

- PDF 形式の使用説明書は、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

[Nikon Transfer 2 使用説明書 \(PDF\)](#)

- 使用説明書の内容は、オンライン（HTML）でも閲覧できます。

<https://nikonimglib.com/ntran2/onlinehelp/ja/>

目次

NX Studio について	5
NX Studio でできること.....	5
NX Studio の基本的な操作の流れ.....	7
NX Studio の各部名称.....	12
対応フォーマットについて.....	29
画像を表示する	31
ビューエリアについて.....	31
ビューアーの画像表示方法を変更する.....	34
フィルムストリップを表示する.....	46
全画面表示する.....	48
動画を再生する.....	51
下部ツールバーについて.....	52
画像を比較表示する.....	57
画像を絞り込む	62
画像を絞り込む方法について.....	62
レーティングを付ける.....	63
ラベルを付ける.....	67
画像をプロテクトする.....	71
詳細なフィルターで画像を絞り込む.....	74
画像を調整する	78
調整タブについて.....	78
HLG 静止画の調整可能項目一覧.....	88
ピクチャーコントロール.....	92
ピクチャーコントロール (フレキシブルカラー).....	102
ピクチャーコントロール (HLG).....	113
ホワイトバランス.....	116
露出補正.....	119
アクティブ D-ライティング.....	120
かすみ除去.....	121
明るさと色の調整.....	122

レベルとトーンカーブ.....	124
LCH エディター.....	128
カラーブースター.....	137
美肌効果.....	138
人物印象調整.....	139
ノイズリダクション.....	140
シャープ調整.....	142
フィルムグレイン.....	145
レタッチブラシ.....	146
カラーコントロールポイント.....	150
トリミング.....	160
傾き補正.....	165
アオリ効果.....	169
カメラ補正.....	170
レンズ補正.....	172
調整履歴設定.....	176
デジタル化されたネガフィルム画像をネガポジ変換する.....	177
調整した内容を他の画像に適用する.....	182
カスタムピクチャーコントロール.....	194
カスタムピクチャーコントロールについて.....	194
カスタムピクチャーコントロールファイルを読み込む/書き出す.....	199
ピクセルシフト撮影で撮影された画像を合成する.....	207
ピクセルシフト撮影について.....	207
ピクセルシフト撮影で撮影された画像を合成する.....	208
スライドショーを見る.....	213
フォルダー内の画像をスライドショーで見る.....	213
Web にアップする.....	217
Web サービスを活用する.....	217
NIKON IMAGE SPACE にアップする.....	218
印刷する.....	221
画像を印刷する.....	221
情報を印刷する.....	224

インデックスプリントで印刷する.....	228
画像を書き出す（ファイル変換）.....	229
ファイル変換して書き出す.....	229
環境設定.....	235
環境設定について.....	235
[一般].....	236
[サムネイル].....	237
[ビューアー].....	238
[お気に入りフォルダー].....	239
[ダイアログ/警告].....	240
[カラーマネージメント].....	241
[レベルとサンプリング].....	243
[ファイルを開くアプリケーション].....	244
[XMP/IPTC プリセット].....	245
[ラベル].....	246
[表示].....	247
[RAW 現像].....	248
[Web サービス].....	249
[保存].....	250
メニュー一覧.....	254
[ファイル] メニュー.....	254
[NX Studio] メニュー（macOS のみ）.....	257
[編集] メニュー.....	258
[ブラウザー] メニュー.....	260
[画像] メニュー.....	261
[調整] メニュー.....	263
[表示] メニュー.....	265
[ウィンドウ] メニュー.....	268
[ヘルプ] メニュー.....	269

NX Studio について

NX Studio でできること

NX Studio はニコン製デジタルカメラで撮影した静止画の閲覧と調整を行うソフトウェアです。パソコンに転送した静止画を閲覧、調整できます。画像を Web にアップしたり、ピクセルシフト画像を合成するなど、さまざまな機能を備えています。

基本的な機能

Nikon Transfer 2 などを使用してパソコンに転送した画像の閲覧および画像の調整を行います。調整した画像を Web にアップしたり、印刷して楽しむことも簡単に行えます。

画像を表示する

画像をサムネイルで一覧表示して、素早く目的の画像を探し出せます。選んだ画像を 1 枚表示で大きく表示すれば、画像の細部まで確認できます。複数画像を並べて表示して、使用する画像を比較しながら検討できます。調整前後の比較表示もできるため、効果を確認しながら画像の調整が行えます。

動画の再生について

NX Studio では、動画はサムネイルの表示のみ可能です。サムネイルをダブルクリックすると、OS で関連付けられた外部のソフトウェアを起動します。

画像を絞り込む

画像にラベルやレーティングを付けて、表示する画像を絞り込めます。目的の画像を素早く探すことができ、作業を効率的に進めることができます。

画像を調整する

静止画の明るさや色味などの調整や、トリミング、RAW 現像などさまざまな調整を行います。

画像を書き出す（ファイル変換）

画像に行った調整を反映したり、画像サイズを変更して JPEG/HEIF/TIFF 形式に書き出せます。書き出したファイルは、他のソフトウェアで開けます。

Web にアップする

画像を NIKON IMAGE SPACE に直接アップできます。

印刷する

画像をプリントして友人や家族に渡せます。

応用的な機能

カスタムピクチャーコントロールをカメラや他のパソコンと共有したり、カメラで撮影したピクセルシフト画像の合成などを行えます。

カスタムピクチャーコントロールを管理する

カメラで調整したカスタムピクチャーコントロールの読み込みや、NX Studio で調整したカスタムピクチャーコントロールの書き出しを行えます。

ピクセルシフト画像を合成する

ピクセルシフト画像を 1 つのファイルに合成して、高精細な画像を作成できます。

スライドショーを見る

フォルダー内の画像をスライドショーで表示できます。

NX Studio の機能について

お使いの国・地域によっては、一部の機能が使用できない場合があります。

NX Studio の基本的な操作の流れ

画像をカメラからパソコンに転送して閲覧し、お気に入りの画像を調整して Web にアップするまで NX Studio で行うことができます。

Step1 : NX Studio を起動する

次の方法で NX Studio を起動します。

- Windows : デスクトップ上の NX Studio のアイコンをダブルクリック
- macOS : [アプリケーション] の「Nikon Software」フォルダー内にある NX Studio アイコンをダブルクリック

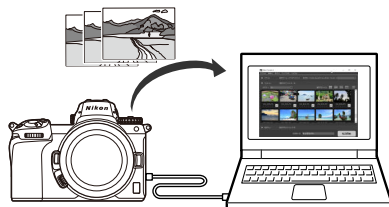
ヒント : Nikon ID について

NX Studio をインストール後に初めて起動した場合、Nikon ID を使用してログインする必要があります。画面の指示に従ってログインしてください。

- Nikon ID を使用して NX Studio にログインしていても、Nikon ID を使用する他のサービスの Web サイトにアクセスした場合に、改めて Nikon ID でのログインを求められることがあります。Web サイトのログイン情報と NX Studio のログイン情報は個別に管理されています。
 - オフライン環境で NX Studio を使用する場合、事前にオンライン環境で NX Studio にログインしてください。ログイン後、30 日間オフライン環境で NX Studio を使用できます。オンライン環境で NX Studio を起動し直すと、再度 30 日間オフラインで使用できます。
 - Nikon ID を利用終了する場合、NX Studio の利用を終了する必要があります。[ヘルプ] メニュー→ [NX Studio 設定] で NX Studio 設定のページを表示し、利用終了の手続きを行ってください。
-

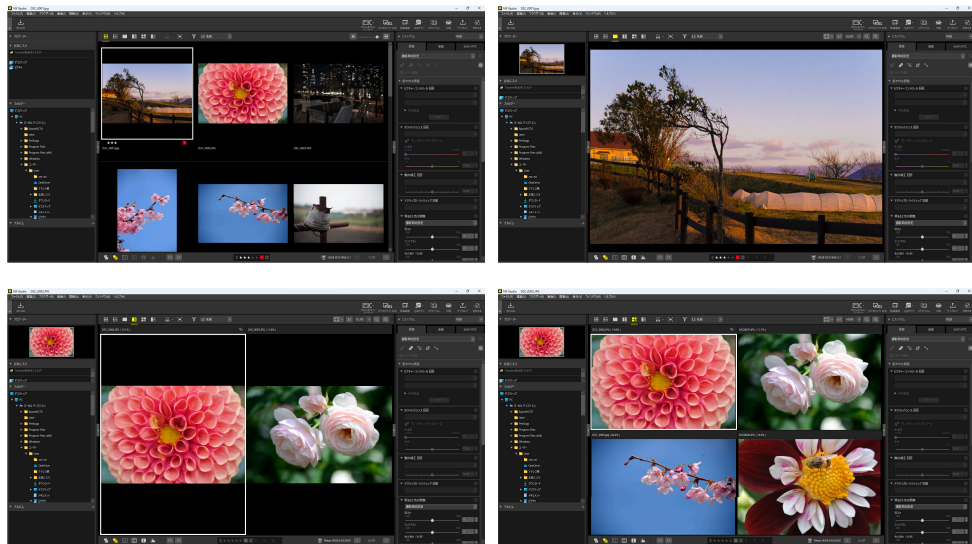
Step2 : 画像をパソコンに転送する

NX Studio と一緒にインストールされる [Nikon Transfer 2](#) を使用して、カメラで撮影した画像や動画をご使用のパソコンに簡単に転送できます。



Step3 : 画像を見る

転送した画像はさまざまな表示形式で閲覧でき、目的の画像を素早く探し出せます ([図 31](#)、[図 62](#))。



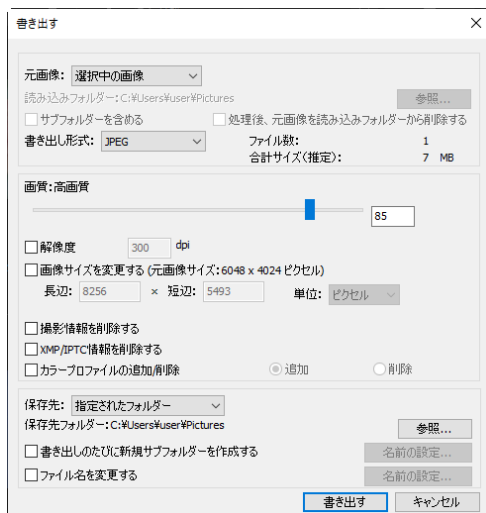
Step4 : 画像を調整する

画像の明るさや色味などの調整を行えます。直感的に操作を行え、思い通りの画像に仕上げられます ([78](#))。



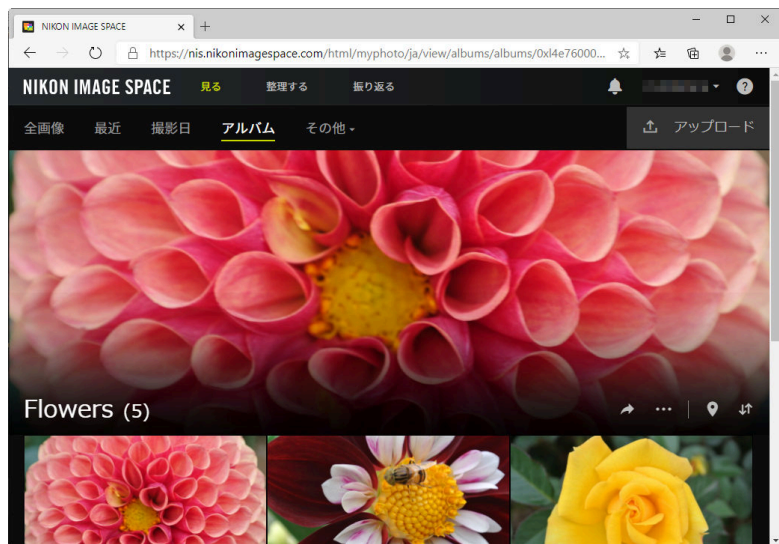
Step5 : 画像を書き出す (ファイル変換)

調整した画像を JPEG/HEIF/TIFF のいずれかの形式に変換して、別ファイルとして書き出せます。書き出した画像は、他のソフトウェアで使用できます。



Step6 : Web にアップする、印刷する

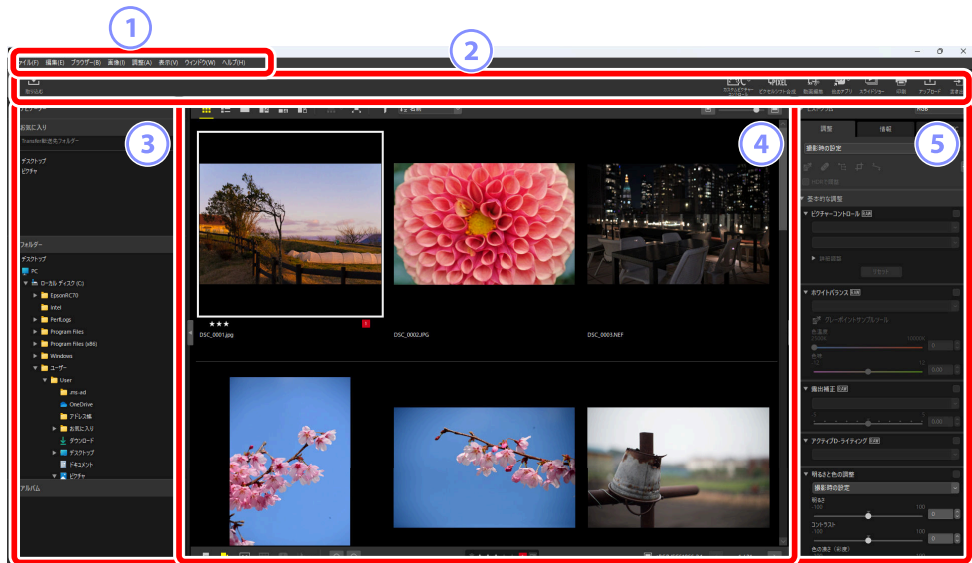
書き出した画像を NIKON IMAGE SPACE に直接アップロードできます ([図 217](#)、[図 218](#))。画像を印刷して家族や友人と共有することもできます ([図 221](#))。



NX Studio にはこれ以外にも画像を楽しむための機能が数多く取り揃えられています。その他の NX Studio の機能を知りたい場合は「NX Studio でできること」をご覧ください ([図 5](#))。

NX Studio の各部名称

NX Studio の画面各部は次のように分かれています。



① メニューバー

各種メニューを選べます。

② ツールバー

Nikon Transfer 2 など他のソフトウェアの起動や、画像の印刷などを行えます。

③ ブラウザーパレット

画像が保存されているフォルダーを選ぶ [フォルダー] や、よく使用するフォルダーを登録できる [お気に入り]、よく使う画像をまとめられる [アルバム] があります。

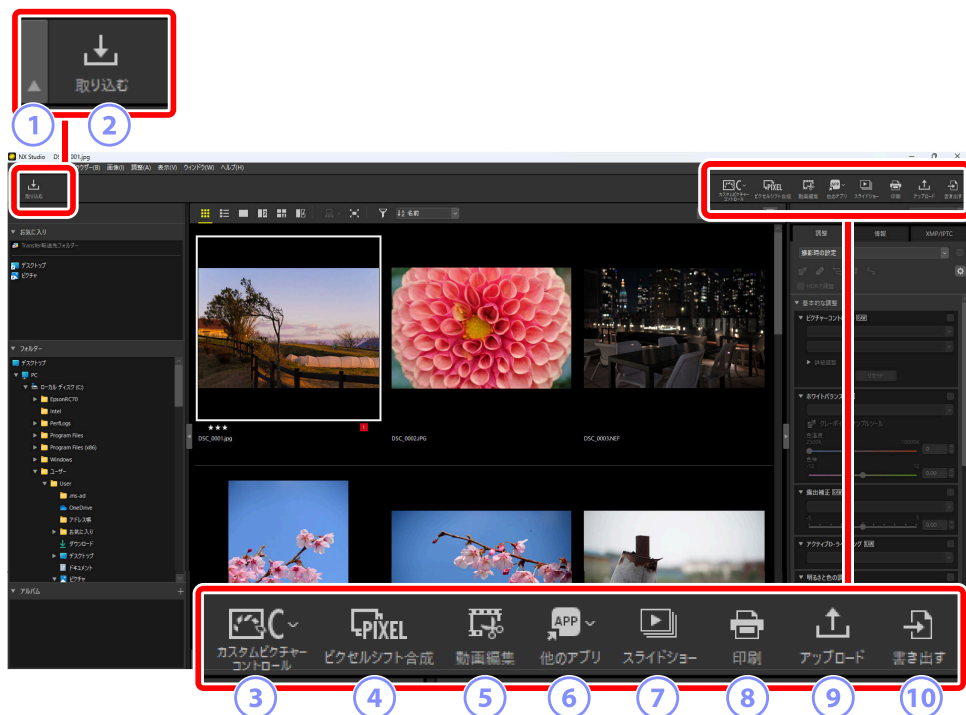
④ ビューエリア

画像を表示するエリアです ([31](#))。

⑤ 調整/情報パレット

選択した画像の調整や画像情報の確認ができます。

ツールバー



① ツールバー表示/非表示

クリックするとツールバーの表示/非表示を切り換えます。

② [取り込む]

Nikon Transfer 2 を起動します。

③ [カスタムピクチャーコントロール]

カスタムピクチャーコントロールファイルの読み込みと書き出しを行えます ([199](#))。

④ [ピクセルシフト合成]

ピクセルシフト撮影で撮影された画像グループを 1 つのファイルに合成できます ([208](#))。

5 【動画編集】

クリックするとあらかじめ設定していた動画編集ソフトウェアが起動します。初期設定では OS に付属のソフトウェアが登録されています。使用するソフトウェアは環境設定の **【ファイルを開くアプリケーション】** で変更できます ([📖 235](#)、[📖 244](#))。

6 【他のアプリ】

選択した画像を NX Studio 以外のソフトウェアで開きます。使用するソフトウェアは環境設定の **【ファイルを開くアプリケーション】** で追加できます ([📖 235](#)、[📖 244](#))。

7 【スライドショー】

選択した画像または現在選ばれているフォルダー内すべての画像を使用してスライドショーを再生できます ([📖 213](#))。

8 【印刷】

選んだ画像を印刷します ([📖 221](#))。

9 【アップロード】

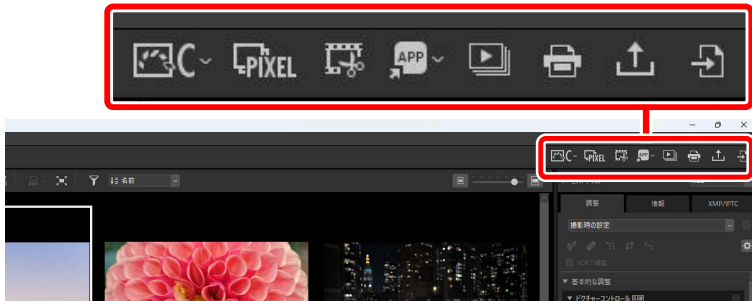
選んだ画像を NIKON IMAGE SPACE にアップロードできます ([📖 217](#)、[📖 218](#))。

10 【書き出す】

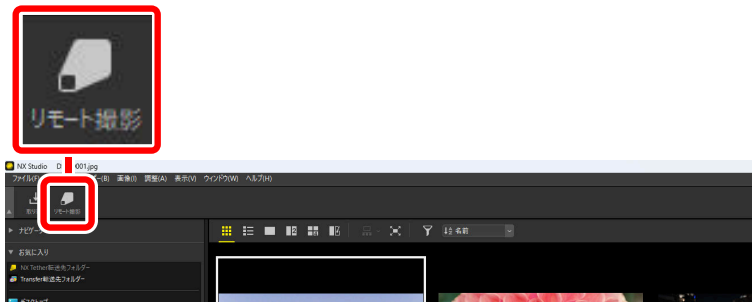
選んだ画像を JPEG/HEIF/TIFF のいずれかの形式で書き出します。書き出しと同時に画像をリサイズしたり、撮影情報を削除することなども行えます ([📖 229](#))。

ヒント：ツールバーの表示について

- [ウィンドウ] メニューの [ツールバーをカスタマイズ] で [アイコンのみ] を選ぶと、ツールの表示がアイコンのみになります。[表示する項目] ではツールバーに表示する項目を変更できます。



- パソコンに NX Tether がインストールされている場合、ツールバーに [リモート撮影] が表示され、クリックすると NX Tether が起動します。



ヒント：他のソフトウェアで画像を開く場合

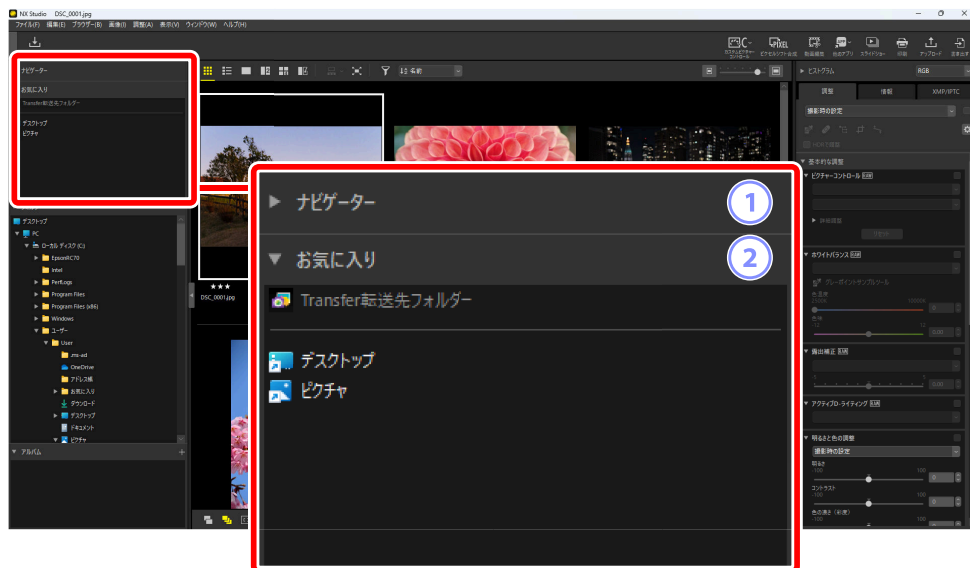
[他のアプリ] では、画像を別ファイルとして保存し、その画像を他のソフトウェアで開きます。

- 画像の保存先は環境設定の [ファイルを開くアプリケーション] で設定できます ([🔗 235](#)、[🔗 244](#))。
- 開く画像のファイル形式は、ソフトウェアを選んだ後に表示されるダイアログで選びます。



- [TIFF 16bit] / [TIFF 8bit] / [JPEG] : NX Studio で調整した内容を適用して画像を開きます。NEF 形式の RAW 画像またはピクセルシフト合成画像 (NEFX ファイル) を [TIFF 16bit] に変換すると、画像を劣化させずに他のソフトウェアで開けます。
- [HEIF (HLG)] / [HEIF (PQ)] : 階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した画像を選択している場合のみ有効です。
- ソフトウェアを選んだ後、コーデックのインストールを求められる場合があります (Windows のみ)。画面の指示に従ってインストールしてください。
- [元画像ファイルのまま開く (調整内容は反映されません)] : 元ファイルと同じファイル形式で開きます。NX Studio で調整した内容は適用されません。
- 画像を開くソフトウェアが対応していないファイル形式を選んだ場合、画像は開けません。
- [OK] をクリックすると選んだファイル形式で画像が保存され、他のソフトウェアで開きます。

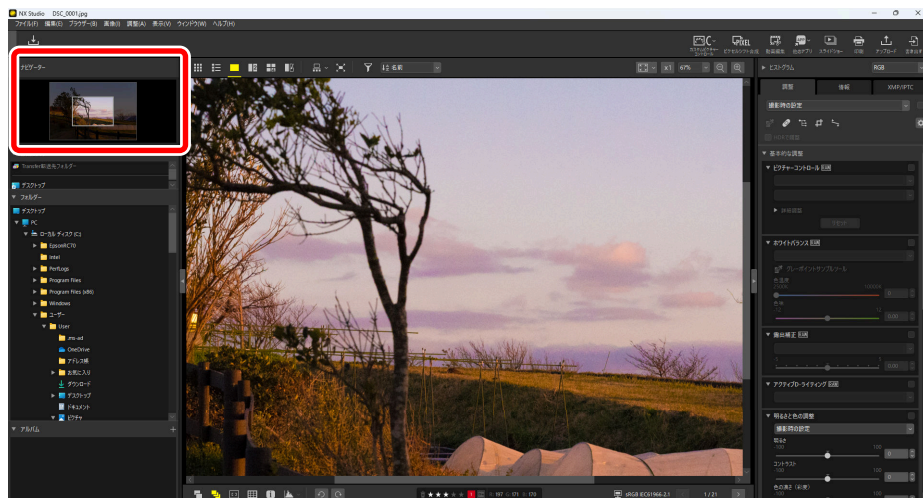
ブラウザーパレット



① [ナビゲーター]

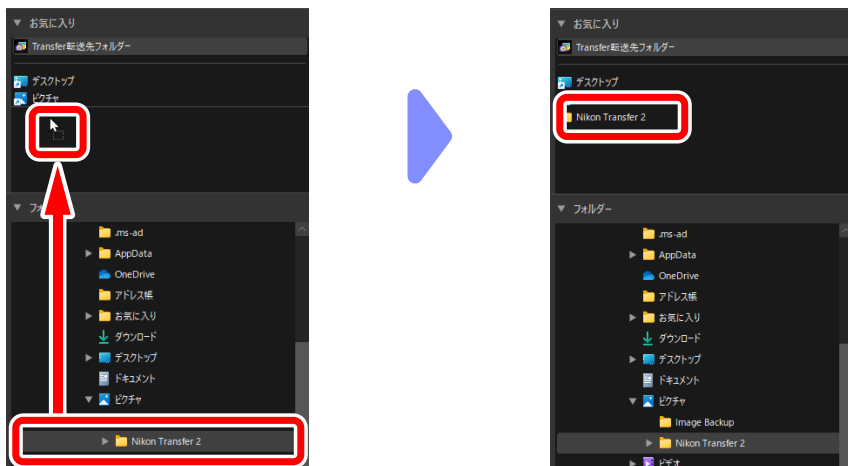
画像を1枚表示または複数枚表示している場合に、ビューエリアに表示されている画像の縮小画像を表示します。

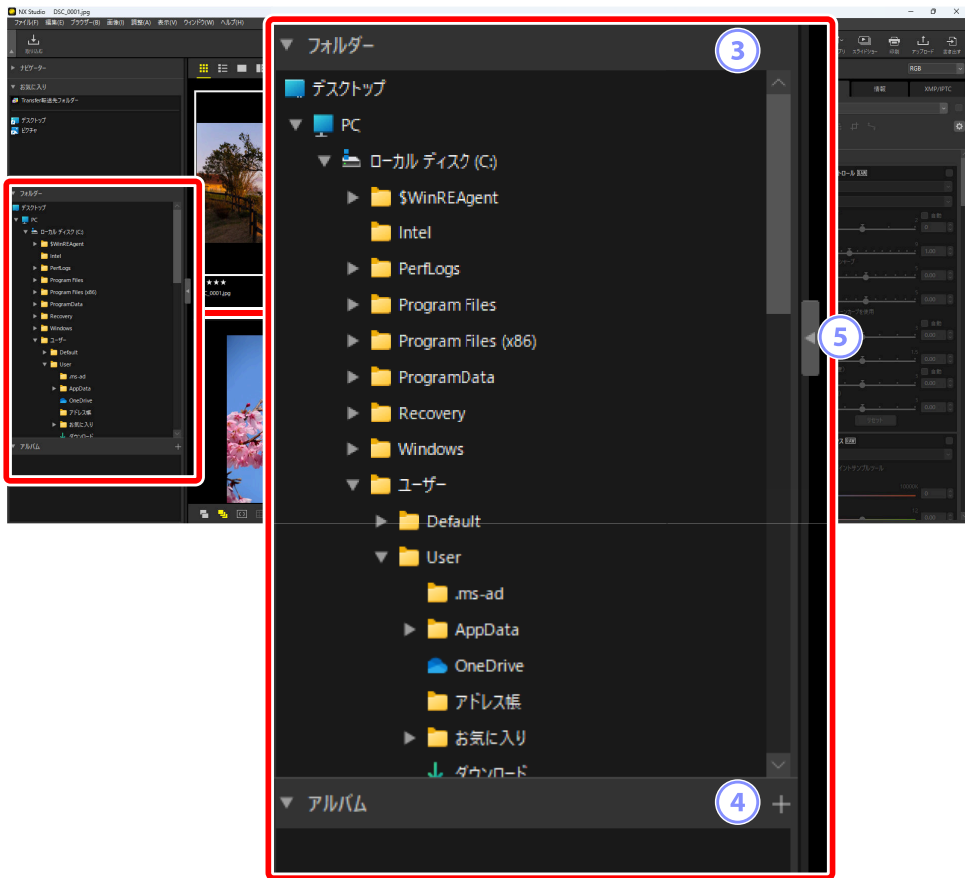
- 表示している画像を拡大すると、拡大表示中の部分が枠で囲んで表示されます。
- 枠をドラッグすると、ビューエリアに表示される拡大部分を動かせます。



② 【お気に入り】

よく使用するフォルダーを【フォルダー】からドラッグして登録できます。





③ 【フォルダー】

パソコン内のフォルダーを階層表示します。表示したい画像が収められたフォルダーをクリックすると、ビューエリアに画像が表示されます。

④ 【アルバム】

アルバムを作成・管理できます。異なるフォルダー内に収められた画像でもまとめて表示できます ([21](#))。

⑤ 表示/非表示

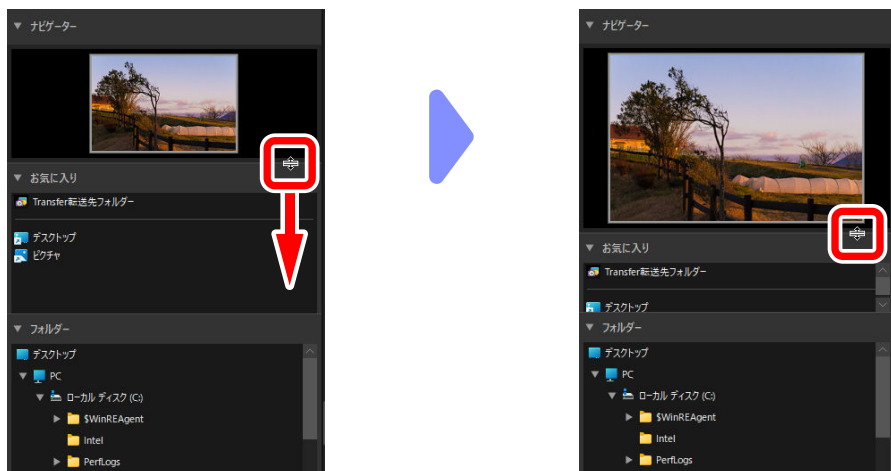
クリックするとブラウザーパレットの表示/非表示を切り換えます。

ヒント：各領域の表示/非表示について

[ナビゲーター]、[お気に入り]、[フォルダー]、[アルバム] の表示/非表示は、各領域の左上にある  /  をクリックして切り換えられます。

ヒント：領域のサイズを変更する

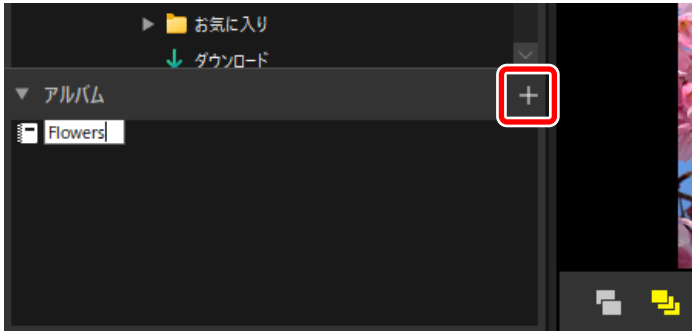
[ナビゲーター]、[お気に入り]、[フォルダー]、[アルバム] の間をドラッグすると、各領域の表示サイズを変更できます。



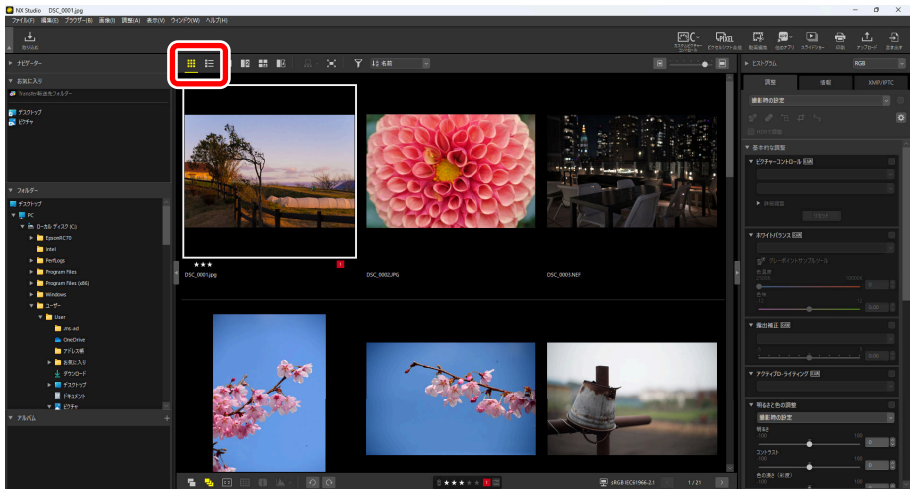
アルバムに画像をまとめる

任意のテーマで写真をまとめられます。複数のフォルダーに分かれて保存されている画像でも、アルバムにまとめておけば見たい画像をすぐに見つけられます。

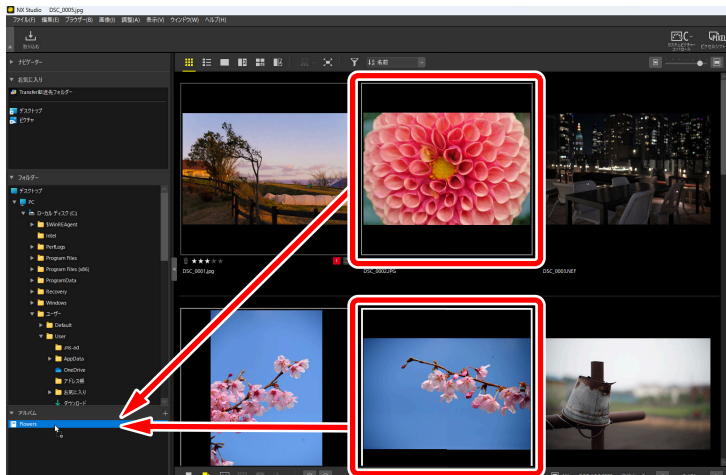
- 1 右上の  をクリックして新規アルバムを作成し、アルバム名を入力します。



- 2 ビューアーの表示をサムネール一覧表示またはサムネール詳細表示にするか、フィルムストリップを表示します ([図 34](#)、[図 46](#))。



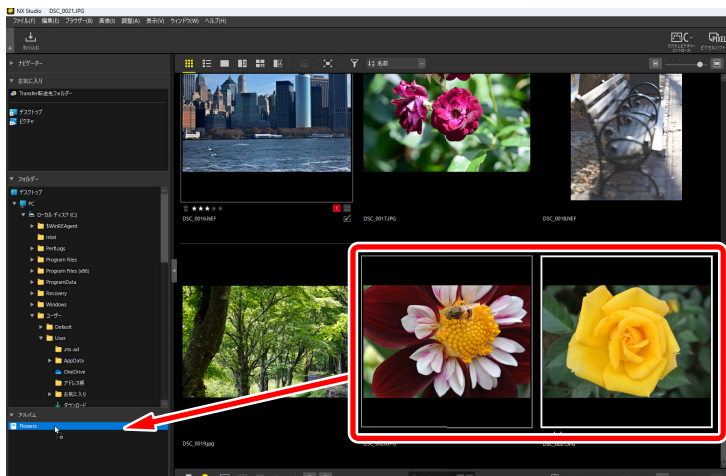
3 手順1で作成したアルバムに画像をドラッグ&ドロップして追加します。



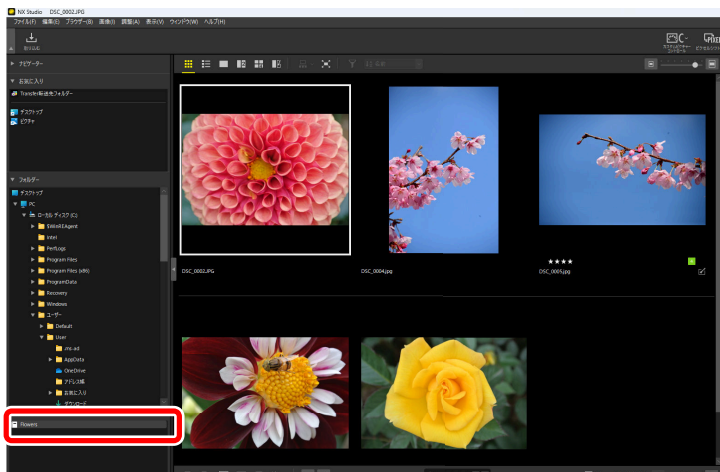
ヒント：複数の画像をまとめてアルバムに追加する

Ctrlキー（macOSはcommandキー）やShiftキーを使用して、複数の画像を選んでドラッグ&ドロップすると、画像をまとめて追加できます。

4 フォルダーを切り換えて複数のフォルダーから画像を追加できます。



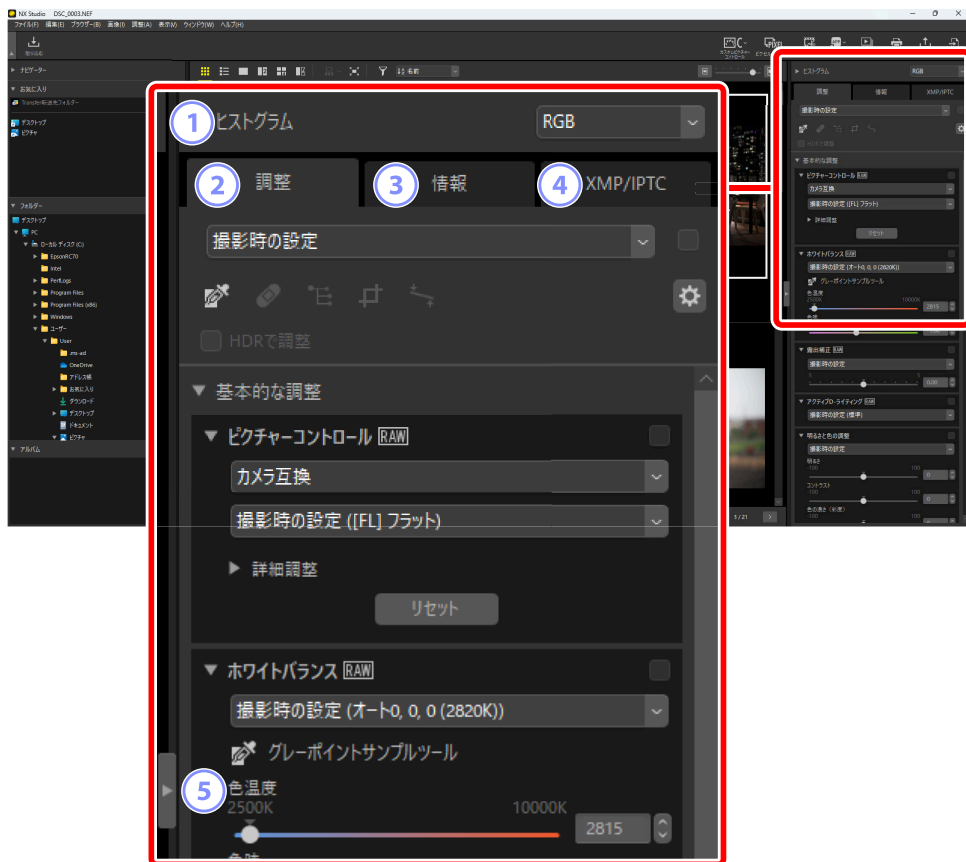
5 アルバム名をクリックすると、手順 3~4 で追加した画像がまとめて表示されます。



ヒント：アルバムについて

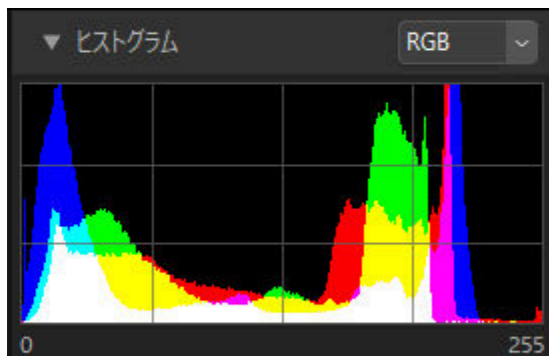
- アルバムの中にフォルダーを作成することはできません。
 - アルバム内の画像をソートしたり、フィルターで絞り込むことはできません。
 - 画像は元のフォルダーに保存されています。複製や移動はされません。
 - アルバムを選んで右クリック（macOS は control キーを押しながらクリック）して **[アルバムを削除]** を選ぶと削除できます。
-

調整/情報パレット

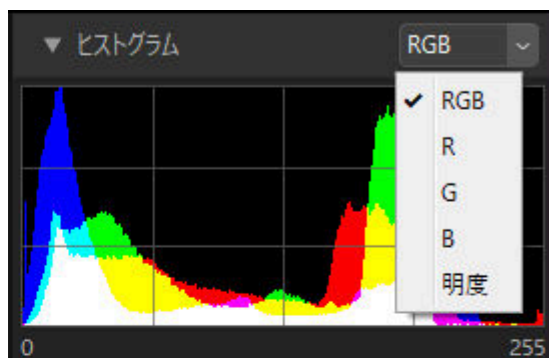


① 【ヒストグラム】

選んだ画像のヒストグラムを表示します。ヒストグラムの表示/非表示は、左上の▼/▶をクリックして切り換えられます。



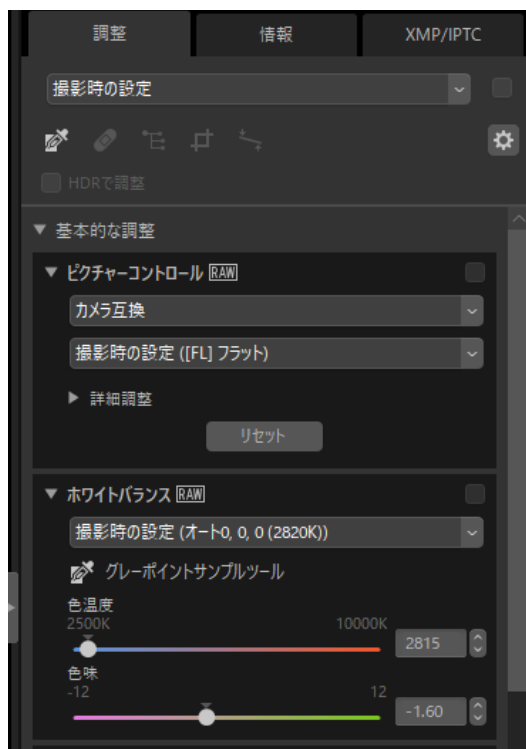
- プルダウンメニューで表示するヒストグラムのチャンネルおよび明度を選べます。



- **[RGB]** では、**[R]** (赤)、**[G]** (緑)、**[B]** (青) のヒストグラムが相互に重なって表示されます。ヒストグラムが重なるところは、他の色が表示されます。シアン領域は **[G]** と **[B]**、マゼンタ領域は **[R]** と **[B]**、黄色領域は **[R]** と **[G]** が重なっていることを示します。白領域はすべてのチャンネルが重なっていることを示します。

② [調整] タブ

選んだ画像の調整が行えます。露出補正やホワイトバランス、明るさなどの調整や、トリミング、傾き補正など多彩な調整が可能です ([🔗 78](#))。



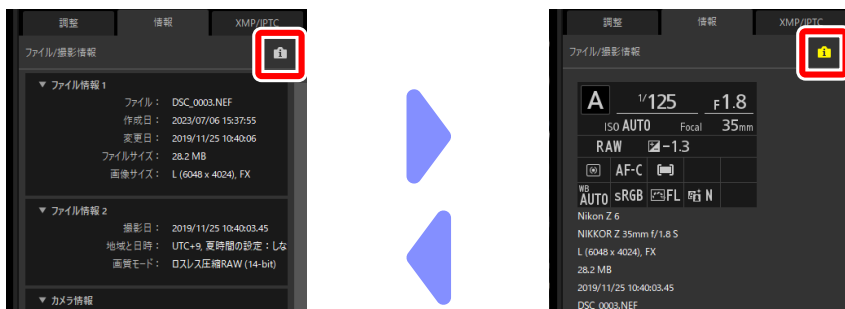
③ [情報] タブ

カメラのモデル名、撮影日時、露出など、選ばれている画像に関連する情報が表示されます。カメラをFTPサーバーに接続して画像を送信したことがある場合、画像に記録された送信日時も表示されます。



ヒント：表示モードを変更する

表示モード切替ボタンを押すと、[情報] タブの表示を切り換えられます。



④ [XMP/IPTC] タブ

ラベルやレーティングを含めた画像の XMP/IPTC 情報を編集できます。ビューエリアや [画像] メニューで設定したラベルとレーティングの内容が [XMP/IPTC] タブにも反映されます。



⑤ 表示/非表示

クリックすると調整/情報パレットの表示/非表示を切り換えます。

対応フォーマットについて

NX Studio で使用できるファイル形式は次の通りです。

✓ 動画ファイルについて

NX Studio では、動画はサムネイルの表示のみ可能です。サムネイルをダブルクリックすると、OS で関連付けられた外部のソフトウェアを起動します。

画像ファイル

ニコン製デジタルカメラで撮影、またはニコン製のソフトウェアで保存された静止画ファイルに対応しています。

- NEF 形式または NRW 形式の RAW 画像（拡張子：.nef / .nrw）
- JPEG 形式（拡張子：.jpg / .jpeg）：RGB モードのみ対応しています。CMYK モード、JPEG2000 には対応していません。
- TIFF 形式（拡張子：.tif / .tiff）：RGB モードのみ対応しています。CMYK モードには対応していません。TIFF 画像の調整は、非圧縮または LZW 圧縮されたファイルのみ対応しています。
- HEIF 形式（拡張子：.hif）：HDR 規格のみ対応しています。ビューエリアで HEIF 画像を 1 枚表示しようとすると、コーデックのインストールを求められることがあります（Windows のみ）。既に別のコーデックをインストール済みの場合でも、画面の指示に従ってインストールしてください。
- NEFX 形式（拡張子：.nefx）：カメラのピクセルシフト撮影で記録された画像ファイルを NX Studio で合成して生成されたファイル（ピクセルシフト合成画像）です。
- MPO 形式（拡張子：.mpo）

✓ HEIF 画像についてのご注意

他のソフトウェアで修正を加えた HEIF 画像は、ビューエリアに表示されなくなることがあります。

ヒント：RAW 画像の表示について

Nik Color Efex Pro シリズを使用して調整された RAW 画像および NX Studio にインストールされていない「オプションピクチャーコントロール」を使用して撮影・調整された RAW 画像の場合、RAW 画像に埋め込まれたプレビュー（簡易表示）のみを表示しています。これらの画像はファイルの調整およびファイル変換できません。

ヒント：サムネイルに PQ が表示される HEIF 画像についてのご注意

NX Studio はサムネイルに PQ が表示される HEIF 画像の調整には対応していません ([リンク 36](#))。

ヒント：HDR 規格の画像について

- 階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影すると、HDR 規格の画像を記録できます。この場合の HDR (High Dynamic Range) とは、従来よりも広い明るさの幅 (ダイナミックレンジ) を出力できる映像技術のことを指し、静止画の合成による表現技法の「HDR (HDRI)」とは異なります。階調モードを SDR に設定して撮影すると、従来のダイナミックレンジである SDR (Standard Dynamic Range) の画像を記録します。

カメラの階調モード	画像のファイル形式	ダイナミックレンジ
SDR	<ul style="list-style-type: none">• RAW• JPEG• TIFF• NEFX	SDR
HLG	<ul style="list-style-type: none">• RAW• HEIF• NEFX	HDR

- 階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した画像は、HDR 非対応のモニターを使用している場合、適切な階調では表示されません。
- 階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した画像をパソコンで再生する場合に必要な動作環境については、下記 URL をご覧ください。

https://onlinemanual.nikonimglib.com/notice/hlg_setting_guide/ja/

音声ファイル

画像に音声メモファイルとして関連付けられている場合と、COOLPIX の音声レコード機能で録音された音声データに対応しています。

- WAV 形式 (拡張子: .wav)

イメージダストオフデータ

イメージダストオフ機能を使用するためにニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラで取得したデータです ([🔗 170](#))。

- NDF ファイル (拡張子: .ndf)

画像を表示する

ビューエリアについて

画像はビューエリアに表示されます。サムネイル表示や1枚表示以外にも、複数画像を並べて表示したり調整前後の画像を比較表示するなど、さまざまな表示が可能です。



① 画像表示方法

ビューアーに表示する画像の表示方法を変更します。サムネイル表示や1枚表示のほか、複数の画像を並べて表示することもできます ([図 34](#))。

② フィルムストリップ

ビューアーの下または左に一行でサムネイル（フィルムストリップ）を表示します ([図 46](#))。

3 全画面表示

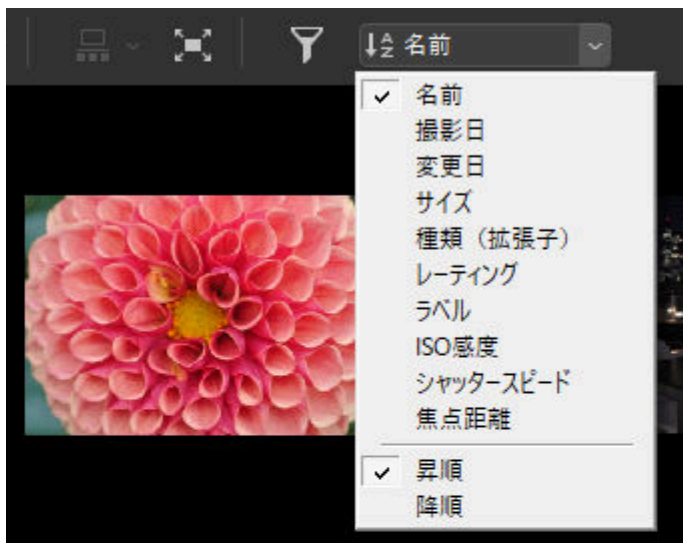
モニターいっぱいに表示できます ([48](#))。

4 絞り込み

サムネイル表示またはフィルムストリップに表示する画像を複数の条件で絞り込みます ([62](#))。

5 ソート

サムネイル表示またはフィルムストリップで表示される画像の並び順の基準を変更できます。



6 表示サイズ

サムネイルのサイズまたは画像の表示サイズを変更できます ([41](#)、[45](#))。

7 ビューアー

選んだ画像が表示されます。

8 HDR アイコン

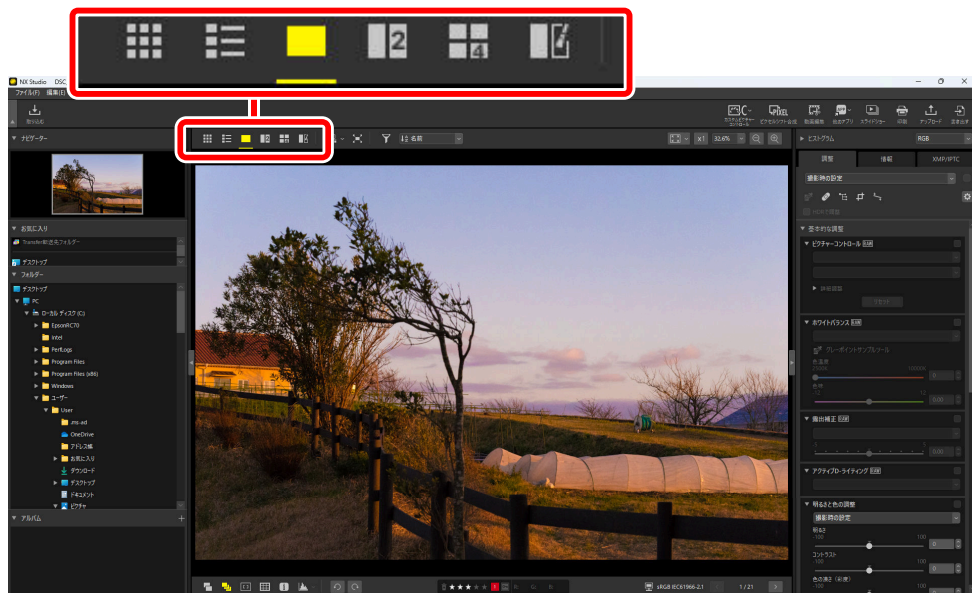
階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した画像を HDR 対応のモニターで表示している場合に表示されます ([30](#))。

9 下部ツールバー

ビューアー内に撮影情報を表示したり、画像のレーティングやラベルを変更したりできます ([📖 52](#))。

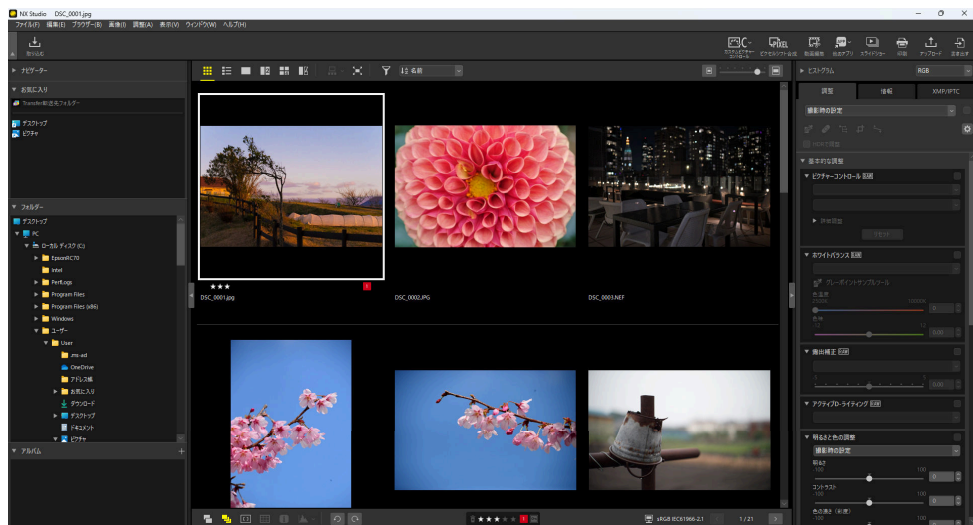
ビューアーの画像表示方法を変更する

画像表示方法は、ビューエリア内の上部ツールバーで変更できます。



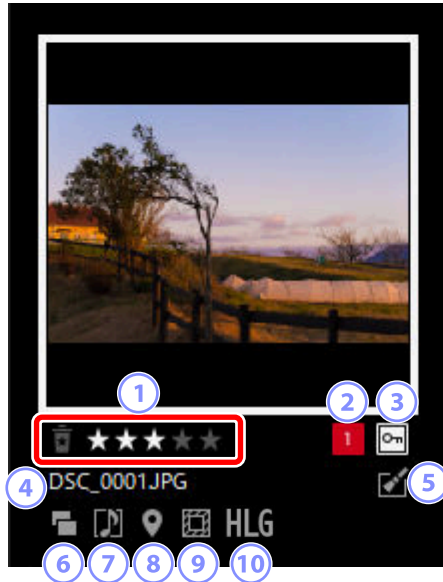
サムネール一覧表示 (🗃️)

選んだフォルダー内の画像を一覧で表示します。



静止画のサムネイルに表示される情報について

静止画のサムネイルに表示される情報は次の通りです。サムネイルの表示サイズが小さい場合、一部の情報は表示されません。



① レーティング

設定したレーティングが表示されます。レーティングが設定されていない画像の場合、マウスカーソルを重ねると設定を行えます ([📖 63](#))。

② ラベル

設定したラベルが表示されます。ラベルが設定されていない画像の場合、マウスカーソルを重ねると設定を行えます ([📖 67](#))。

③ プロテクト





プロテクトしている画像に表示されます。マウスカーソルを重ねると、プロテクトの設定を行えます ([📖 71](#))。

④ ファイル名

ファイル名が表示されます。何か調整を行った後に保存していない場合、ファイル名の先頭に「*」が表示されます。

5 調整アイコン

画像調整を行った画像に表示されます。








-  : [調整] タブで調整を行った画像 ([図 78](#))
-  : Capture NX 2 で調整を行った画像
-  : Nik Color Efex Pro シリーズで調整を行った画像
-  : カメラで調整を行った画像

6 同時記録表示

RAW+JPEG または RAW+HEIF 形式で撮影した画像に表示されます。

7 グループ

音声メモなどの画像に表示されます。




-  : 音声メモ付き画像
-  : スマートフォトセレクトター (ベストショット)
-  : スマートフォトセレクトター (ベストショット候補画像)
-  : モーションスナップショット
-  : 3D で撮影された MPO 画像
-  : ピクセルシフト撮影で撮影された画像
-  : ピクセルシフト撮影で撮影された画像を合成した画像 (ピクセルシフト合成画像)

8 位置情報

位置情報が記録された画像に表示されます。

9 撮像範囲

撮像範囲が設定できるカメラで撮影された画像に表示されます。FX フォーマットで撮影した場合は何も表示されません。撮影した撮像範囲や画角により、表示されるアイコンは異なります。次のアイコンは表示の一例です。

-  : 撮像範囲が縦横比 3 : 2 で撮影された静止画
-  : 撮像範囲が縦横比 5 : 4 (30×24) で撮影された静止画
-  : 焦点距離の約 1.2 倍相当の画角にクロップされた静止画

10 HLG/PQ

HLG は、階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した画像に表示されます。**PQ** は、PQ 方式の HDR 画像に表示されます。

動画のサムネイルに表示される情報について

動画のサムネイルに表示される情報は次の通りです。サムネイルの表示サイズが小さい場合、一部の情報は表示されません。

✓ 動画の再生について

- NX Studio では、動画はサムネイルの表示のみ可能です。サムネイルをダブルクリックすると、OS で関連付けられた外部のソフトウェアを起動します。
- 動画ファイルによっては、サムネイルが表示されない場合があります。



① ProRes

ProRes コーデックで撮影された動画に表示されます。

② レーティング

設定したレーティングが表示されます。レーティングが設定されていない動画の場合、マウスカーソルを重ねると設定を行えます ([63](#))。

3 プロテクト

プロテクトしている動画に表示されます。マウスカーソルを重ねると、プロテクトの設定を行います (P.71)。

4 ファイル名

ファイル名が表示されます。何か調整を行った後に保存していない場合、「*」が表示されます。

5 AF 駆動音低減アイコン

[画像] メニューの [AF 駆動音低減] で AF 駆動音低減処理を行った動画に表示されます。

6 動画アイコン




動画ファイルに表示されます。

7 位置情報

位置情報が記録された動画に表示されます。

8 撮像範囲

クロップ撮影に対応したカメラの動画モードで撮影された動画に表示されます。撮影した撮像範囲や画角により、表示されるアイコンは異なります。次のアイコンは表示の一例です。

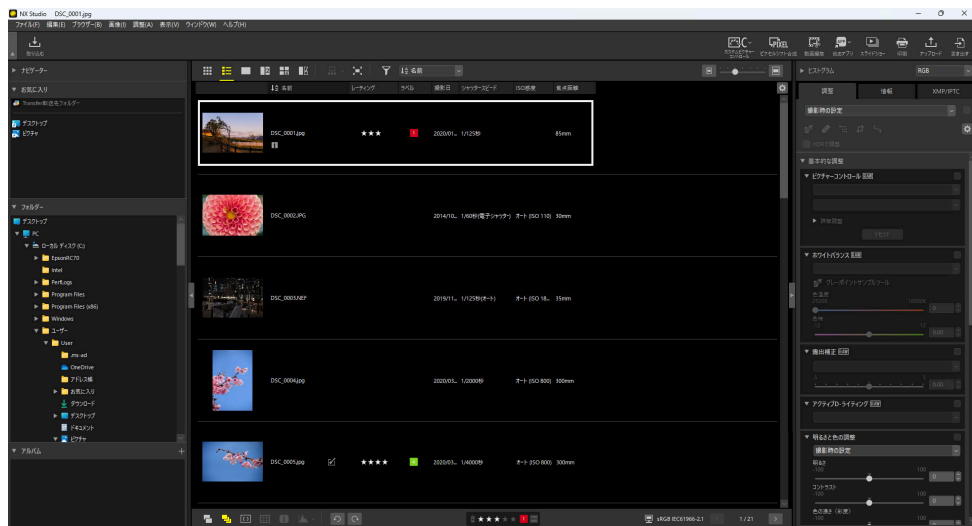
-  : 縦横比 3 : 2 にクロップされた動画
-  : DX フォーマットに対して、焦点距離の約 1.3 倍相当の画角にクロップされた動画
-  : 焦点距離の約 3.0 倍相当の画角にクロップされた動画

9 階調モード

階調モードを N-Log または HLG に設定して撮影した動画に表示されます。

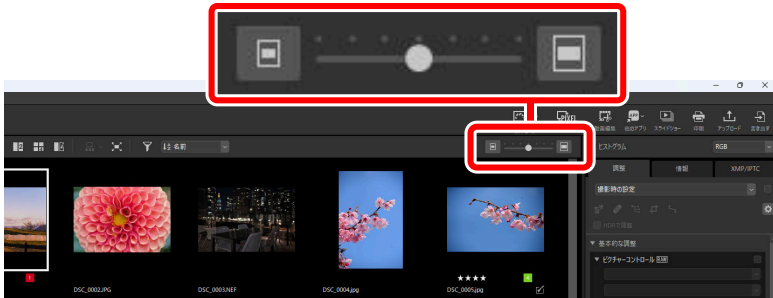
サムネイル詳細表示 (☰)

選んだフォルダー内の画像を一覧で表示します。画像のファイル名やラベルなどの条件で並び順をソートできます。




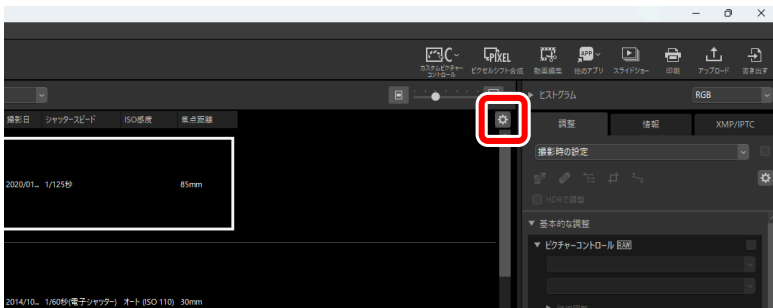
ヒント：サムネイルのサイズを変更する

サムネイル一覧表示またはサムネイル詳細表示の場合、ビューエリア右上のスライダーでサムネイルのサイズを変更できます。スライダーを右に移動するほどサムネイルが大きくなります。



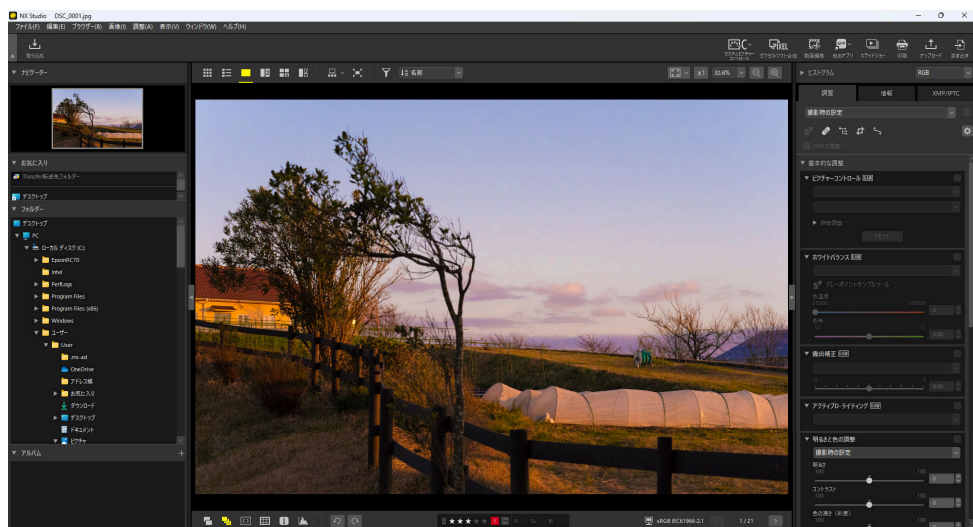
ヒント：サムネイル詳細表示の項目を変更する

サムネイル詳細表示で表示する項目は、ビューエリア右上の  アイコンで変更できます。



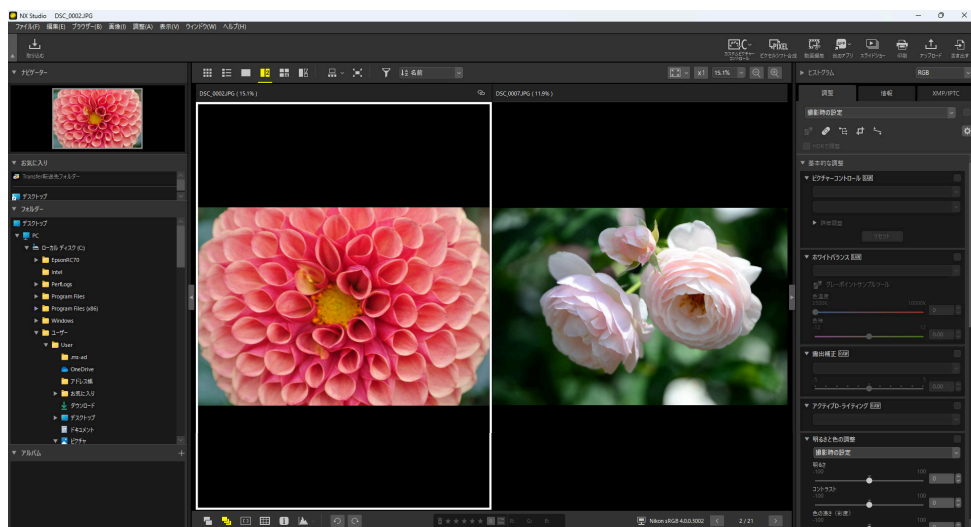
イメージビューアー表示 (□)

画像を 1 枚表示します。



2 画面表示 ()

異なる画像を 2 枚並べて表示できます ([図 57](#))。



4 画面表示 ()

異なる画像を 4 枚並べて表示できます ([図 57](#))。



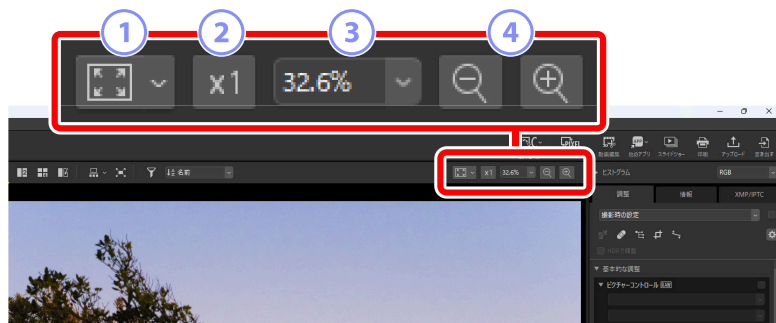
調整結果比較 (🔍)

同じ画像の調整前と調整適用後を並べて比較できます (🔍 60)。



ヒント：画像の表示サイズを変更する

イメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較の場合、表示する画像サイズをビューアエリア右上のボタンで変更できます。



① 全体表示：クリックすると設定に合わせて画像を全体表示します。全体表示の設定は、▼をクリックして変更できます。

- [ウィンドウに合わせて全体表示]：画像全体がビューア内に収まるように表示します。
- [縦横画像を同じ倍率で全体表示]：ビューアに内接する正方形を表示可能領域として、画像全体がその表示領域に収まるように表示します。
- [短辺をウィンドウに合わせて表示]：画像の短辺がビューア内に収まるように表示します。表示倍率が100%を越えることはありません。

② 等倍表示：クリックすると100%で表示します。



③ 表示倍率：表示する倍率をメニューから選べます。

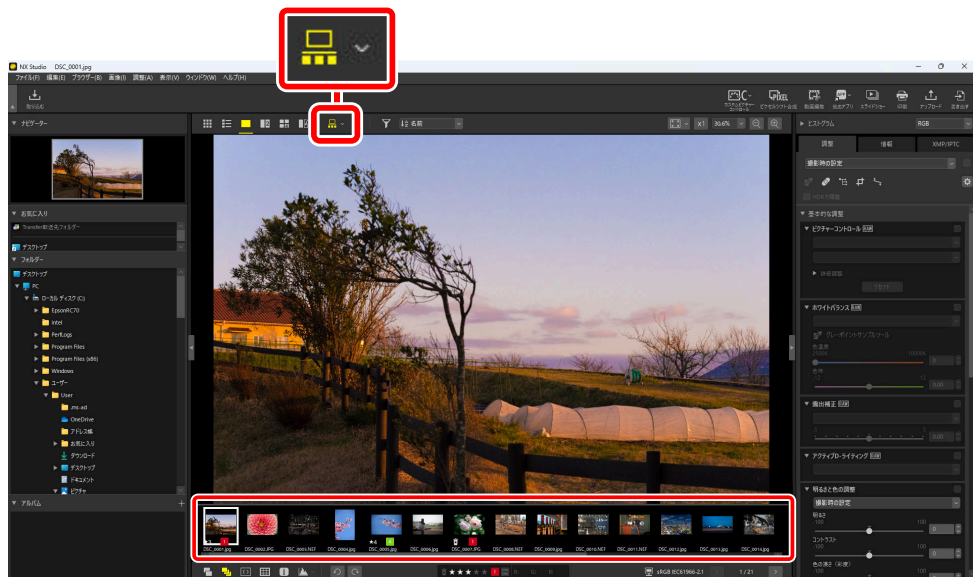
④ 縮小/拡大：クリックするごとに画像を縮小または拡大します。画像は6~400%の間で表示できます。




ヒント：画像を等倍表示する

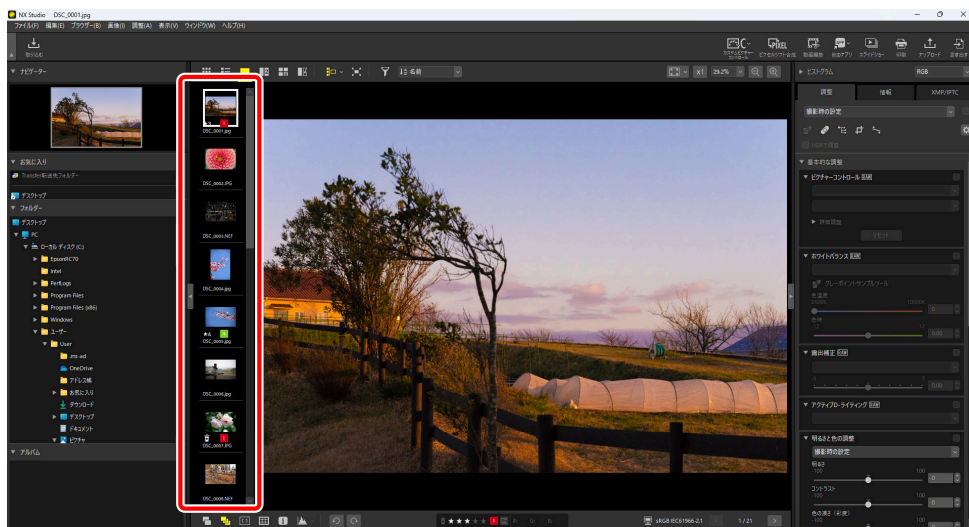
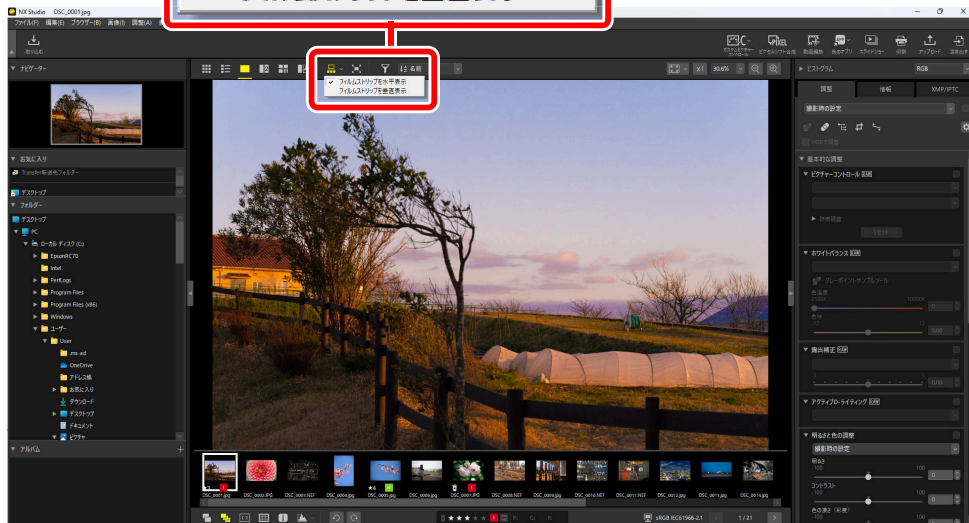
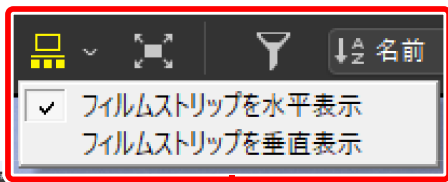
ビューア内の画像をクリックしても等倍表示にできます。また、カーソルを画像に合わせてShiftキーを押すと一時的に等倍表示になります。

フィルムストリップ^oを表示する

イメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較の場合、ビューア内の上部ツールバーでをオン（）にするとビューアの下または左一列にサムネイル（フィルムストリップ）が表示されます。



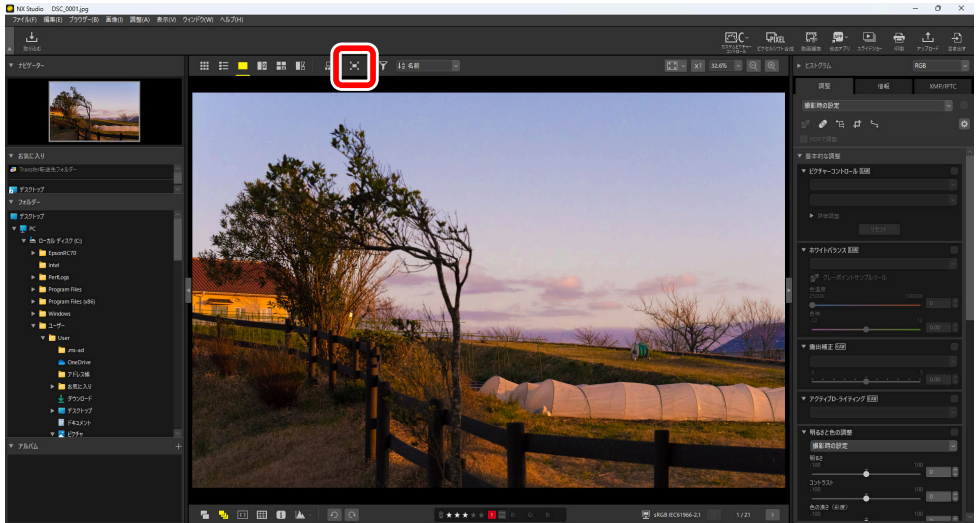
フィルムストリップの表示位置は、をクリックして変更できます。設定を変更すると、アイコンの表示も変更されます（：水平表示、：垂直表示）。



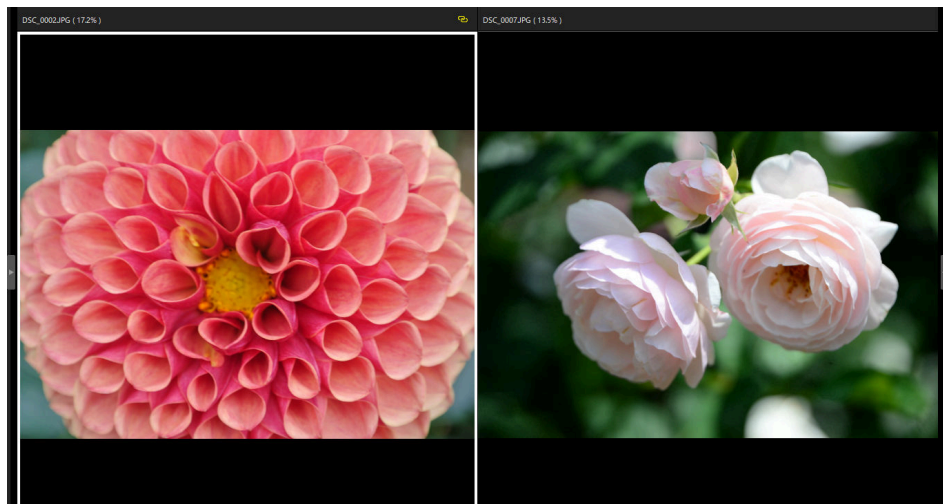
垂直表示

全画面表示する



ビューエリア内の上部ツールバーでをオン () にすると、モニターいっぱいに画像を表示します。



- サムネイル一覧表示およびサムネイル詳細表示の場合、イメージビューアー表示に切り替わって選んだ画像が1枚表示されます。
- イメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較の場合、それぞれの表示のまま全画面表示になります。



2画面表示の全画面表示

- モニターの上または下にマウスカーソルを移動すると、ビューエリア内のツールバーが表示されます。をクリックしてオフ()にすると、全画面表示を解除します。Esc キーを押しても解除できます。

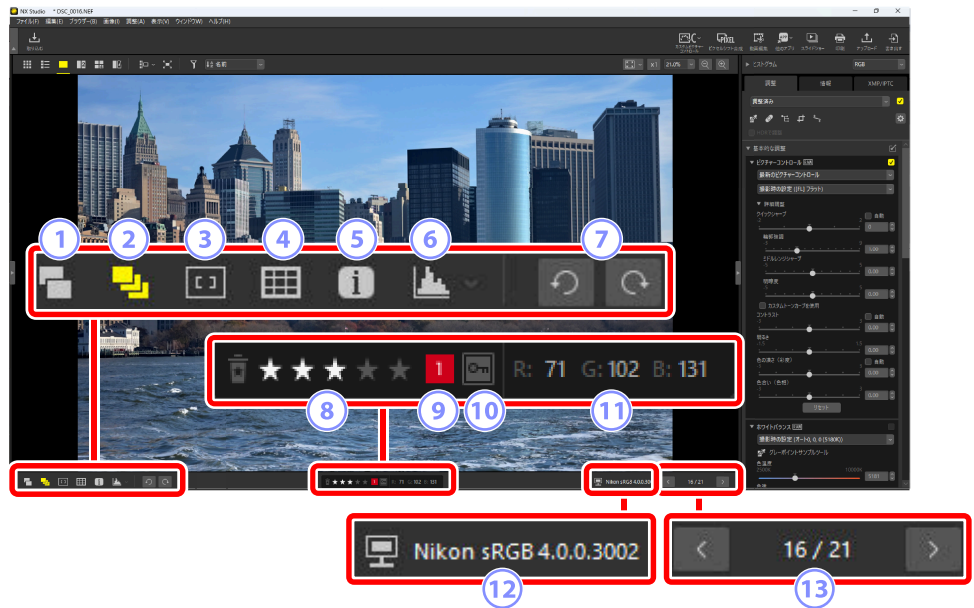


動画を再生する

NX Studio では、動画はサムネイルの表示のみ可能です。サムネイルをダブルクリックすると、OSで関連付けられた外部のソフトウェアを起動します。

下部ツールバーについて

ビューエリアの下部に表示されるツールバーでビューア内に情報を表示したり、画像のレーティングやラベルを変更したりできます。



① 同時記録画像

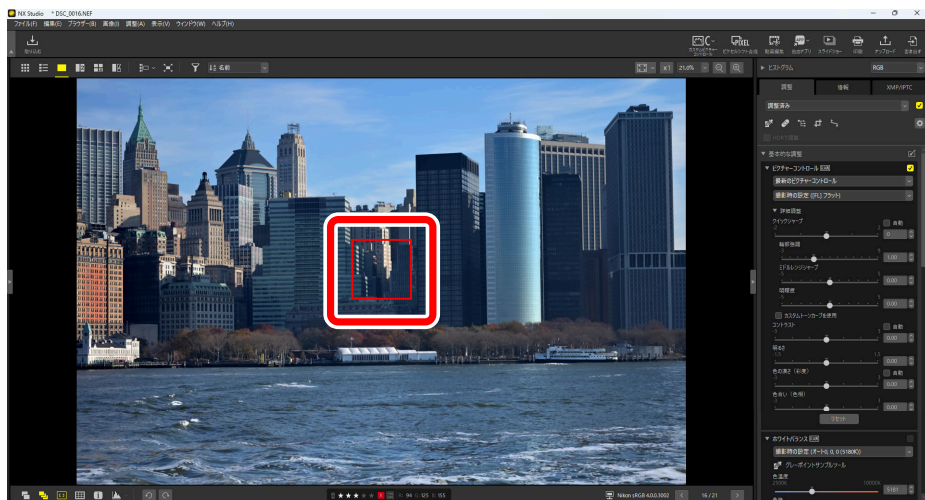
オン (📷) にすると、サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合に RAW+JPEG または RAW+HEIF 形式で撮影した画像をまとめて表示します。

② グループ画像

オン (📷) にすると、サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合にスマートフォトセクターや連続撮影グループで撮影された画像をまとめて表示します。

3 フォーカスポイント

オン () にすると、表示している画像のフォーカスポイントを表示します。



- CPU レンズを装着したニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラ、または COOLPIX A で撮影した画像に表示されます。
- サムネイル表示、1 枚表示、複数枚表示いずれの場合も表示されます。

フォーカスポイント表示のご注意


- フォーカスロック後に構図を変えて撮影した場合、ピントが合っている場所とフォーカスポイント表示が一致していないことがあります。
- ピントが合っていない状態で撮影した画像の場合、フォーカスポイントが表示されないことがあります。

ヒント：フォーカスポイントが表示されない画像

次の場合、フォーカスポイントは表示されません。

- トリミングおよび傾き補正した画像
- リサイズした画像
- 回転して書き出した画像
- ピクセルシフト合成により解像度を変更された画像 ([208](#))
- 他のソフトウェアで編集した画像

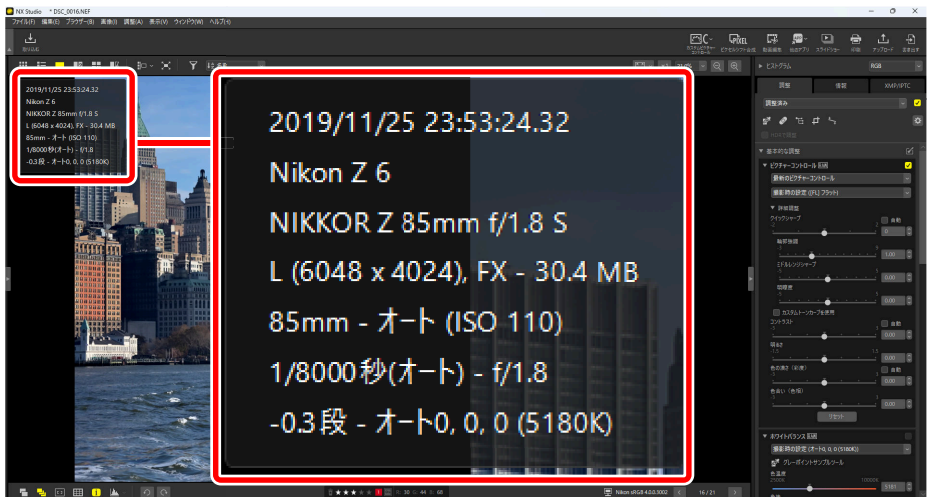
④ グリッド表示

オン () にすると、ビューアーにグリッド（格子線）を表示します。





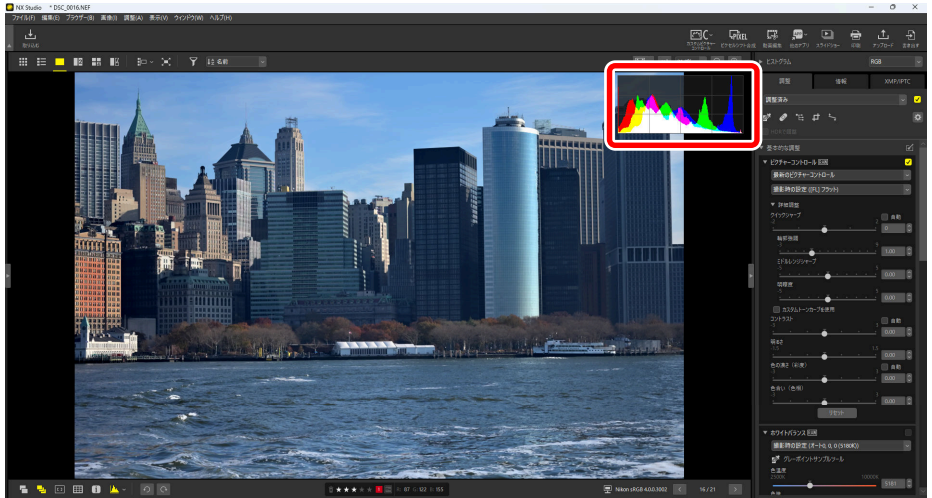
⑤ 画像情報

オン () にすると、ビューアーに画像の撮影日時やカメラ名などの情報を表示します。



6 ヒストグラム

オン () にすると、ビューアーに画像のヒストグラムを表示します。  をクリックして、表示する内容を変更できます。



7 画像の回転

クリックすると、選んだ画像を反時計回りまたは時計回りに回転できます。

8 レーティング

画像のレーティングを変更できます ([63](#))。

9 ラベル

画像のラベルを変更できます ([67](#))。

10 プロテクト

画像のプロテクトの設定を変更できます ([71](#))。

11 現在のカラー

現在マウスカーソルが合っている位置のピクセルのカラー情報を表示します。イメージビューアー表示、2 画面表示、4 画面表示、調整結果比較の場合に表示されます。

12 カラープロファイル

画像のカラープロファイルを表示します。

13 フォルダー内移動

現在のフォルダー内にあるファイル数と、何番目の画像が選ばれているかを表示します。■または■で選んだ画像を変更できます。

画像を比較表示する



複数の画像を並べて表示したり、同じ画像の調整前と調整後とを並べて表示できます。

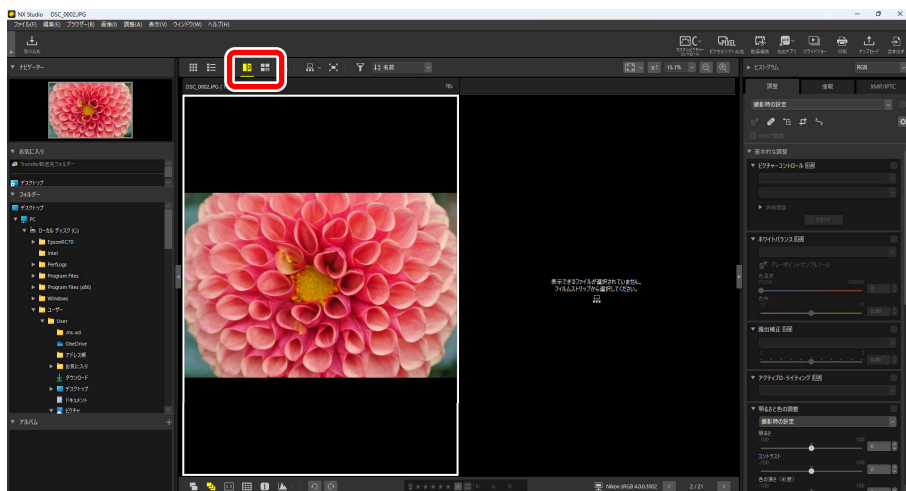
2 画面表示/4 画面表示

画像を並べて表示できます。連続撮影などで同じ被写体を何枚も撮影した場合に、使用する画像を比較しながら選別できます。

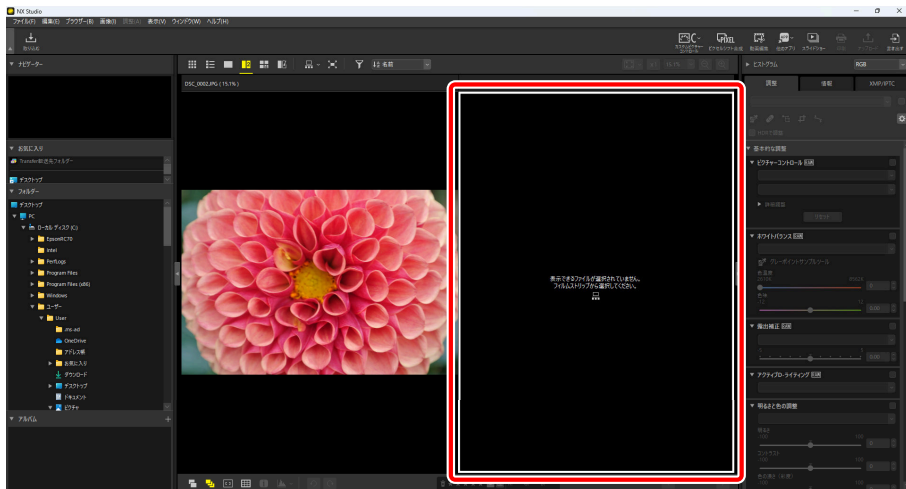
ヒント：複数画像を比較表示する場合

比較する画像は、同じフォルダーに保存してください。画像をアルバムにまとめれば、異なるフォルダーの画像を比較表示できます ([📖 21](#))。

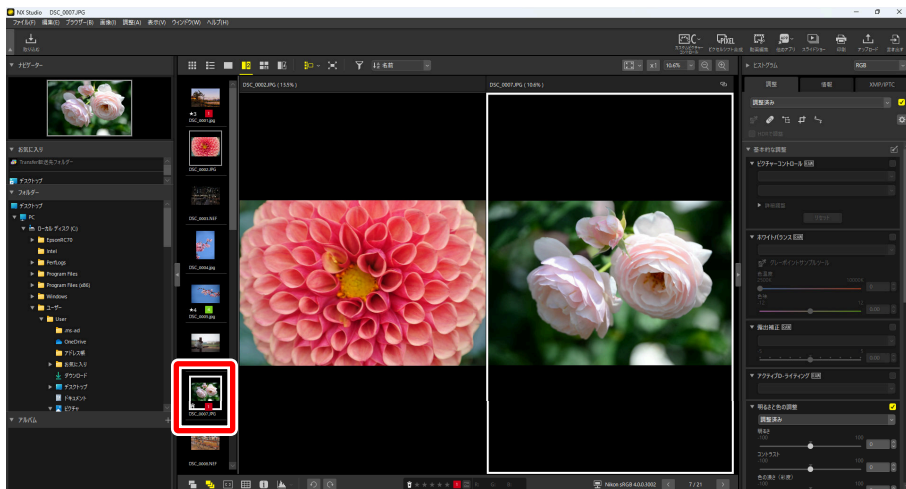
- 1 上部ツールバーから2画面表示 () または4画面表示 () を選びます。現在選ばれている画像が左側または左上に表示されます。




2 比較する画像を表示させるエリアをクリックします。エリアに白い枠が表示されます。

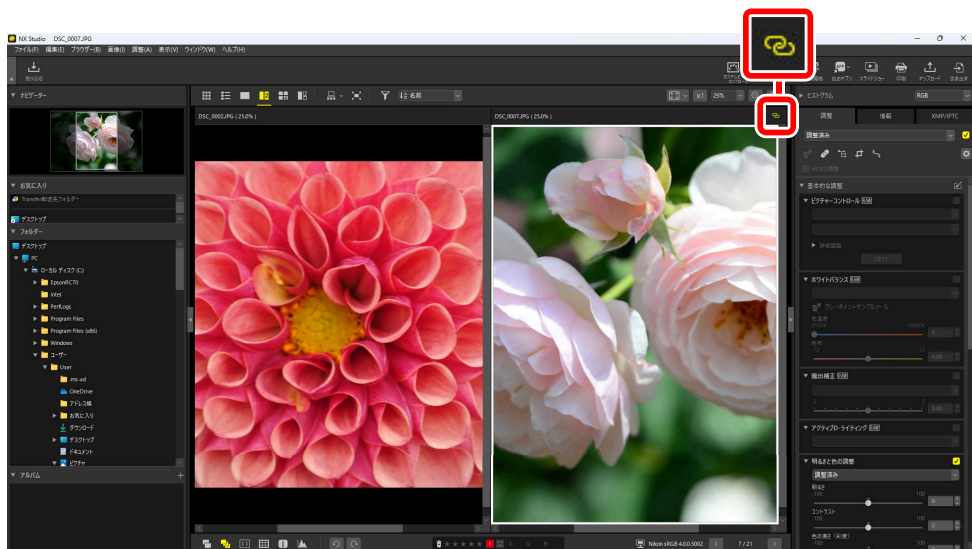


3 フィルムストリップを表示して画像を選ぶと、手順 2 で選んだエリアに表示されます ([図 46](#))。



ヒント：画像同士の表示倍率や表示位置を同期する

選択されている画像のエリア右上にある同期アイコンをオン（) にすると、すべての画像を同じ表示倍率で表示します。また、表示位置を移動すると、他の画像の表示位置も合わせて移動します。

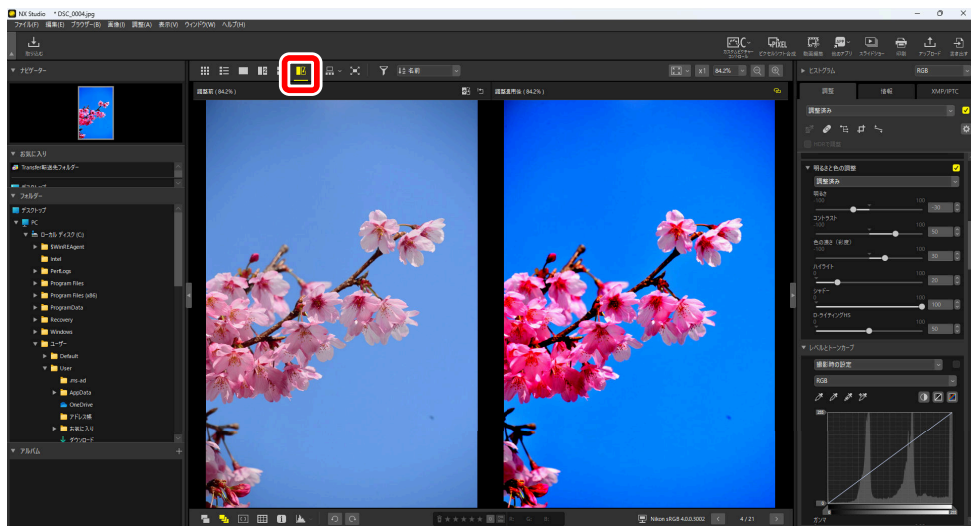


ヒント：比較表示時の画像調整について

画像調整は、現在選ばれている画像（白または黒の枠が表示されている画像）だけに適用されます。

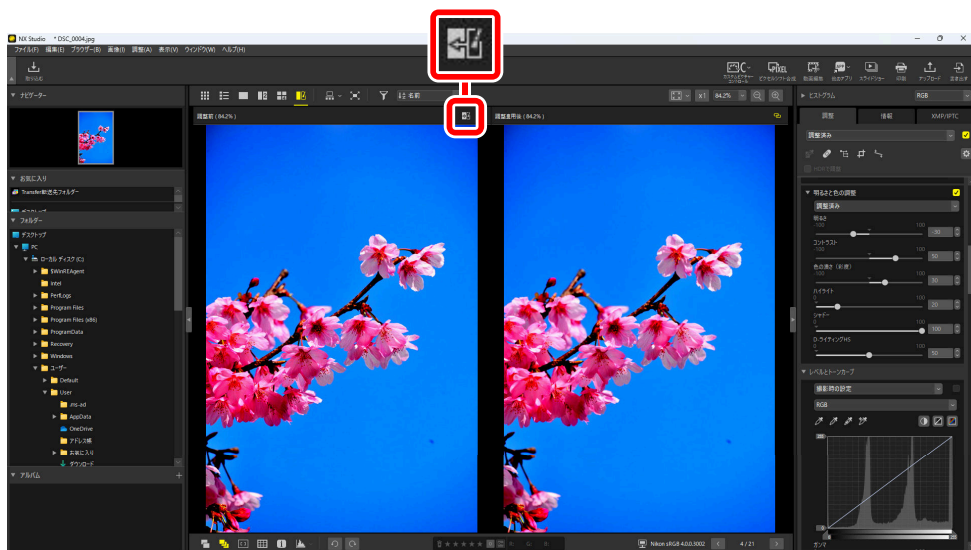
調整結果比較

[C] を選ぶと、同じ画像の調整前と調整後を並べて表示できます。画像の調整を行うと、右側のエリアに調整後の画像が表示されます ([図 78](#))。



調整後の画像を調整前の画像として使用する

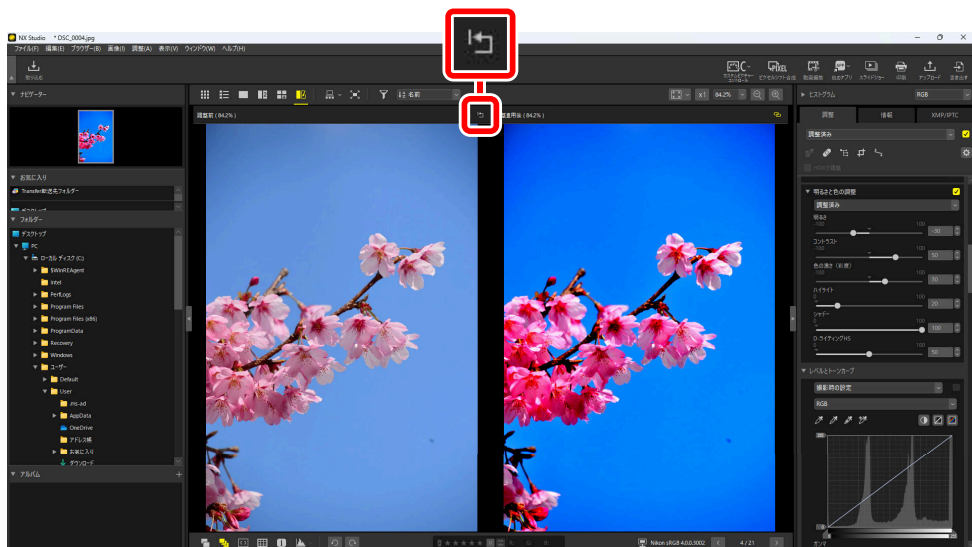
調整前画像のカレントボタン (**[C]**) をクリックすると、調整を加えた現在の画像を調整前の画像として使用できます。調整を加えた状態から、さらに調整を行う場合に便利です。



調整前の画像を元に戻す

調整前画像のオリジナルボタン (🏠) をクリックすると、左側の調整前の画像を撮影時の状態に戻します。

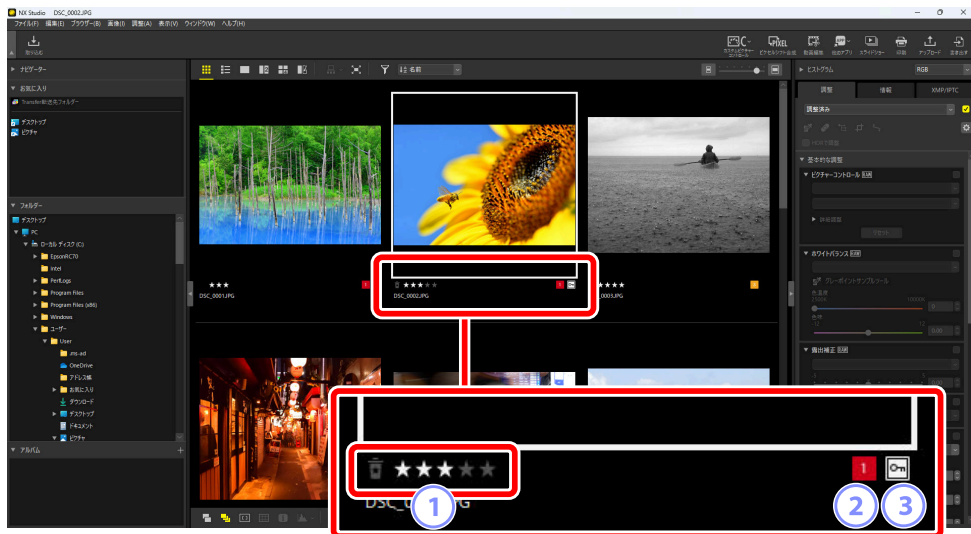
- NX Studio でファイル変換して書き出した JPEG/HEIF/TIFF のいずれかの画像を表示している場合は、書き出し時の状態に戻します。



画像を絞り込む

画像を絞り込む方法について

画像に印を付けておくと、表示する画像を絞り込むことができます。画像に付けられる印には次の3種類があります。



① レーティング

画像の重要度を設定できます ([図 63](#))。

② ラベル

画像を分類できます。ラベルは1から9までと、0（ラベルなし）があり、それぞれ色分けされています ([図 67](#))。

③ プロテクト

誤って削除しないために、画像をプロテクト（保護）できます ([図 71](#))。

レーティングを付ける

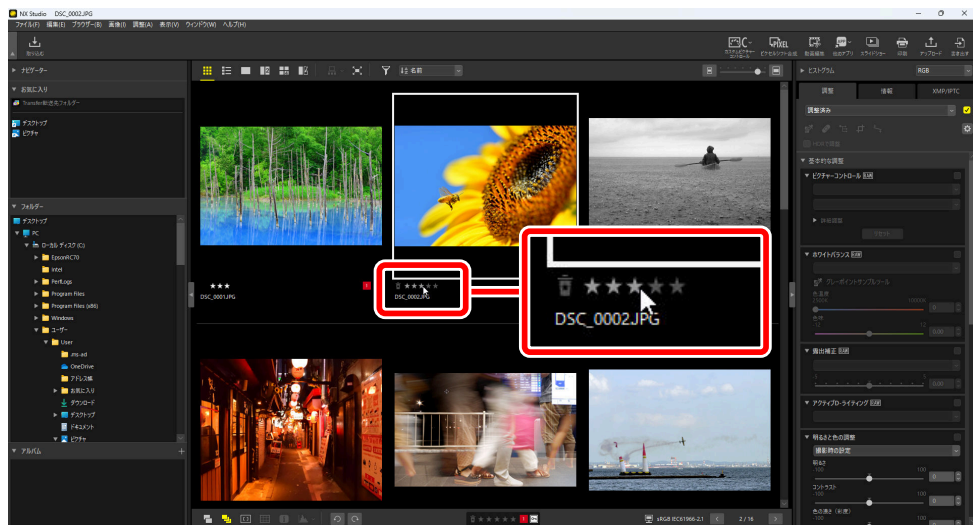
選んだ画像の重要度を ★★★★★～★、なし、☒（削除候補）から設定できます。カメラで設定したレーティングは NX Studio にも反映されます。

レーティングの設定方法

レーティングは複数の箇所から設定できます。

サムネイル

設定したい画像のサムネイルにカーソルを合わせて、設定したいレーティングの★の数を選んでクリックします。設定したレーティングと同じ★の数を再度クリックすると、レーティングの設定が外れます。

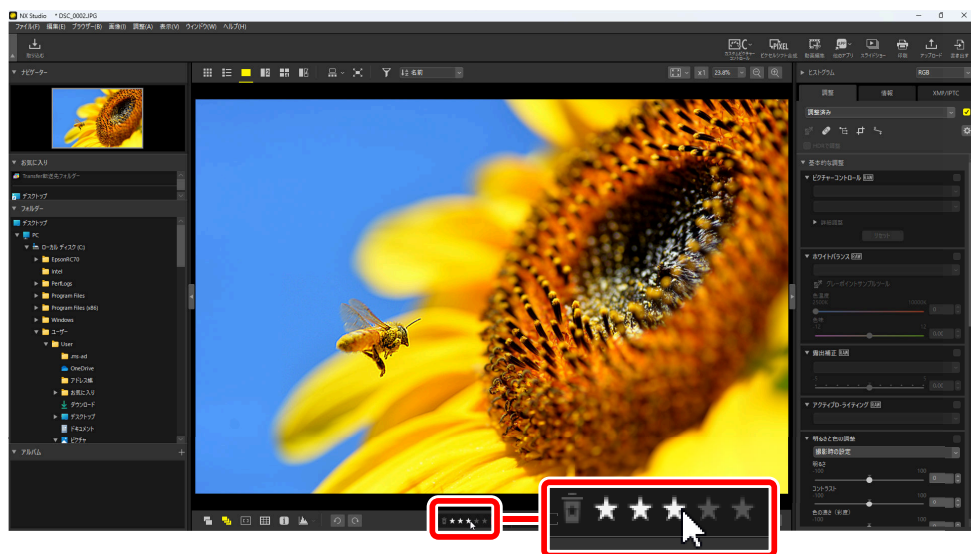


ヒント：複数の画像にまとめて同じレーティングを設定する

Ctrl キー（macOS は command キー）や Shift キーを使用して、複数の画像を選んでレーティングを設定すると、選んだ画像すべてに同じレーティングが設定されます。

ビューエリア下部ツールバー

表示している画像のビューエリア下部バーで、設定したいレーティングの★の数を選んでクリックします。設定したレーティングと同じ★の数を再度クリックすると、レーティングの設定が外れます(52)。

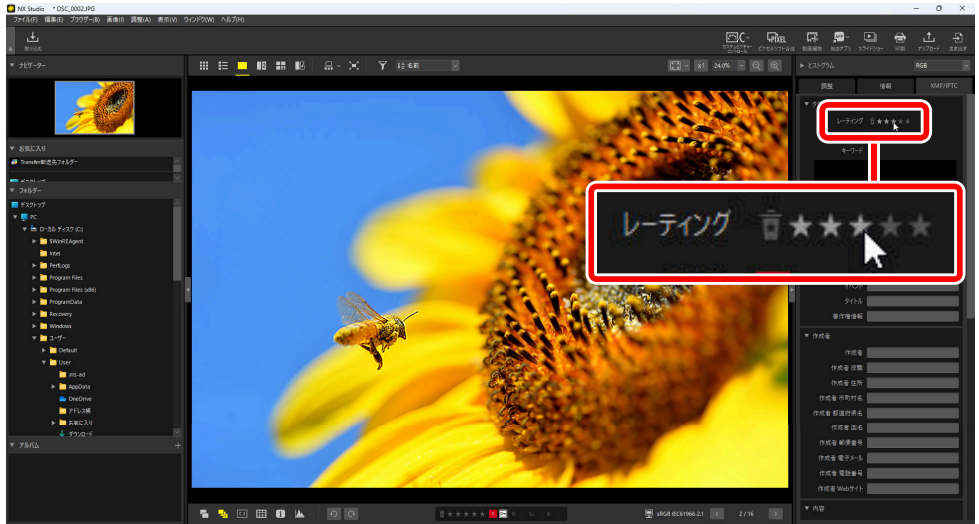


ヒント：2画面表示、4画面表示の場合

設定したレーティングは、現在選ばれている画像（白または黒の枠が表示されている画像）に適用されます。

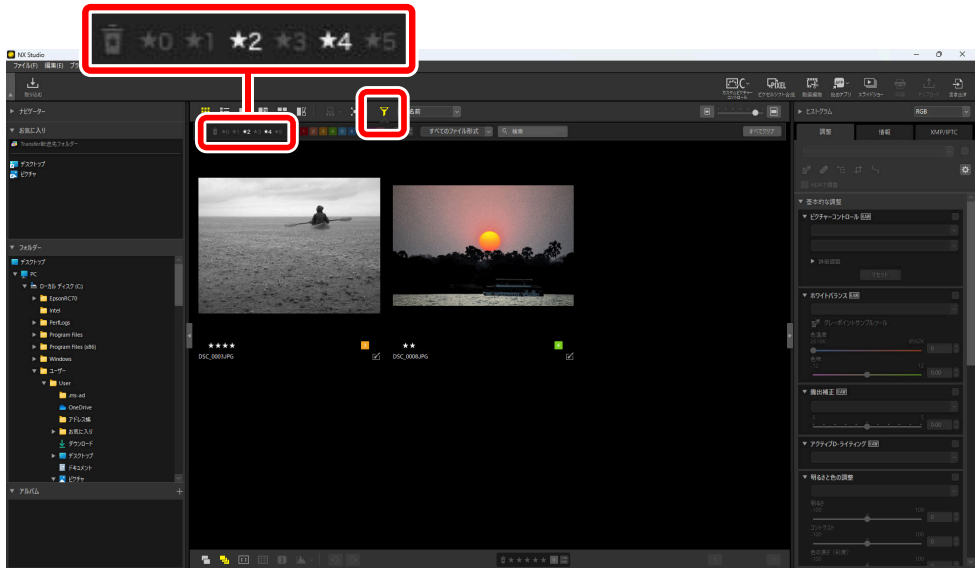
[XMP/IPTC] タブ

調整/情報パレットの [XMP/IPTC] タブの [レーティング] で、設定したいレーティングの★の数を
選んでクリックします。設定したレーティングと同じ★の数を再度クリックすると、レーティングの
設定が外れます ([図 24](#))。



レーティングで表示を絞り込む

設定したレーティングで絞り込みをかけて表示できます。**🚩**アイコンをクリックし、表示したいレーティングを選びます。複数のレーティングを選ぶことも可能です。



★★と★★★★の画像に絞り込んだ例



フィルムストリップ表示

ラベルを付ける

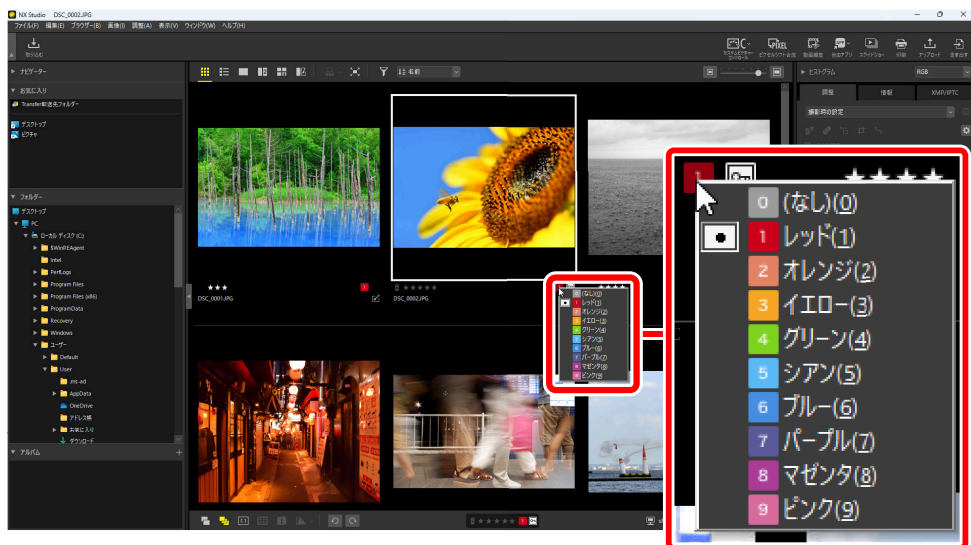
静止画を 1~9 のラベルで分類できます。動画にはラベルを付けられません。

ラベルの設定方法

ラベルは複数の箇所から設定できます。

サムネイル

設定したい画像のサムネイルにカーソルを合わせて、サムネイル上のラベル（ラベルを設定していない画像の場合、サムネイル上にマウスカーソルを置くと「0」が表示されます）をクリックします。

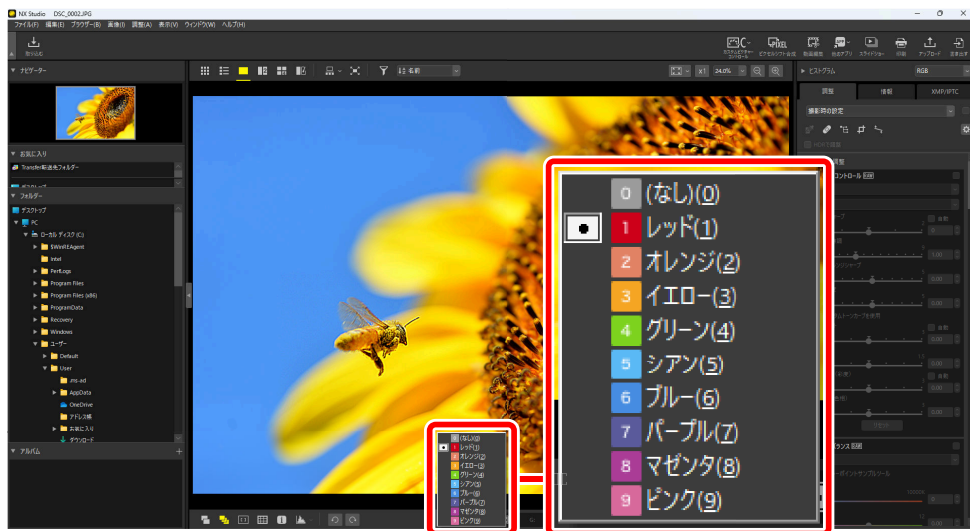


ヒント：複数の画像にまとめて同じラベルを設定する

Ctrl キー（macOS は command キー）や Shift キーを使用して、複数の画像を選んでラベルを設定すると、選んだ画像すべてに同じラベルが設定されます。

ビューエリア下部ツールバー

表示している画像のビューエリア下部バーで、ラベルをクリックし、設定したいラベルを選びます（[図 52](#)）。

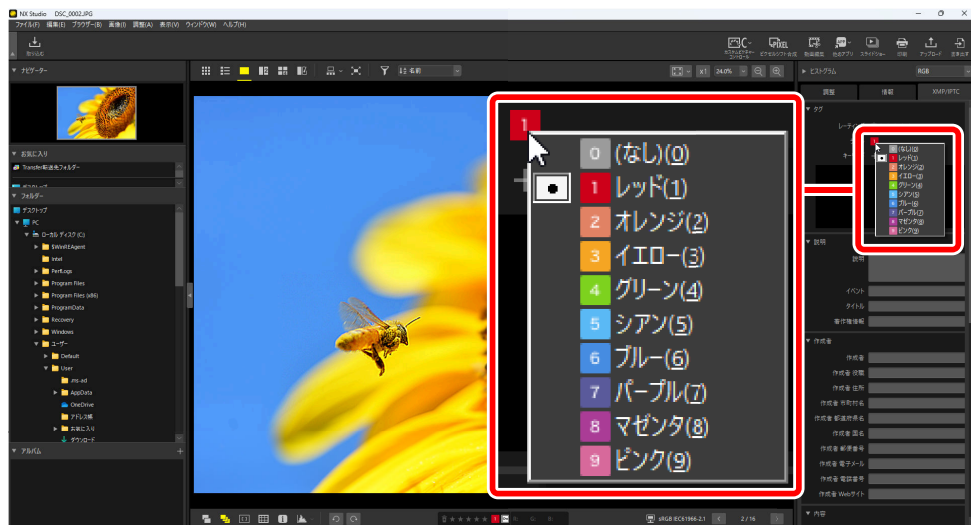


ヒント：2画面表示、4画面表示の場合

設定したラベルは、現在選ばれている画像（白または黒の枠が表示されている画像）に適用されます。

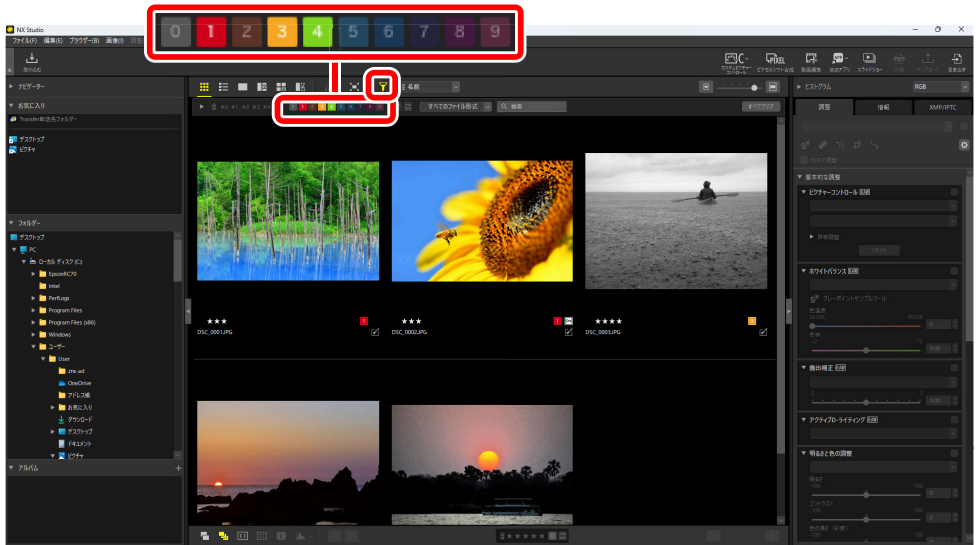
[XMP/IPTC] タブ

調整/情報パレットの [XMP/IPTC] タブの [ラベル] で設定できます ([図 24](#))。

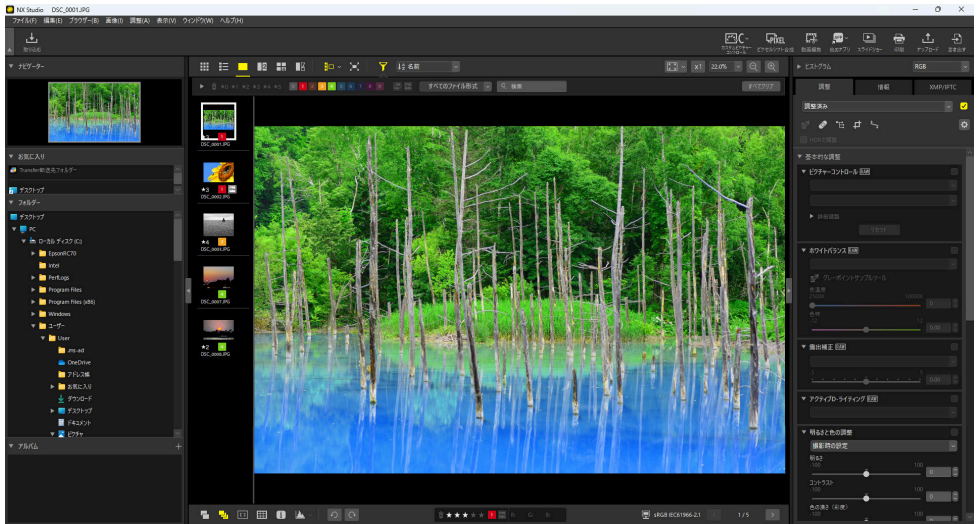


ラベルで表示を絞り込む

設定したラベルで絞り込みをかけて表示できます。**Y**アイコンをクリックし、表示したいラベルを選びます。複数のラベルを選ぶことも可能です。



ラベル 1、3、4 の画像に絞り込んだ例



フィルムストリップ表示

画像をプロテクトする

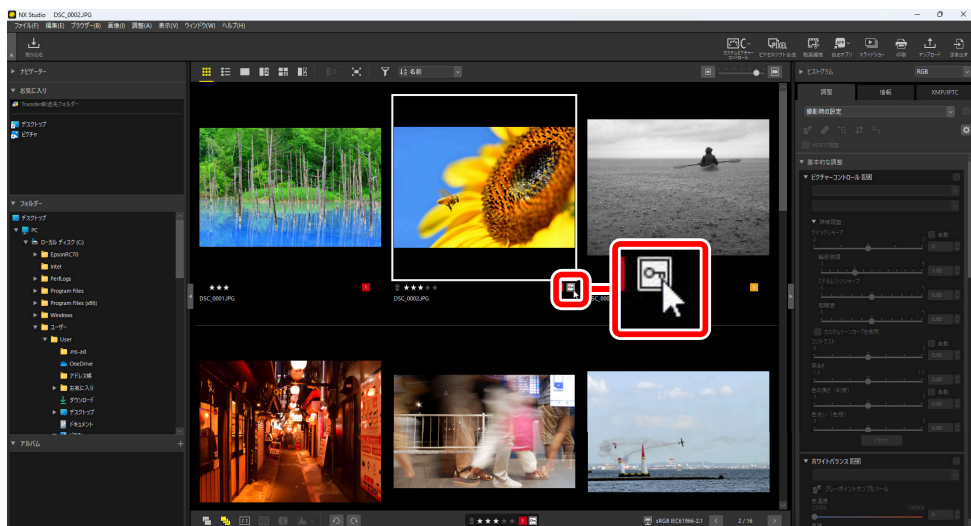
プロテクトすると、画像の削除とファイル名の変更ができなくなります。カメラで設定したプロテクトは NX Studio にも反映されます。

プロテクトの設定方法

プロテクトは複数の箇所から設定できます。

サムネイル

設定したい画像のサムネイルにカーソルを合わせて、サムネイル上のプロテクトアイコンをクリックしてオン (■) にするとプロテクトされます。再度クリックするとオフ (■) になりプロテクトが解除されます。サムネイル詳細表示時は、サムネイルの [名前] 欄で設定できます。

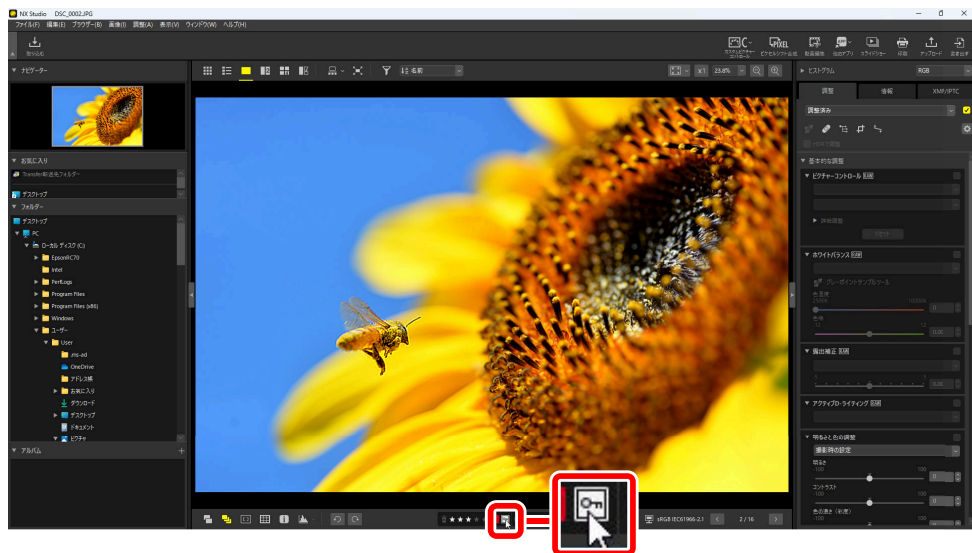


ヒント：複数の画像にまとめて同じプロテクトを設定する

Ctrl キー (macOS は command キー) や Shift キーを使用して、複数の画像を選んでプロテクトを設定すると、選んだ画像すべてに同じプロテクトが設定されます。

ビューエリア下部ツールバー





表示している画像のビューエリア下部バーで、プロテクトアイコンをクリックするとプロテクトのオン (🔒) とオフ (🔓) を切り換えられます ([図 52](#))。

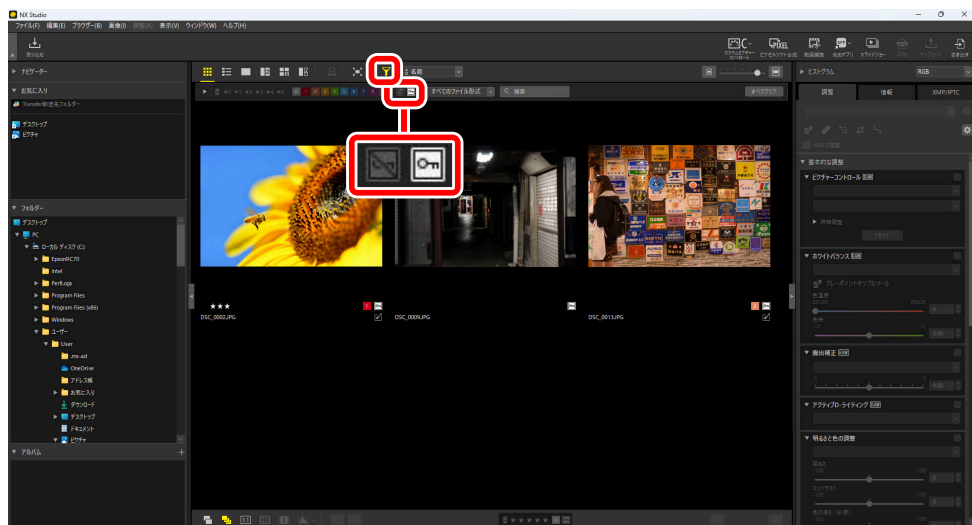


ヒント：2画面表示、4画面表示の場合

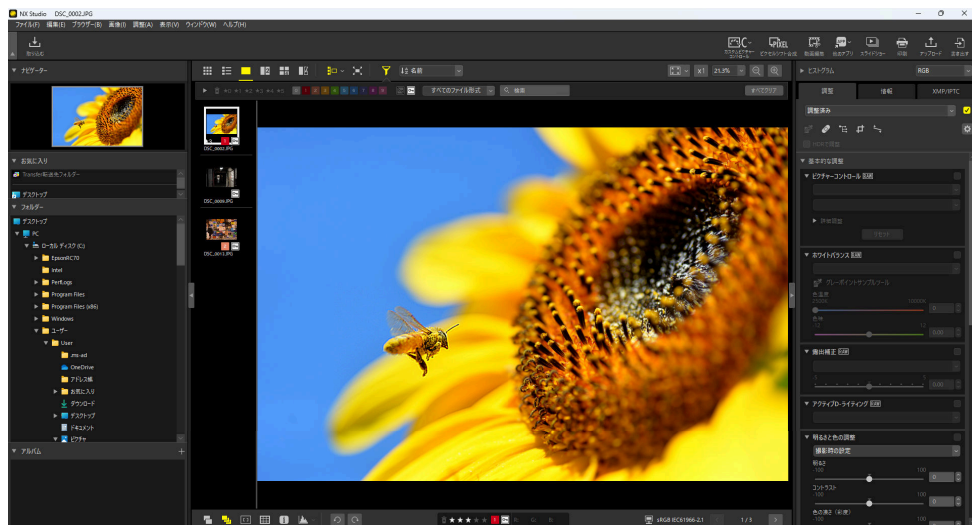
設定したプロテクトは、現在選ばれている画像（白または黒の枠が表示されている画像）に適用されます。

プロジェクトで表示を絞り込む

プロジェクトの状態を表示を絞り込みます。▼アイコンをクリックし、プロジェクト画像のオン（）とオフ（）、プロジェクトなし画像のオン（）とオフ（）を切り換えてプロジェクトの状態を選びます。両方オンまたは両方オフにすると、すべての画像が表示されます。



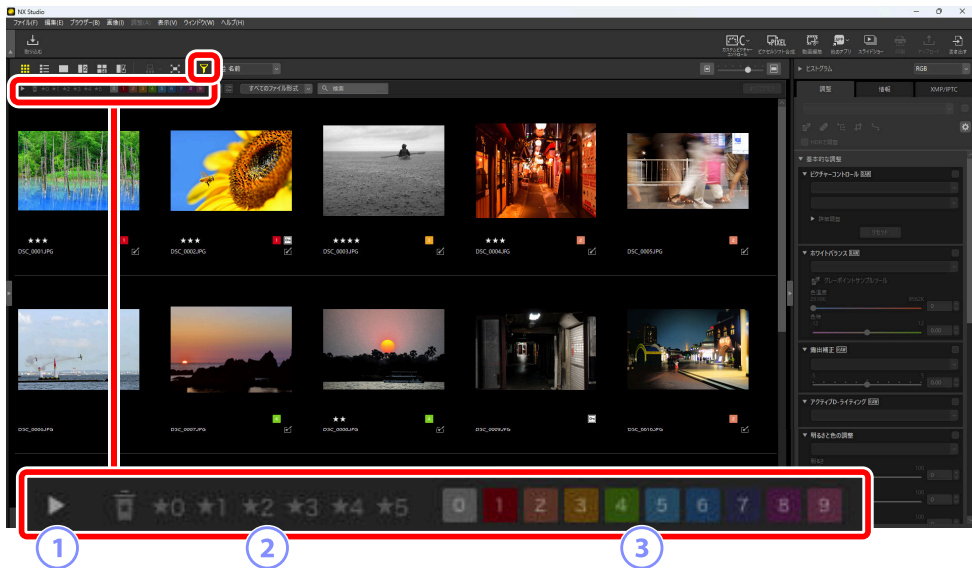
プロジェクト画像のみに絞り込んだ例



フィルムストリップ表示

詳細なフィルターで画像を絞り込む

Yアイコンをクリックすると、レーティングやラベル、プロテクトに加え、撮影時の情報など特定の条件を複数指定して表示する画像を絞り込みます。



① 詳細パレット表示/非表示

クリックすると絞り込み詳細パレットの表示/非表示を切り換えられます ([図 76](#))。

② レーティング

レーティングの設定で表示を絞り込みます ([図 63](#))。

③ ラベル

ラベルの設定で表示を絞り込みます ([図 67](#))。



④ プロテクト


プロテクトの設定で表示を絞り込みます ([図 71](#))。

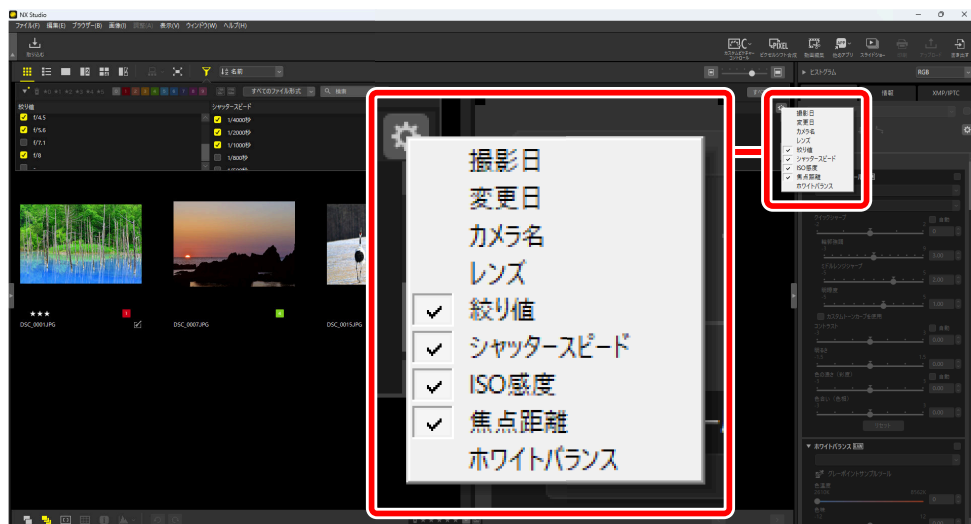
⑤ ファイル形式

表示する画像のファイル形式を選べます。

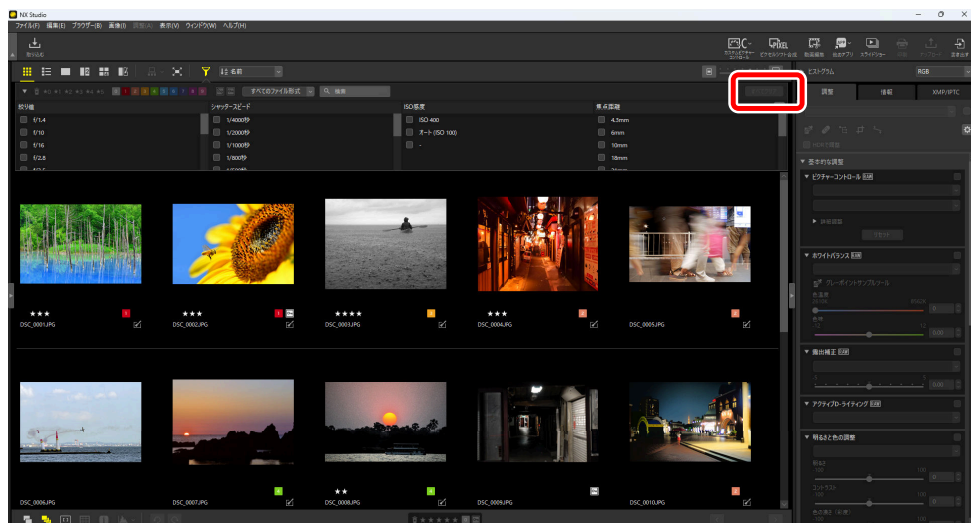
⑥ キーワード検索

ファイル名や、XMP/IPTC 情報に含まれるキーワードを指定できます。

条件の項目は、フィルターバーの  アイコンで変更できます。



[すべてクリア] をクリックすると、設定した条件をすべてリセットできます。



画像を調整する

調整タブについて

画像の調整は、調整/情報パレットの「調整」タブで行います。



1 調整リスト

調整の内容をコピーして他の画像に貼り付けたり、複数の調整項目の調整内容をプリセットマニュアルとして登録して他の画像に適用したりできます。調整内容をすべて破棄して撮影時の状態に戻すことも可能です ([182](#))。

2 調整内容適用チェックボックス

何か画像調整を行うと、チェックが入ります。チェックをオフにすると、複数の画像調整の内容をまとめて一時的に無効にできます。

3 グレーポイントサンプルツール

グレーポイントサンプルツールを使用します。クリックしたピクセルがグレーになるように自動でホワイトバランスが調整されます ([116](#))。

④ レタッチブラシ

画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除けます ([📖 146](#))。

⑤ カラーコントロールポイント

カラーコントロールポイントを使用して画像を調整できます ([📖 150](#))。

⑥ トリミング

画像の必要な部分だけを切り抜きます ([📖 160](#))。

⑦ 傾き補正

画像の傾きを調整します ([📖 165](#))。

⑧ 画像調整パレットのカスタム設定

画像調整パレットに表示する項目を変更できます。

⑨ [HDRで調整]

階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した RAW 画像またはピクセルシフト合成画像を選択したときのみ有効になります。チェックを入れると、HDR のダイナミックレンジで画像を調整します ([📖 83](#))。チェックをオフにすると、SDR のダイナミックレンジで画像を調整します ([📖 82](#))。

⑩ 画像調整パレット

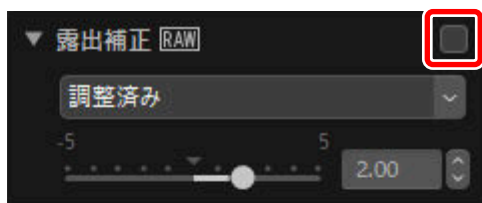
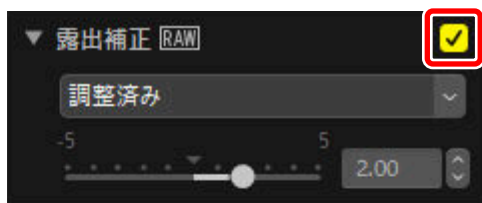
各画像調整の設定を行えます。

画像調整パレットについて

画像調整は、調整内容のカテゴリごとに画像調整パレットにまとめられています。各カテゴリの / またはカテゴリ名をクリックすると、カテゴリ内にある項目の表示/非表示を切り換えられます。[HDRで調整]のチェック有無によって項目が切り替わります。また、選択した画像のファイル形式によって調整できる項目が異なります ([図 88](#))。

ヒント：調整内容を一時的に非適用にする

各調整項目領域の右上にチェックボックスがあり、何か調整を行うとチェックが入ります（[調整履歴設定]を除く）。チェックをオフにすると、調整内容を非適用にできます。



ヒント：調整内容を破棄して撮影時の状態に戻す

各調整項目には調整設定メニューがあり、何か調整を行うと【調整済み】に表示が変更されます（一部項目を除く）。調整設定メニューで【撮影時の設定】を選ぶと、調整内容を破棄して撮影時の状態に戻ります。



[HDRで調整] がオフの場合の調整項目

SDRのダイナミックレンジで画像を調整します ([□ 30](#))。階調モードを設定できるカメラでHLGに設定して撮影した画像を調整した場合、元画像よりもダイナミックレンジが狭くなり、画像の明るさが低下します。

[基本的な調整]

[ピクチャーコントロール] や [露出補正]、[ホワイトバランス] など、主にRAW画像またはピクセルシフト合成画像の調整に使う項目が含まれています。

- [ピクチャーコントロール] * : ピクチャーコントロールを調整します ([□ 92](#))。
- [ホワイトバランス] * : ホワイトバランスを調整します ([□ 116](#))。
- [露出補正] * : 露出補正を調整します ([□ 119](#))。
- [アクティブ D-ライティング] * : アクティブ D-ライティングを調整します ([□ 120](#))。
- [明るさと色の調整] : 画像全体の明るさやコントラストを調整したり、画像内のハイライトやシャドウ部分だけを調整することができます ([□ 122](#))。
- [かすみ除去] : 画像全体のコントラストや彩度を調整して、かすみがあった印象を軽減させます ([□ 121](#))。

*RAW画像またはピクセルシフト合成画像のみ

[レベルとトーンカーブ]

コントラスト、階調レベル (明るさ)、カラーバランスを調整できます ([□ 124](#))。

[明度・彩度・色相の補正]

画像のカラーを調整できます。

- [LCH エディター] : 画像の明るさやカラー明度などのチャンネルを切り換えて、個別に調整できます ([□ 128](#))。
- [カラーブースター] : 彩度を最適に調整し、画像の色の彩度を高めます ([□ 137](#))。

[人物に関する調整]

肌の補正度合いや色相と明るさの設定を調整できます。

- [美肌効果] * : 肌の補正度合いを調整します ([□ 138](#))。
- [人物印象調整] * : 色相と明るさの設定を調整します ([□ 139](#))。

*RAW画像またはピクセルシフト合成画像のみ

[ディティールの補正]

画像のノイズの補正やシャープネスを調整できます。

- [ノイズリダクション] : 画像のノイズを低減します ([□ 140](#))。
- [シャープ調整] : 輪郭をはっきりとさせ、画像をシャープにできます ([□ 142](#))。
- [フィルムグレイン] : 画像全体に粒子状の質感を追加します ([□ 145](#))。

【部分的な補正】

画像内のゴミを取り除くことや、一部の色を変更することができます。

- [レタッチブラシ]：画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除けます ([図 146](#))。
- [カラーコントロールポイント]：画像の色と明るさを部分的に調整できます ([図 150](#))。

【構図の補正】

画像の切り抜きや角度の調整を行えます。

- [トリミング]：画像の必要な部分だけを切り抜けます ([図 160](#))。
- [傾き補正]：画像の傾きを調整できます ([図 165](#))。
- [アオリ効果]：遠近感による被写体のゆがみを補正できます ([図 169](#))。

【カメラとレンズの補正】

画像の色ずれなどを補正できます。

- [カメラ補正]：色モアレの低減や、イメージダストオフを使用したゴミの低減、赤目補正が行えます ([図 170](#))。
- [レンズ補正]：倍率色収差補正や軸上色収差補正など、レンズの特性により発生する現象を補正できます ([図 172](#))。

【調整履歴設定】

Capture NX または Capture NX 2 で調整した画像処理の適用/非適用を切り換えられます ([図 176](#))。

【HDR で調整】 がオンの場合の調整項目

HDR のダイナミックレンジで画像を調整します ([図 30](#))。適切な階調で確認するために、HDR 対応モニターの使用をおすすめします。HDR に対応していないモニターを使用した場合、高彩度やハイライトの再現性が低下する場合があります。

【基本的な調整】

[ピクチャーコントロール (HLG)] や [露出補正]、[ホワイトバランス] など、主に RAW 画像またはピクセルシフト合成画像の調整に使う項目が含まれています。

- [ピクチャーコントロール (HLG)] *：ピクチャーコントロールを調整します ([図 113](#))。
- [ホワイトバランス] *：ホワイトバランスを調整します ([図 116](#))。
- [露出補正] *：露出補正を調整します ([図 119](#))。

*RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ

【レベルとトーンカーブ】

コントラスト、階調レベル (明るさ)、カラーバランスを調整できます ([図 124](#))。

[人物に関する調整]

肌の補正度合いや色相と明るさの設定を調整できます。

- [美肌効果] * : 肌の補正度合いを調整します ([📖 138](#))。
- [人物印象調整] * : 色相と明るさの設定を調整します ([📖 139](#))。

*RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ

[ディテールの補正]

画像のノイズを補正できます。

- [ノイズリダクション] : 画像のノイズを低減します ([📖 140](#))。

[部分的な補正]

画像内のゴミを取り除くことができます。

- [レタッチブラシ] : 画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除けます ([📖 146](#))。

[構図の補正]

画像の切り抜きや角度の調整を行えます。


- [トリミング] : 画像の必要な部分だけを切り抜けます ([📖 160](#))。
- [傾き補正] : 画像の傾きを調整できます ([📖 165](#))。
- [アオリ効果] : 遠近感による被写体のゆがみを補正できます ([📖 169](#))。

[カメラとレンズの補正]

画像の色ずれなどを補正できます。

- [レンズ補正] : 倍率色収差補正や自動ゆがみ補正など、レンズの特性により発生する現象を補正できます ([📖 172](#))。

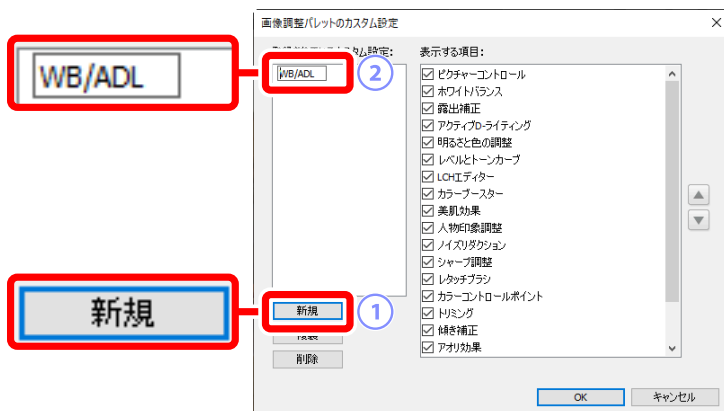
画像調整パレットのカスタマイズ

画像調整パレットに表示する項目を変更して保存できます。保存したカスタマイズ内容は  ボタンをクリックして表示されるメニューにプリセットとして登録されます。

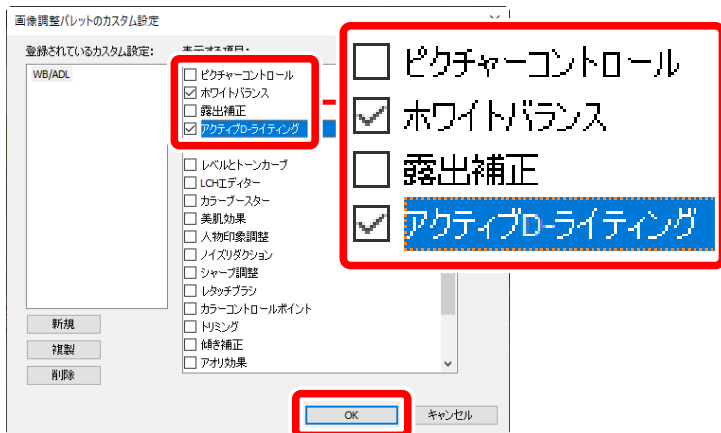
- 1 「調整」タブの  ボタンをクリックし、「調整項目のカスタム設定」を選びます。




- 2 表示されたダイアログで「新規」をクリックし (①)、任意のプリセット名を入力します (②)。



- 3 画像調整パレットに表示したい項目にチェックを入れます。▲ ▼で項目の順番を入れ替えられます。[OK] を押すとプリセットが保存されます。



- 4 [調整] タブの  ボタンをクリックしてプリセットを選ぶと、手順3で設定した項目のみが画像調整パレットに表示されます。



HLG 静止画の調整可能項目一覧

HLG 静止画には、階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した RAW 画像 (.nef) /HEIF 画像 (.hif)、HLG でピクセルシフト撮影した画像を合成した画像 (.nefx) の 3 種類の形式があります。それぞれのファイル形式に画像調整パレットの各調整項目が対応しているかどうかは次の通りです。

基本的な調整

調整項目	.nef/.nefx	.hif
[ピクチャーコントロール]	—	—
[ピクチャーコントロール (HLG)]	✓	—
[ホワイトバランス]	✓	—
[露出補正]	✓	—
[アクティブ D-ライティング]	—	—
[明るさと色の調整]		
[明るさ]	—	—
[コントラスト]	—	—
[色の濃さ (彩度)]	—	—
[ハイライト]	—	—
[シャドウ]	—	—
[D-ライティング HS]	—	—
[かすみ除去]	—	—

レベルとトーンカーブ

調整項目	.nef/.nefx	.hif
トーンカーブ	✓	✓

明度・彩度・色相の補正

調整項目	.nef/.nefx	.hif
[LCH エディター]	—	—
[カラーブースター]	—	—

人物に関する調整

調整項目	.nef/.nefx	.hif
[美肌効果]	✓	—
[人物印象調整]	✓	—

ディテールの補正

調整項目	.nef/.nefx	.hif
[ノイズリダクション]		
[ノイズリダクション]	✓	—
[エッジノイズリダクション]	✓	—
[アストロノイズリダクション]	✓ (.nefx は非対応)	—
[シャープ調整]		
[輪郭強調]	—	—
[アンシャープマスク]	—	—
[フィルムグレイン]	—	—

部分的な補正

調整項目	.nef/.nefx	.hif
[レタッチブラシ]		
レタッチブラシ設定	✓	✓
[カラーコントロールポイント]		
カラーコントロールポイント設定	—	—

構図の補正

調整項目	.nef/.nefx	.hif
[トリミング]		
トリミング設定	✓	✓
[傾き補正]		
傾き補正設定	✓	✓
[アオリ効果]		
アオリ効果設定	✓	✓

カメラとレンズの補正

調整項目	.nef/.nefx	.hif
[カメラ補正]		
[色モアレリダクション]	—	—
[イメージダストオフ]	—	—
[自動赤目補正]	—	—
[レンズ補正]		
[倍率色収差補正]	✓ (.nefx は非対応)	✓
[軸上色収差補正]	—	—
[自動ゆがみ補正]	✓	✓
[ヴィネットコントロール]	✓	✓
[回折補正]	✓	—
[PF フレアコントロール]	—	—
[フィッシュアイ補正]	✓	✓

調整履歴設定

調整項目	.nef/.nefx	.hif
[調整ステップの適用]	—	—

ピクチャーコントロール

SDR のダイナミックレンジでピクチャーコントロールを調整します。RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ調整可能です。



① カラープロセス

カラープロセスを選びます。選んだ項目によって設定できるピクチャーコントロールが異なります。最新のピクチャーコントロールを使用しているカメラで撮影した画像や NRW 形式の RAW 画像の場合、環境設定の **[RAW 現像]** にある **[カラープロセス]** と同じ設定に固定されて選ばせません ([📖 235](#)、 [📖 248](#))。

- **[最新のピクチャーコントロール]** : **[Creative Picture Control]** を含む最新のピクチャーコントロールのカラープロセスを適用します。新しいカメラで追加されたピクチャーコントロールや調整項目を、対応していないカメラで撮影された RAW 画像にも適用できます。

- **[カメラ互換]** : 画像を撮影したニコンのカメラで使っているピクチャーコントロールのカラープロセスを、そのまま適用します。カメラでの色再現と合わせたい場合に選びます。

ヒント : カラープロセスについて

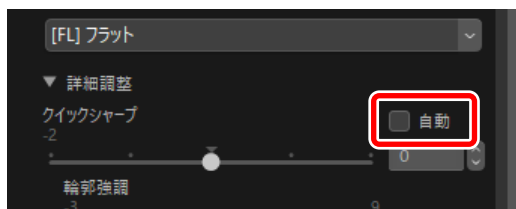
カラープロセスを選べる画像を選択している場合、どちらを初期設定とするかを環境設定の **[RAW 現像]** にある **[カラープロセス]** で設定できます ([📖 235](#)、[📖 248](#))。

② ピクチャーコントロール

画像に適用したいピクチャーコントロールを選べます。**[カスタムピクチャーコントロールに追加]** を選ぶと、調整したピクチャーコントロールを別のピクチャーコントロール (カスタムピクチャーコントロール) として NX Studio に登録できます ([📖 194](#))。

③ [詳細調整]

各項目を微調整できます ([📖 94](#))。**[自動]** がある項目の場合、チェックを入れると自動で調整されます。同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。



✓ [HDR で調整] 切り換え時のご注意

[HDR で調整] のオンオフを切り換えると、ピクチャーコントロールの微調整内容をすべてリセットします。

- **[ピクチャーコントロール]** を **[モノクローム]**、**[フラット]** に設定している場合に **[HDR で調整]** をオンにすると、**[ピクチャーコントロール (HLG)]** の **[[HLG MC] モノクローム]**、**[[HLG FL] フラット]** に切り替わります。**[モノクローム]**、**[フラット]** 以外に設定している場合は **[[HLG SD] スタンダード]** に切り替わります。

④ [リセット]

各項目の値を初期値に戻します。

[詳細調整] について

[詳細調整] の各項目の値を変更すると、選んだピクチャーコントロールを微調整できます。表示される項目は、最新のピクチャーコントロールが適用されている画像の場合と適用されていない画像で異なります。

最新のピクチャーコントロールが適用されている画像の場合

最新のピクチャーコントロールを使用しているカメラで撮影した画像（カラープロセスが [カメラ互換] で固定されている画像）や、カラープロセスで [最新のピクチャーコントロール] を選んでいる画像の場合、次の項目が表示されます。ピクチャーコントロールとして [フレキシブルカラー] を選んでいる場合は「ピクチャーコントロール（フレキシブルカラー）」をご覧ください ([🔗 102](#))。

[クイックシャープ]

画像内の明暗差がある部分のシャープさを調整します。

- [クイックシャープ] を調整すると、[輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] の各項目がまとめてバランスよく調整されます。+側に設定するとよりくっきりとした印象になり、-側に設定するとよりやわらかな印象になります。
- [輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] は、画像内で調整する対象が異なります。各項目を個別に調整することも可能です。
 - [輪郭強調]：狭い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
 - [ミドルレンジシャープ]：[輪郭強調] と [明瞭度] の中間の範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
 - [明瞭度]：広い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。細部の輪郭や画像全体の階調と明るさは維持されます。

[カスタムトーンカーブを使用]

チェックを入れるとカスタムトーンカーブが表示され、現在選んでいるピクチャーコントロールのコントラストと階調レベル（明るさ）を調整できます ([🔗 99](#))。ピクチャーコントロールが [オート] または [Creative Picture Control] の場合は調整できません。

[コントラスト]

画像全体のコントラストを調整します。-側にすると軟らかい調子の画像になり、+側にすると硬い調子の画像になります。カスタムトーンカーブでの調整が適用されている画像の場合は調整できません。

[明るさ]

画像のシャドウ部とハイライト部の中間部分の明るさを調整します。ハイライト部分またはシャドウ部分には影響しないため、白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整できます。ピクチャーコントロールが [オート] または [Creative Picture Control] の場合は表示されません。カスタムトーンカーブでの調整が適用されている画像の場合は調整できません。

【色の濃さ（彩度）】

画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。-側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。ピクチャーコントロールが **【モノクローム】**、**【フラットモノクローム】**、**【ディープトーンモノクローム】**、**【セピア】**、**【ブルー】**、**【レッド】**、**【ピンク】**、**【チャコール】**、**【グラファイト】**、**【バイナリー】**、**【カーボン】** の場合は表示されません。

【色合い（色相）】

画像の色合いを調整できます。ピクチャーコントロールが **【スタンダード】**、**【ニュートラル】**、**【ビビッド】**、**【ポートレート】**、**【リッチトーンポートレート】**、**【風景】**、**【フラット】**、**【ドリーム】**、**【モーニング】**、**【ポップ】**、**【サンデー】** の場合のみ表示されます。

【フィルター効果】

白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。ピクチャーコントロールが **【モノクローム】**、**【フラットモノクローム】**、**【ディープトーンモノクローム】**、**【セピア】**、**【ブルー】**、**【レッド】**、**【ピンク】**、**【チャコール】**、**【グラファイト】**、**【バイナリー】**、**【カーボン】** の場合のみ表示されます。

【調色】

白黒画像全体に色味を乗せることができます。ノスタルジックなセピア調、青写真とも呼ばれるサイアノタイプ調など9種類の色味および **【B&W】**（白黒）から選べます。ピクチャーコントロールが **【モノクローム】**、**【フラットモノクローム】**、**【ディープトーンモノクローム】**、**【チャコール】**、**【グラファイト】**、**【バイナリー】**、**【カーボン】** の場合のみ表示されます。

【色の濃淡を調整】

【調色】 で選んだ色の濃さを調整します。ピクチャーコントロールが **【モノクローム】**、**【フラットモノクローム】**、**【ディープトーンモノクローム】**、**【チャコール】**、**【グラファイト】**、**【バイナリー】**、**【カーボン】** の場合のみ表示されます。ただし、**【調色】** の設定が **【B&W】** の場合は調整できません。

【色の濃淡】

色の濃さを調整します。ピクチャーコントロールが **【セピア】**、**【ブルー】**、**【レッド】**、**【ピンク】** の場合のみ表示されます。

ヒント：ピクチャーコントロールで [オート] を選んだ場合

ピクチャーコントロールで [オート] を選択している場合、各項目のオートの調整レベルを [A-2] ~ [A+2] から選べます。

ヒント：ピクチャーコントロールで [Creative Picture Control] の項目を選んだ場合

[Creative Picture Control] ([ドリーム]、[モーニング]、[ポップ] など) に設定した場合、[適用度] の項目が表示されます。効果をどれだけ適用するかを調整します。



最新のピクチャーコントロールが適用されていない画像の場合

カラープロセスで [カメラ互換] を選んでいる場合、次の項目が表示されます。

[クイック調整] / [クイックシャープ]

選択している画像によって、[クイック調整] または [クイックシャープ] のどちらかが表示されません。

- [クイック調整] の場合、各項目のレベルを自動的に調整します。- 側になるとそれぞれのピクチャーコントロールの特徴を弱めた画像になり、+ 側になると強調した画像になります。[クイック調整] 以外の各項目を個別に調整した後にクイック調整を行うと、各項目で調整した値は無効になります。
- [クイックシャープ] の場合、画像内の明暗差がある部分のシャープさを調整します。
 - [クイックシャープ] を調整すると、[輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] の各項目がまとめてバランスよく調整されます。+ 側に設定するとよりくっきりとした印象になり、- 側に設定するとよりやわらかな印象になります。
 - [輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] は、画像内で調整する対象が異なります。各項目を個別に調整することも可能です。
 - [輪郭強調]：狭い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
 - [ミドルレンジシャープ]：[輪郭強調] と [明瞭度] の中間の範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
 - [明瞭度]：広い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。細部の輪郭や画像全体の階調と明るさは維持されます。

【カスタムトーンカーブを使用】

チェックを入れるとカスタムトーンカーブが表示され、現在選んでいるピクチャーコントロールのコントラストと階調レベル（明るさ）を調整できます（[99](#)）。ピクチャーコントロールが【オート】または【Creative Picture Control】の場合、または一部のカメラで撮影した画像の場合は調整できません。

【輪郭強調】

輪郭の強弱を調整します。値が大きいほどくっきりとした画像になります。

【明瞭度】

画像の明瞭度を調整します。【明瞭度】に対応したカメラで撮影した画像のみ調整できます。

【コントラスト】

画像全体のコントラストを調整します。-側にすると軟らかい調子の画像になり、+側にすると硬い調子の画像になります。

【明るさ】

画像のシャドウ部とハイライト部の中間部分の明るさを調整します。ハイライト部分またはシャドウ部分には影響しないため、白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整できます。ピクチャーコントロールが【オート】または【Creative Picture Control】の場合は表示されません。

【色の濃さ（彩度）】

画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。-側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。ピクチャーコントロールが【モノクローム】、【セピア】、【ブルー】、【レッド】、【ピンク】、【チャコール】、【グラファイト】、【バイナリー】、【カーボン】の場合は表示されません。

【色合い（色相）】

画像の色合いを調整できます。ピクチャーコントロールが【スタンダード】、【ニュートラル】、【ビッド】、【ポートレート】、【風景】、【フラット】、【ドリーム】、【モーニング】、【ポップ】、【サンデー】の場合のみ表示されます。

【フィルター効果】

白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。ピクチャーコントロールが【モノクローム】、【セピア】、【ブルー】、【レッド】、【ピンク】、【チャコール】、【グラファイト】、【バイナリー】、【カーボン】の場合のみ表示されます。

【調色】

白黒画像全体に色味を乗せることができます。ノスタルジックなセピア調、青写真とも呼ばれるサイアノタイプ調など9種類の色味および【B&W】（白黒）から選べます。ピクチャーコントロールが【モノクローム】、【チャコール】、【グラファイト】、【バイナリー】、【カーボン】の場合のみ表示されます。

【色の濃淡を調整】

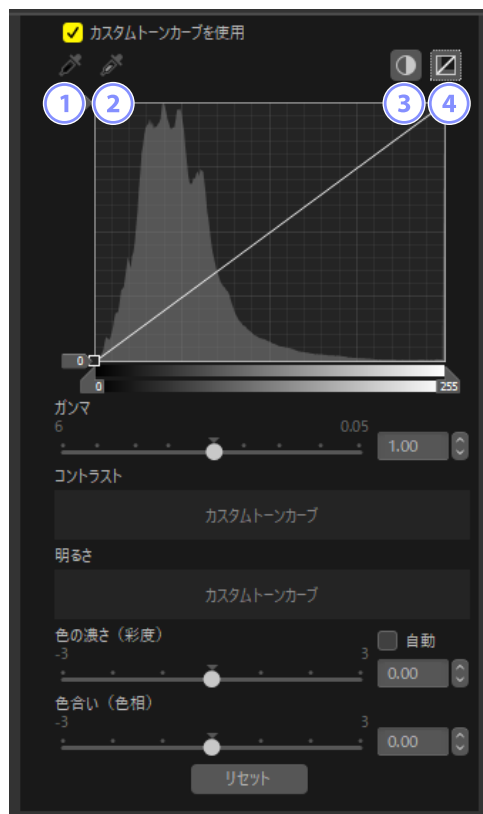
【調色】で選んだ色の濃さを調整します。ピクチャーコントロールが【モノクローム】、【チャコール】、【グラファイト】、【バイナリー】、【カーボン】の場合のみ表示されます。ただし、【調色】の設定が【B&W】の場合は調整できません。

【色の濃淡】

色の濃さを調整します。ピクチャーコントロールが【セピア】、【ブルー】、【レッド】、【ピンク】の場合のみ表示されます。

カスタムトーンカーブを使う

現在選んでいるピクチャーコントロールのコントラストと階調レベル（明るさ）を調整できます。画像の階調の特定の部分に関して調整を行い、細部を保ちながら画像を強調できます。ピクチャーコントロールが【オート】または【Creative Picture Control】の場合、または一部のカメラで撮影した画像の場合は調整できません。



① ブラックポイントの設定

ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分を最も暗い色調（黒）としてブラックポイントスライダーが自動的に調整されます。

② ホワイトポイントの設定

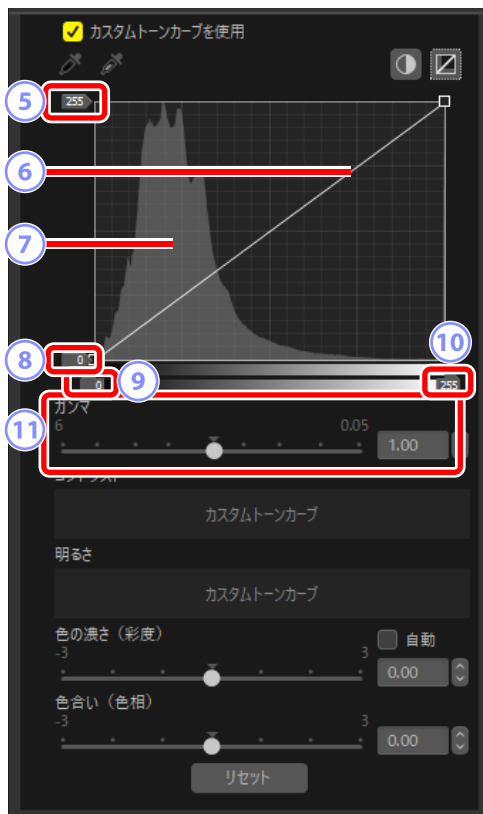
ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分を最も明るい色調（白）としてホワイトポイントスライダーが自動的に調整されます。

③ 自動コントラスト

自動的にホワイトポイントとブラックポイントが設定され、画像上の最も明るい部分を白に、最も暗い部分を黒に定義します。階調の再配分を行って、画像全体のコントラストを調節します。

④ [リセット]

トーンカーブを初期設定の値に戻します。



⑤ ホワイトポイント出カスライダー

画像の最大明るさレベルを設定します。スライダーを下にドラッグすると画像の最も明るい部分が暗くなります。

⑥ トーンカーブ

カーブの傾き、形を変更することにより画像の明暗を調整します。トーンカーブを調整して追加されたアンカーポイントは、Delete キーを押すかパレット外にドラッグすると削除できます。

⑦ ヒストグラム

画像のレベル分布を示します。

⑧ ブラックポイント出カスライダー

画像の最小明るさレベルを設定します。スライダーを上にはドラッグすると画像の最も暗い部分が明るくなります。

⑨ ブラックポイントスライダー

スライダーを右に動かすと、選択した点より左側の明るさを完全な黒に設定し、可能な数値範囲に明るさの範囲が収まるよう広げて再配分します。

⑩ ホワイトポイントスライダー

スライダーを左に動かすと、選択した点より右側の明るさを完全な白に設定し、可能な数値範囲に明るさの範囲が収まるよう広げて再配分します。

⑪ 【ガンマ】

スライダーを左に動かすと画像の中間色調が明るくなり、右に動かすと画像の中間色調が暗くなります。

ヒント：カスタムトーンカーブを調整したピクチャーコントロールを他の画像に適用する

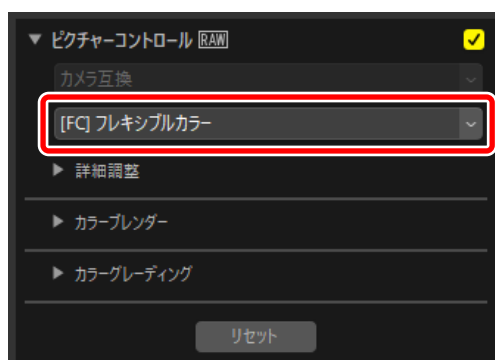
カスタムトーンカーブを調整したピクチャーコントロールはカスタムピクチャーコントロールとして保存し、他の画像にも適用できます ([🔗 194](#))。

ヒント：カスタムトーンカーブを調整したピクチャーコントロールをカメラで撮影する画像に適用する

カスタムトーンカーブを調整したピクチャーコントロールをカスタムピクチャーコントロールとして保存し、ピクチャーコントロールファイルとして書き出すことができます ([🔗 205](#))。書き出したカスタムピクチャーコントロールファイルをカメラに読み込んでカスタムピクチャーコントロールとして登録すると、撮影する画像に適用できます。

ピクチャーコントロール（フレキシブルカラー）

ピクチャーコントロールで「**フレキシブルカラー**」を選ぶと、より自由度の高い多彩な調整が可能です。自分好みの画作りを NX Studio で行ってカスタムピクチャーコントロールとして保存してカメラに読み込むことで、独自の雰囲気を持つ画像を撮影できます。「**フレキシブルカラー**」には調整できる項目として「**詳細調整**」に加えて「**カラーブレンダー**」および「**カラーグレーディング**」があり、直感的に色味を調整できます。



✓ **「フレキシブルカラー」について**

ピクチャーコントロールで「**フレキシブルカラー**」を選ぶには、次の条件を全て満たしている必要があります。

- 階調モードが SDR の画像
- 最新のピクチャーコントロールを使用しているカメラで撮影した画像（カラープロセスが「**カメラ互換**」で固定されている画像）、またはカラープロセスで「**最新のピクチャーコントロール**」を選んでいる画像

✓ **「フレキシブルカラー」を元にしたカスタムピクチャーコントロールについてのご注意**

- カメラに読み込むには、カメラが「**フレキシブルカラー**」に対応している必要があります。
- 「**フレキシブルカラー**」を元にしたカスタムピクチャーコントロールは、カメラでは微調整できません。

✓ **「リセット」ボタンについて**

「**リセット**」ボタンをクリックすると、「**詳細調整**」、「**カラーブレンダー**」、「**カラーグレーディング**」のすべての値がリセットされます。

[詳細調整] について

各項目を微調整できます。



① [クイックシャープ]

画像内の明暗差がある部分のシャープさを調整します。

- [クイックシャープ] を調整すると、[輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] の各項目がまとめてバランスよく調整されます。+側に設定するとよりくっきりとした印象になり、-側に設定するとよりやわらかな印象になります。
- [輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] は、画像内で調整する対象が異なります。各項目を個別に調整することも可能です。
 - [輪郭強調]：狭い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
 - [ミドルレンジシャープ]：[輪郭強調] と [明瞭度] の中間の範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
 - [明瞭度]：広い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。細部の輪郭や画像全体の階調と明るさは維持されます。

② 【カスタムトーンカーブを使用】

チェックを入れるとカスタムトーンカーブが表示され、現在選んでいるピクチャーコントロールのコントラストと階調レベル（明るさ）を調整できます（[□ 99](#)）。

③ 【コントラスト】

画像全体のコントラストを調整します。-側にすると軟らかい調子の画像になり、+側にすると硬い調子の画像になります。カスタムトーンカーブでの調整が適用されている画像の場合は調整できません。

④ 【ハイライト】

画像の明るい部分の明るさを調整します。+側にすると明るく、-側にすると暗くなります。明るい部分の明るさを抑えることや、さらに明るくすることができます。カスタムトーンカーブでの調整が適用されている画像の場合は調整できません。

⑤ 【シャドウ】

画像内の暗い部分の明るさを調整します。+側にすると明るく、-側にすると暗くなります。暗い部分を持ち上げることや、さらに暗くすることができます。カスタムトーンカーブでの調整が適用されている画像の場合は調整できません。

⑥ 【白レベル】

画像内の最も明るい部分の明るさを調整します。+側にすると明るく、-側にすると暗くなります。画像内で白飛びしている部分の明るさを抑えることや、白の抜け感をさらに強調することができます。カスタムトーンカーブでの調整が適用されている画像の場合は調整できません。

⑦ 【黒レベル】

画像内の最も暗い部分の明るさを調整します。+側にすると明るく、-側にすると暗くなります。画像内で黒つぶれしている部分を明るく持ち上げることや、影の暗さをさらに強調することができます。カスタムトーンカーブでの調整が適用されている画像の場合は調整できません。

⑧ 【色の濃さ（彩度）】

画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。-側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。

【カラーブレンダー】について

画像内の8種類の色別に色味を調整できます。調整は【カラー】、【色相】、【彩度】、【明度】のチャンネルで行なえます。選んだチャンネルによって、調整パレットの内容が切り替わります。



【カラー】

8色の色をクリックして選び、それぞれの色の【色相】、【彩度】、【明度】を調整できます。



① 色選択

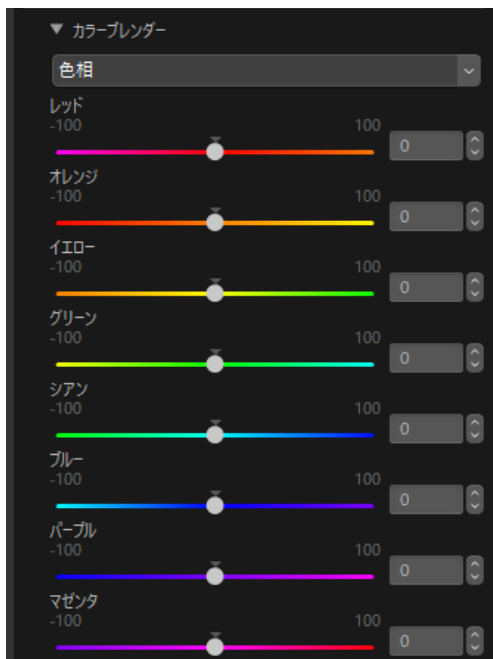
調整したい画像内の色をクリックして選びます。調整を加えた色には、右上に黄色のマークが表示されます。

② 【色相】 / 【彩度】 / 【明度】

選んだ色の色相、彩度、明度をそれぞれ調整できます。

【色相】

色ごとの色相を調整できます。[カラー]で[色相]を調整している場合、その調整結果も反映されています。



【彩度】

色ごとの彩度を調整できます。[カラー]で[彩度]を調整している場合、その調整結果も反映されています。



【明度】

色ごとの明度を調整できます。[カラー] で [明度] を調整している場合、その調整結果も反映されています。



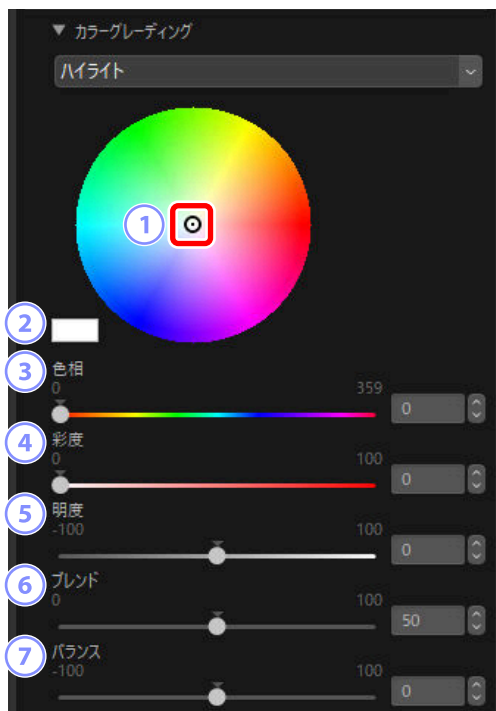
[カラーグレーディング] について

画像内のハイライト部、中間調部、シャドー部の各領域を [色相]、[彩度] で調整した色味にしたり、[明度] で明るさを調整したりできます。カラーホイールを使用して、直感的に色を選ぶことが可能です。



■ [ハイライト] / [中間調] / [シャドウ]

画像のハイライト部、中間調部、シャドウ部の色味と明るさを調整できます。画像に適用する色は、カラーホイールおよび [色相] と [彩度] のスライダーで選べます。



① ホイールハンドル

カラーホイール内をクリックするかホイールハンドルをドラッグして、画像に適用する色を選びます。ホイールハンドルを動かすと、[色相] および [彩度] スライダーも連動して動きます。

② 選択中の色

現在ホイールハンドルまたは [色相]、[彩度] スライダーで選ばれている色が表示されます。明度は 100 で固定され、[明度] スライダーを調整しても表示は変更されません。

③ [色相]

色を選べます。スライダーを動かすと、ホイールハンドルも連動して動きます。

④ [彩度]

選んだ色相の彩度を調整できます。スライダーを動かすと、ホイールハンドルも連動して動きま
す。

⑤ [明度]

明るさを調整できます。

⑥ [ブレンド]

[ハイライト]、[中間調]、[シャドウ] の重なり具合をコントロールします。[ブレンド] の値を
大きくすると、各領域で設定した色が混ざり合います。値を小さくすると、各領域で設定した色
は他の領域の色の影響を受けにくくなります。

- [ブレンド] の値は [ハイライト]、[中間調]、[シャドウ]、[3 方向] での共通値です。たとえ
ば [ハイライト] で値を調整すると、[中間調]、[シャドウ]、[3 方向] でも同じ値になりま
す。

⑦ [バランス]

ハイライトとシャドウのバランスを調整します。+側にするるとハイライトの範囲が広くなり、-側
にするるとシャドウの範囲が広がります。

- [バランス] の値は [ハイライト]、[中間調]、[シャドウ]、[3 方向] での共通値です。たとえ
ば [ハイライト] で値を調整すると、[中間調]、[シャドウ]、[3 方向] でも同じ値になりま
す。

[3 方向]

[ハイライト]、[中間調]、[シャドウ] の色味を同時に調整できます。



① カラーホイール/明度スライダー

[ハイライト]、[中間調]、[シャドウ] 各領域のカラーホイールです。

- ホイールハンドルを動かして色を選びます。
- カラーホイールの下にあるスライダーで明度を調整できます。

② [ブレンド]

[ハイライト]、[中間調]、[シャドウ] の重なり具合をコントロールします。[ブレンド] の値を大きくすると、各領域で設定した色が混ざり合います。値を小さくすると、各領域で設定した色は他の領域の色の影響を受けにくくなります。

- [ブレンド] の値は [ハイライト]、[中間調]、[シャドウ]、[3 方向] での共通値です。[3 方向] で値を調整すると、[ハイライト]、[中間調]、[シャドウ] でも同じ値になります。

③ [バランス]

ハイライトとシャドウのバランスを調整します。+ 側にするるとハイライトの範囲が広くなり、- 側にするるとシャドウの範囲が広がります。

- [バランス] の値は [ハイライト]、[中間調]、[シャドウ]、[3 方向] での共通値です。[3 方向] で値を調整すると、[ハイライト]、[中間調]、[シャドウ] でも同じ値になります。

ピクチャーコントロール (HLG)

HDR のダイナミックレンジでピクチャーコントロールを調整します。階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ調整可能です。



① カラープロセス

環境設定の [RAW 現像] にある [カラープロセス] と同じ設定に固定されて選ばれません ([📖 235](#)、[📖 248](#))。

② ピクチャーコントロール

画像に適用したいピクチャーコントロールを選べます。

③ [詳細調整]

各項目を微調整できます (📖 114)。同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。

✓ [HDR で調整] 切り換え時のご注意

[HDR で調整] のオンオフを切り換えると、ピクチャーコントロールの微調整内容をすべてリセットします。

- [ピクチャーコントロール (HLG)] を [[HLG SD] スタンダード]、[[HLG MC] モノクローム]、[[HLG FL] フラット] に設定している場合に [HDR で調整] をオフにすると、[ピクチャーコントロール] の [スタンダード]、[モノクローム]、[フラット] に切り替わります。

④ [リセット]

各項目の値を初期値に戻します。

[詳細調整] について

各項目の値を変更して調整を行います。表示される項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。

[クイックシャープ]

画像のシャープさを調整する [輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] の各項目がバランスよく調整されます。各項目を個別に調整することも可能です。

- [輪郭強調]：画像の精緻な部分や、被写体の輪郭部分のシャープさを調整します。
- [ミドルレンジシャープ]：[輪郭強調] と [明瞭度] の中間の細かさの模様や線に対してシャープさを調整します。
- [明瞭度]：画像の階調や明るさを維持しながら、画像全体や太めの線のシャープさを調整します。

[コントラスト]

画像のコントラストを調整します。-側にすると軟らかい調子の画像になり、+側にすると硬い調子の画像になります。

[ハイライト]

画像の明るい部分 (ハイライト) を調整できます。値が大きいくほど明るくなります。

【シャドー】

画像の暗い部分（シャドー）を調整できます。値が大きいほど明るくなります。

【色の濃さ（彩度）】

画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。-側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。

【色合い（色相）】

画像の色合いを調整できます。

【フィルター効果】

白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。ピクチャーコントロールが **[[HLG MC] モノクローム]** の場合のみ調整できます。

【調色】

印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。ピクチャーコントロールが **[[HLG MC] モノクローム]** の場合のみ調整できます。

【色の濃淡を調整】

【調色】 で選んだ色の濃淡を選べます。ピクチャーコントロールが **[[HLG MC] モノクローム]** の場合のみ調整できます。ただし、**【調色】** の設定が **[B&W]** の場合は調整できません。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを調整します。RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ調整可能です。



① ホワイトバランス

画像に適用したいホワイトバランスを選べます。

② 【グレーポイントサンプルツール】

クリックしたピクセルがグレーになるように自動でホワイトバランスが調整されます。

③ 【色温度】


色温度を指定できます。

④ 【色味】

プラスに設定するとマゼンタ色が弱まり（緑色が強まり）、マイナスに設定すると緑色が弱まり（マゼンタ色が強まり）ます。

グレーポイントサンプルツール

画像内をクリックすると、そのピクセルが無彩色（白またはグレー）になるように自動で調整されます。画像をクリックするだけで色かぶりを取り除けます。

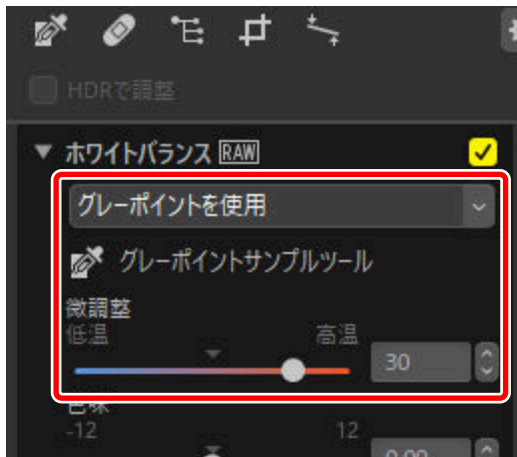
- 1 グレーポイントサンプルツールをクリックしてオン（) にします。画像調整パレットの上にあるグレーポイントサンプルツールのアイコンをクリックしてもオンにできます。



- 2 画像内の無彩色部分をクリックします。ホワイトバランスが「**グレーポイントを使用**」に変更され、画像の色味が調整されます。この例では壁の部分をクリックすると、画像の青かぶりが取り除かれています。グレーポイントサンプルツールがオンの間は何度でもクリックできます。画像をドラッグすると、ドラッグした範囲の平均値で調整されます。



- 3 ホワイトバランスが「グレーポイントを使用」に変更されると、「色温度」が「微調整」に切り換わります。



露出補正

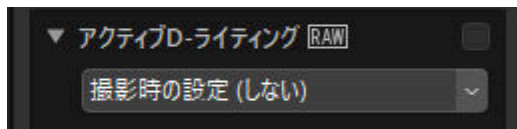
画像全体を明るくまたは暗くできます。RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ調整可能です。



+ 5EV から-5EV の間で 0.01EV 単位で露出を細かく調整できます。

アクティブ D-ライティング

画像の明るい部分（ハイライト）の白とびや、暗い部分（シャドウ）の黒つぶれを軽減できます。RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ調整可能です。[HDRで調整] がオンの場合は表示されません。



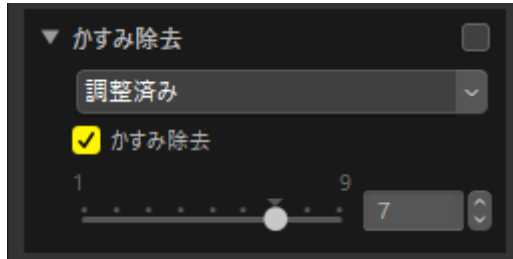
効果の度合いをプルダウンメニューで選びます。

[かすみ除去] 使用時のご注意

[かすみ除去] を有効にすると、[アクティブ D-ライティング] と [美肌効果] は無効になります。

かすみ除去

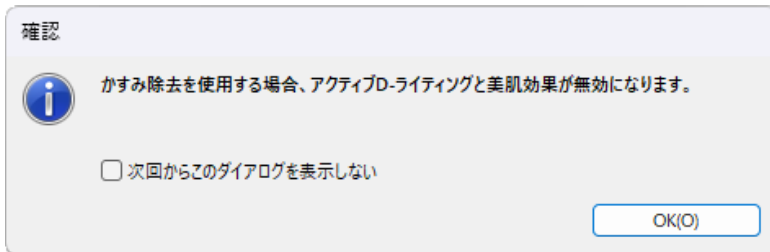
【かすみ除去】にチェックを入れると、画像全体のコントラストや彩度を調整して、かすみがあった印象を軽減させます。



値が大きいくほど効果が強く適用されます。

☑ 【かすみ除去】 使用時のご注意

【かすみ除去】を有効にすると、【アクティブ D-ライティング】と【美肌効果】は無効になります。



明るさと色の調整

画像全体の明るさやコントラストを調整したり、画像内のハイライトやシャドウ部分だけを調整したりできます。[HDRで調整] がオンの場合は表示されません。



① [明るさ]

画像全体の明るさを調整できます。値が大きいほど明るくなります。

② [コントラスト]

画像全体のコントラストを調整できます。-側にすると軟らかい調子の画像になり、+側にすると硬い調子の画像になります。

③ [色の濃さ (彩度)]

画像全体の彩度を調整できます。-側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。

④ 【ハイライト】

画像の明るい部分（ハイライト）を調整できます。値が大きいほど明るさを抑えます。

⑤ 【シャドウ】

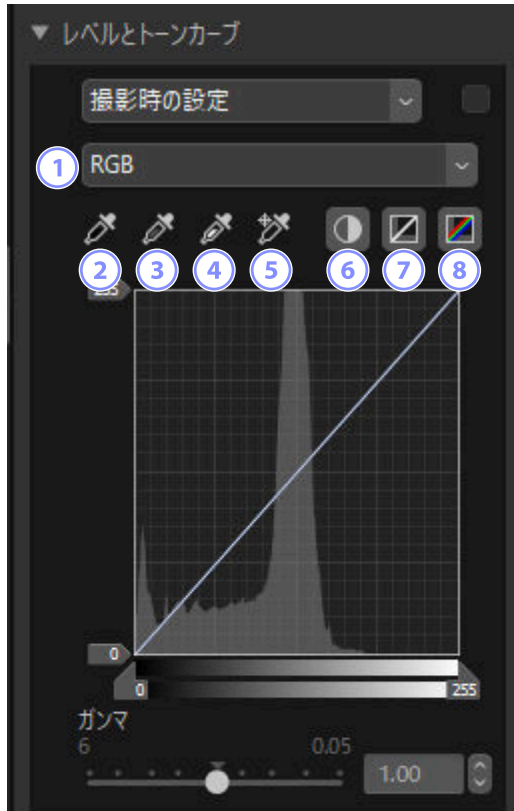
画像の暗い部分（シャドウ）を調整できます。値が大きいほど明るくなります。

⑥ 【D-ライティング HS】

選択されている画像の暗い部分を処理し、明るい部分の細部を追加します。値が大きいほどハイライト部分とシャドウ部分のコントラスト差が少なくなります。

レベルとトーンカーブ

コントラスト、階調レベル（明るさ）、カラーバランスを調整できます。画像の階調の特定の部分に関して調整を行い、細部を保ちながら画像を強調できます。プリンターやモニターなどの特定の出力機器が持つ階調または全カラー領域を最大限に利用できます。



① チャンネルセレクトター

補正の対象となるチャンネルを選択します。

② ブラックポイントの設定

ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分の色が選ばれます。[赤]、[緑]、[青]の3つのカラーチャンネルのブラックポイントスライダーが、その色の値に変更されます。

③ ニュートラルポイントの設定

ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分の色が選ばれます。選ばれた色の RGB の値が等しくなるように、[赤]、[緑]、[青] の 3 つのカラーチャンネルのガンマが調整されます。

④ ホワイトポイントの設定

ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分の色が選ばれます。[赤]、[緑]、[青] の 3 つのカラーチャンネルのホワイトポイントスライダーが、その色の値に変更されます。

⑤ アンカーポイントの追加

ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、すべてのチャンネルのカーブ上に、その部分の色を表す新たなアンカーポイントを追加します。

⑥ 自動コントラスト

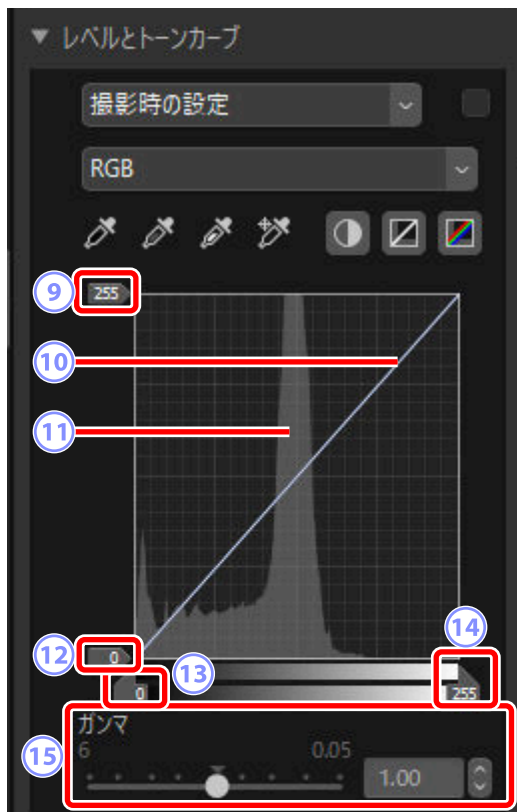
チャンネル内のホワイトポイントとブラックポイントを変更して、個別チャンネルの色を自動的に配分します。

⑦ 現在のチャンネルをリセット

現在のチャンネルのトーンカーブを初期設定の値に戻します。

8 すべてのチャンネルをリセット

すべてのチャンネルのトーンカーブを初期設定の値に戻します。



9 ホワイトポイント出カスライダー

画像の最大明るさレベルを設定します。スライダーを下にドラッグすると画像の最も明るい部分が暗くなります。

10 トーンカーブ

カーブの傾き、形を変更することにより画像の明暗を調整します。トーンカーブを調整して追加されたアンカーポイントは、Delete キーを押すかパレット外にドラッグすると削除できます。

11 ヒストグラム

画像のレベル分布を示します。

12 ブラックポイント出カスライダー

画像の最小明るさレベルを設定します。スライダーを上ドラッグすると画像の最も暗い部分が明るくなります。

13 ブラックポイントスライダー

スライダーを右に動かすと、選択した点より左側の明るさを完全な黒（個別チャンネルの場合は、そのチャンネルの色がない色合い）に設定し、可能な数値範囲に明るさの範囲が収まるよう広げて再配分します。

14 ホワイトポイントスライダー

スライダーを左に動かすと、選択した点より右側の明るさを完全な白（個別チャンネルの場合は、そのチャンネルの色が最大の明るさの値）に設定し、可能な数値範囲に明るさの範囲が収まるよう広げて再配分します。

15 【ガンマ】

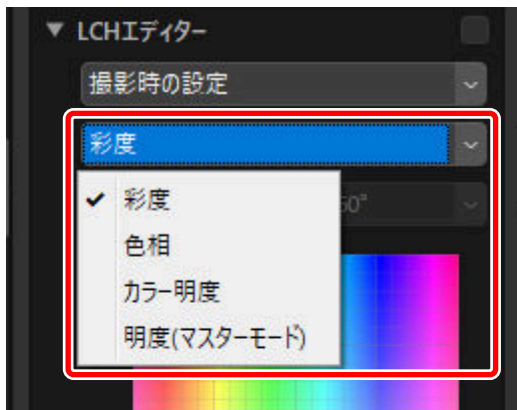
スライダーを左に動かすと画像の中間色調が明るくなり、右に動かすと画像の中間色調が暗くなります。

ヒント：現在のチャンネルのみを対象にするには

自動コントラスト、ブラックポイントの設定、ホワイトポイントの設定、アンカーポイントの追加では、Ctrl キー（macOS は option キー）を押しながらクリックすると、現在のチャンネルのみが対象になります。

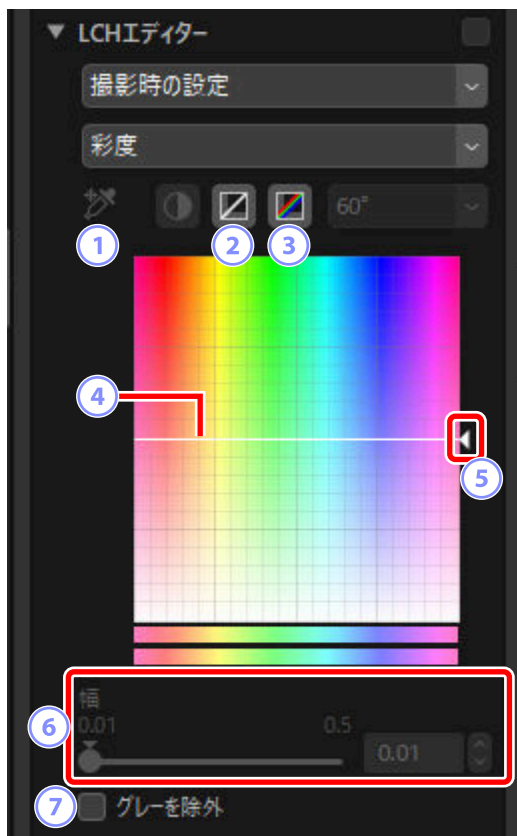
LCH エディター

画像の明るさやカラー明度などのチャンネルを切り換えて、個別に調整できます。LCH エディターでは、チャンネルセクターで調整するチャンネルを選択します。選んだチャンネルによって、調整パレットの内容が切り替わります。[HDR で調整] がオンの場合は表示されません。



彩度

色の鮮やかさ（彩度）の調整が可能です。特定の色や画像全体を鮮やか（彩度が上がる）にしたり、淡い（彩度が下がる）状態にできます。



① アンカーポイントの追加

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、彩度カーブ上に新しいポイントが追加されます。

② 現在のチャンネルをリセット

彩度のカーブを直線にリセットします。

③ すべてのチャンネルをリセット

[彩度]、[色相]、[カラー明度]、[明度（マスターモード）] のすべてのカーブをリセットします。

④ 彩度カーブ

彩度カーブ上でマウスカーソルを動かし、調整したい色のアンカーポイントを上方にドラッグすると彩度が上がり、下方にドラッグすると彩度が下がった状態になります。カーブを調整して追加されたアンカーポイントは、Delete キーを押すかパレット外にドラッグすると削除できます。

⑤ 出カスライダー

設定した彩度カーブ全体を上下方向にシフトします。上に動かすと、全体の彩度が上がり、下に動かすと、全体の彩度が下がります。

⑥ [幅]

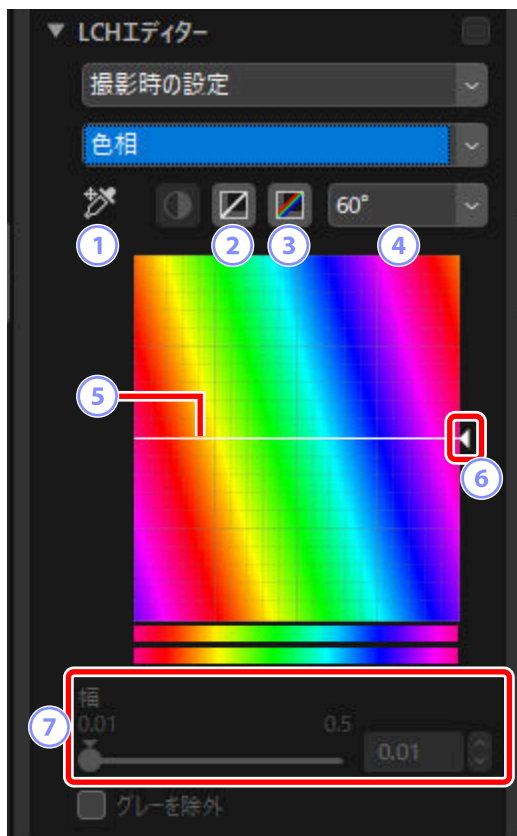
彩度カーブの幅を設定します。スライダーを右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、彩度調整を行う色の範囲が広くなります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、彩度調整を行う色の範囲が狭くなります。

⑦ [グレーを除外]

チェックを入れると、彩度調整を行う対象からグレーの領域が除外されます。グレーに近い色の彩度は変化しないため、彩度を大きく上げたときにグレー部分の色かぶりを抑えることができます。

色相

特定の色や画像全体の色合い（色相）を変更することができます。例えば、うすい色の空を紺碧の青空に変更することが可能です。



① アンカーポイントの追加

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、色相カーブ上に新しいポイントが追加されます。

② 現在のチャンネルをリセット

色相のカーブを直線にリセットします。

③ すべてのチャンネルをリセット

[彩度]、[色相]、[カラー明度]、[明度（マスターモード）] のすべてのカーブをリセットします。

④ 色相マップの回転

色相表示エリアの縦軸に表示される色相の範囲を、60度、120度、180度から選択します。この角度は、表示可能なすべての色相を360度とし、そのうちの縦軸上で選択可能な色の割合を意味します。角度が大きくなると選択できる色相が増え、角度が小さくなると色相が減り、微妙な調整がしやすくなります。

⑤ 色相カーブ

色相カーブ上でマウスカーソルを動かし、変更したい色のアンカーポイントを目的の色のポイントへドラッグすると、色相が変わります。カーブを調整して追加されたアンカーポイントは、Delete キーを押すかパレット外にドラッグすると削除できます。

⑥ 出カスライダー

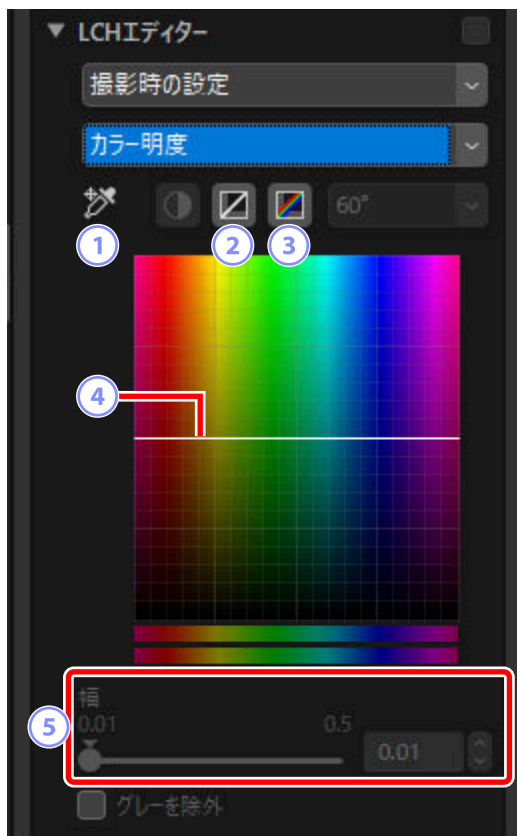
スライダーを上下に動かすと、画像全体の色相が変わります。色相マップの回転（④）で60度が選ばれている場合は±60度、120度の場合は±120度、180度の場合は±180度の範囲で変更が可能です。

⑦ 【幅】

色相カーブの幅を設定します。スライダーを右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、色相調整を行う色の範囲が広くなります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、色相調整を行う色の範囲が狭くなります。

カラー明度

特定の色の明暗を調整することができます。例えば、暗い空の色を色相と彩度を変えずに明るい空の色に変更することが可能です。



① アンカーポイントの追加

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、カラー明度カーブ上に新しいポイントが追加されます。

② 現在のチャンネルをリセット

カラー明度のカーブを直線にリセットします。

③ すべてのチャンネルをリセット

[彩度]、[色相]、[カラー明度]、[明度 (マスターモード)] のすべてのカーブをリセットします。

④ カラー明度カーブ（縦軸：明度、横軸：彩度）

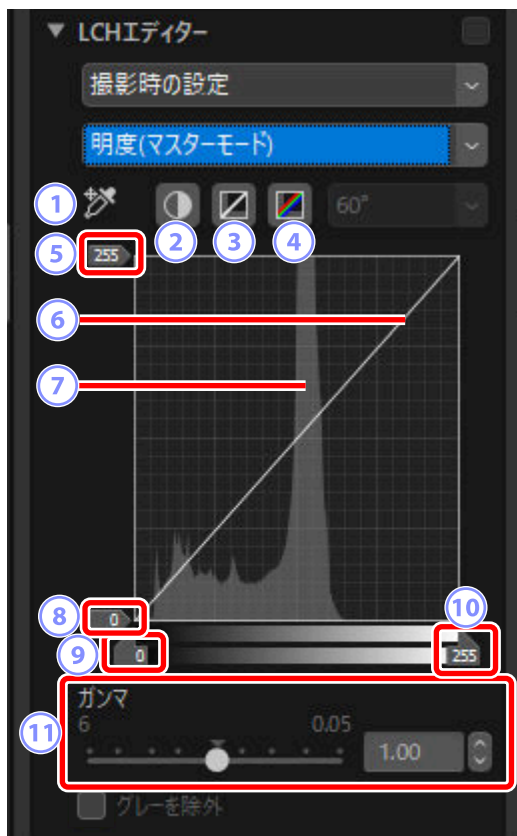
カラー明度カーブ上でマウскарソルを動かし、調整したい色のアンカーポイントを上方にドラッグすると明度が上がり、下方にドラッグすると明度が下がった状態になります。カーブを調整して追加されたアンカーポイントは、Delete キーを押すかパレット外にドラッグすると削除できます。

⑤ 【幅】

カラー明度カーブの幅を設定します。スライダーを右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、カラー明度調整を行う色の範囲が広くなります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、カラー明度調整を行う色の範囲が狭くなります。

明度（マスターモード）

色相と彩度を変えずに明暗の調整を行うことができます。スライダーによる調整や、明度カーブを直接編集して調整します。



① アンカーポイントの追加

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、明度（マスターモード）カーブ上に新しいポイントが追加されます。

② 自動コントラスト

画像の最も明るい階調域と最も暗い階調域にある一定数の画素を階調域から除外してブラックポイント/ホワイトポイントを設定し、コントラストを高めめます。

③ 現在のチャンネルをリセット

明度（マスターモード）のカーブを直線にリセットします。

- ④ **すべてのチャンネルをリセット**
[彩度]、[色相]、[カラー明度]、[明度 (マスターモード)] のすべてのカーブをリセットします。
- ⑤ **ホワイトポイント出カスライダー**
出カレベルの最大値 (ホワイトポイント) を設定します。
- ⑥ **明度カーブ**
カーブの傾き、形を変更することにより画像の明暗を調整します。カーブを調整して追加されたアンカーポイントは、Delete キーを押すかパレット外にドラッグすると削除できます。
- ⑦ **ヒストグラム**
それぞれの入力明度で表示されている画素の分布を表示します。横軸が明度 (0~255) で、縦軸が画素数を示します。
- ⑧ **ブラックポイント出カスライダー**
出カレベルの最小値 (ブラックポイント) を設定します。
- ⑨ **ブラックポイントスライダー**
入カレベルの最小値 (ブラックポイント) を設定します。
- ⑩ **ホワイトポイントスライダー**
入カレベルの最大値 (ホワイトポイント) を設定します。
- ⑪ **[ガンマ]**
明度の中間調 (ガンマ値) を設定します。

カラーブースター

彩度を最適に調整し、画像の色の彩度を高めます。[HDRで調整] がオンの場合は表示されません。



① 調整値

値を大きく設定すると彩度が高まります。

② 調整対象

[人物] または [風景] を選びます。

- [人物] : 肌の色に影響を与えずに画像の色を鮮やかにします。
- [風景] : 肌の色にも影響を与え、画像全体の色を鮮やかにします。

美肌効果

肌の補正度合いを調整します。カメラのメニューで美肌効果を[しない]以外に設定して撮影した RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ調整可能です。



効果の度合いをプルダウンメニューで選びます。

✓ [かすみ除去] 使用時のご注意

[かすみ除去] を有効にすると、[アクティブ D-ライティング] と [美肌効果] は無効になります。

人物印象調整

色相と明るさの設定を調整します。D6、D850、D780、およびニコン Z シリーズのカメラで撮影した RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ調整可能です。



① [色相]

左方向に調整するとマゼンタの色相が強くなり、右方向に調整するとイエローの色相が強くなります。

② [明るさ]

+方向に調整すると明るくなり、-方向に調整すると暗くなります。

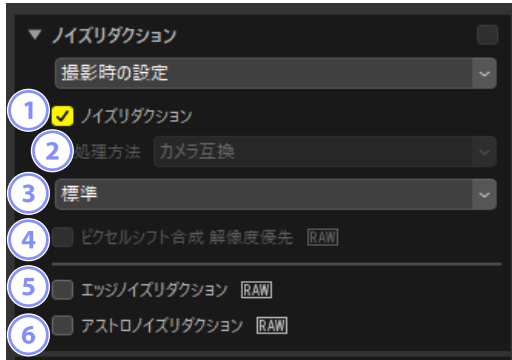
✓ 人物印象調整の制限について

次の場合、[人物印象調整] は適用できません。

- [ピクチャーコントロール] が [モノクローム]、[フラットモノクローム]、[ディープトーンモノクローム]、[フレキシブルカラー] または [Creative Picture Control] の場合
- [ピクチャーコントロール (HLG)] が [[HLG MC] モノクローム] の場合

ノイズリダクション

画像のノイズを低減する処理を行います。HEIF 画像は調整できません。



① [ノイズリダクション]

チェックを入れるとノイズリダクション機能を有効にします。[処理方法]と処理の度合いを設定できます。チェックをオフにしている場合もわずかにノイズリダクションの処理が行われています。

② [処理方法]

撮影したカメラによって設定できる項目が異なります。

- **[カメラ互換]** (RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ)：設定は固定され、他の処理方法は選べません。処理の度合い (③) をプルダウンメニューから選べます。
- **[高速]** / **[高画質]** / **[高画質 2013]** (RAW 画像のみ)：処理速度を優先する場合は **[高速]** を、画質を優先する場合は **[高画質]** または **[高画質 2013]** を選びます。
 - **[適用量]**：数値を上げると、画像全体のざらつき感が低減され、なめらかな状態になります。
 - **[シャープネス]**：**[適用量]** の数値を上げると、なめらかで解像感の低い画像になります。**[シャープネス]** の数値を上げると、解像感を高めることができます。

ヒント：[高画質 2013] について

より低周波な色ノイズの低減や、画像平坦部のノイズ低減に優れています。**[高画質 2013]** を選択した場合、**[輝度]** と **[カラー]** が表示され、それぞれに適用量とシャープネス量を設定できます。

③ 処理の度合い

【処理方法】が【カメラ互換】で固定される画像の場合に、ノイズ低減の度合いを選べます。

④ 【ピクセルシフト合成 解像度優先】（ピクセルシフト合成画像のみ）

チェックを入れると、【ノイズリダクション】が完全に無効になります。

⑤ 【エッジノイズリダクション】（RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ）

チェックを入れると、境界部に生じるノイズを低減したり、エッジ部分の輪郭をより鮮明にすることができます。

⑥ 【アストロノイズリダクション】（RAW 画像のみ）

チェックを入れると、長時間露出で星を撮影した画像内に現れる、輝点（星を散らしたような）ノイズを低減します。

【アストロノイズリダクション】について

D4S、D810、D810A で撮影したサイズ S の RAW 画像には適用できません。

シャープ調整

輪郭をはっきりとさせ、画像をシャープにする場合に使用します。[アンシャープマスク]を使用すると、画像の輪郭部分だけのコントラストが高まり、他の部分は変わりません。[HDRで調整]がオンの場合には表示されません。



① [輪郭強調]

値を大きく設定すると被写体の輪郭がはっきりとします。



② [アンシャープマスク]

チェックを入れるとアンシャープマスク機能を有効にします。

③ 削除

リストボックス内の処理を選んで削除できます。

④ 上に移動/下に移動

リストボックス内の処理の順番を入れ替えられます。

⑤ リストボックス

設定した内容が表示されます。1行中は左から「カラー、適用量、半径、しきい値」の順で、例えば「赤、50%、10%、0」のように表示されます。複数設定した場合は上から順に適用され、上に移動/下に移動ボタンで順序を入れ替えられます。

⑥ カラー

アンシャープマスクを適用する色を選択できます。

⑦ 【適用量】

シャープネスの強度を設定します。数値を大きくするほどシャープが強くなり、濃いエッジがかかります。

⑧ 【半径】

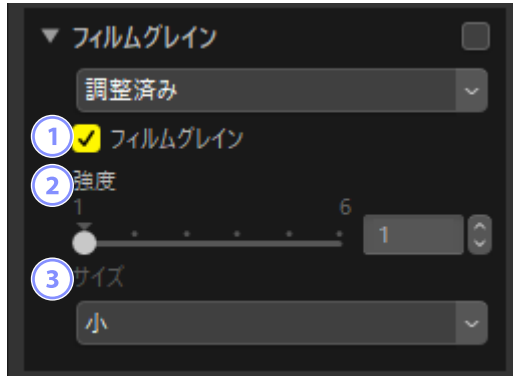
エッジの太さを設定します。数値を大きくするほど太いエッジが、小さくするほど細いエッジが つきます。

⑨ 【しきい値】

エッジを付けるか付けないかの適用基準を設定します。しきい値を0にすると、すべてのエッジに対してシャープがかかります。数値を大きくすると、濃淡の変化が小さい部分にはエッジがつかず、シャープがかからなくなります。

フィルムグレイン

画像全体に粒子状の質感を追加します。



① [フィルムグレイン]

チェックを入れると粒子状の効果が現れ、フィルムで撮影したような粒状感を表現できます。

② [強度]

粒状感を調整します。数値が大きいほど、粒子状の効果が強くなります。

③ [サイズ]

粒子のサイズを [小]、[中]、[大] から選べます。小さい粒子サイズを選ぶときめ細かい仕上がりになり、大きい粒子サイズを選ぶと粒状感が強調されます。

✓ [フィルムグレイン] 使用時のご注意

粒子状の効果はランダムに現れます。


- 同じ [強度] および [サイズ] でも、[フィルムグレイン] のチェックをオン/オフするたびに粒子の現れ方が変化します。RAW+JPEG で撮影した画像に [フィルムグレイン] を適用した場合、RAW 画像と JPEG 画像で粒子の現れ方は異なります。
- カメラでフィルムグレイン効果をつけた JPEG 画像や、NX Studio の [フィルムグレイン] を適用して書き出した JPEG 画像には、[フィルムグレイン] を重ねて適用できません。

レタッチブラシ

画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除けます。



① [自動レタッチブラシツール]

オン () にするとレタッチブラシを使用できます。


② [ブラシサイズ (px)]

レタッチブラシのサイズを変更できます。

レタッチブラシの使用方法

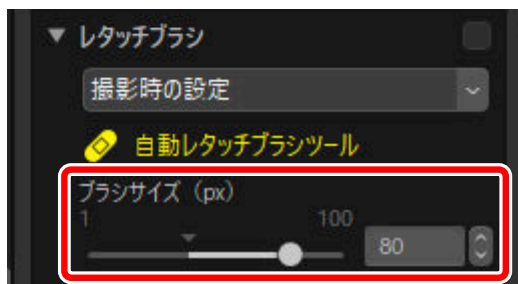
- 1 画像を1枚表示または複数枚表示にします。サムネイル表示時はレタッチブラシを使用できません。



- 2 レタッチブラシをクリックしてオン () にします。画像調整パレットの上にあるレタッチブラシのアイコンをクリックしてもオンにできます。



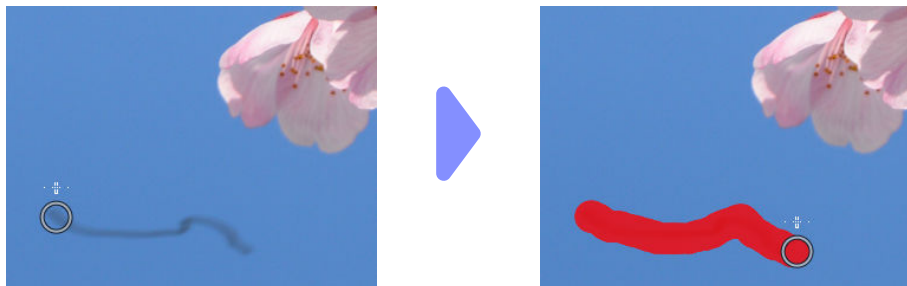
- 3 レタッチブラシのサイズを調整します。



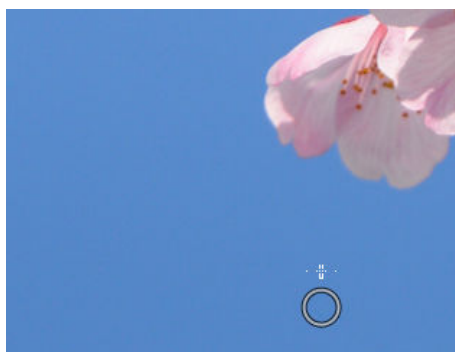
ヒント：ブラシのサイズについて

除去したいゴミに対してブラシのサイズが大きすぎると、他の部分にまで影響が出るおそれがあります。

- 4 マウスをクリックしたままゴミの部分になぞると、半透明の赤い色で塗りつぶされます。消したいゴミの部分をすべて塗りつぶしていることを確認してください。



- 5 マウスを放します。塗りつぶした部分が周囲にとけ込み、ゴミが取り除かれます。



ヒント：レタッチブラシについて

レタッチブラシは周囲から似た部分を自動的に塗りつぶした範囲に上書きコピーする機能です。

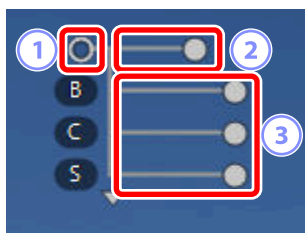
- ゴミが広範囲に渡ったり、ドラッグする範囲が長かったり、大きなサイズのゴミの場合、うまく処理されないことがあります。
 - 画像によっては、処理に時間がかかることがあります。
-

カラーコントロールポイント

画像の明るさや色合いなどを部分的に調整できます。調整される範囲は、コントロールポイントを配置した場所の色によって自動的に識別され、似た色の部分のみに処理が適用されます。[HDRで調整]がオンの場合は表示されません。

カラーコントロールポイントについて

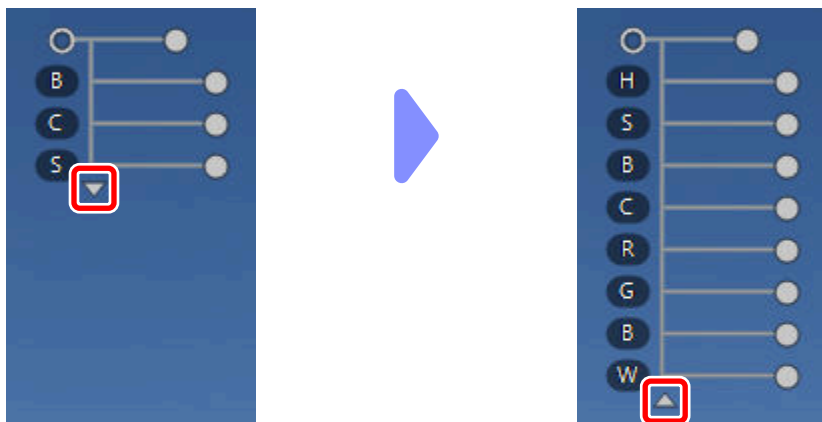
カラーコントロールポイント (①) は、配置された部分の色の特性を自動的に識別し、その色と似た色の部分を自動的に選びます。カラーコントロールポイントには、調整する範囲を示すサイズスライダー (②) と調整スライダー (③) が表示されます。これらのスライダーを動かして、カラーコントロールポイントの適用範囲や適用の値を変更します。



- スライダーはハンドル (●) を左右にドラッグして動かせます。
- 調整スライダーは初期設定では [B] (明るさ : Brightness)、[C] (コントラスト : Contrast)、[S] (彩度 : Saturation) の値を調整できます。

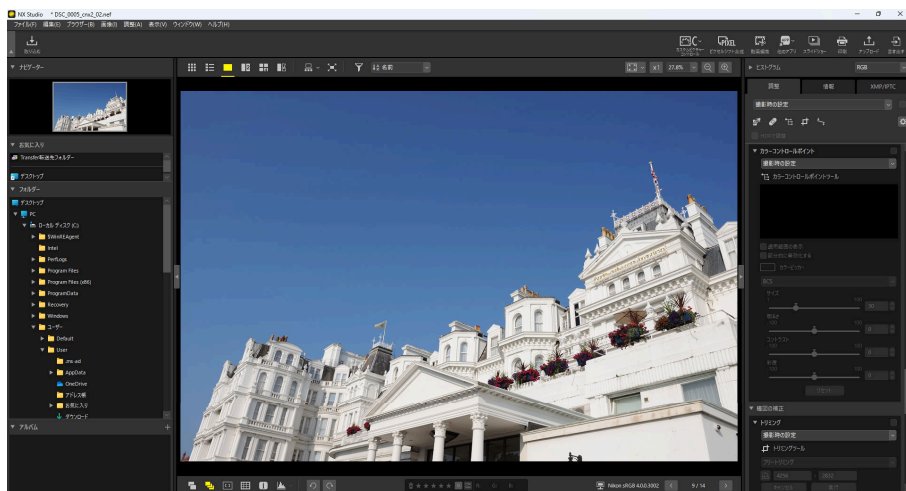
ヒント：コントロール方法の切り換えについて


調整スライダーの下（または上）に表示される三角形をクリックすると、現在のコントロール方法（[BCS]、[HSB] または [RGB]）と [すべて] を切り換えられます。



カラーコントロールポイントの基本的な使用方法

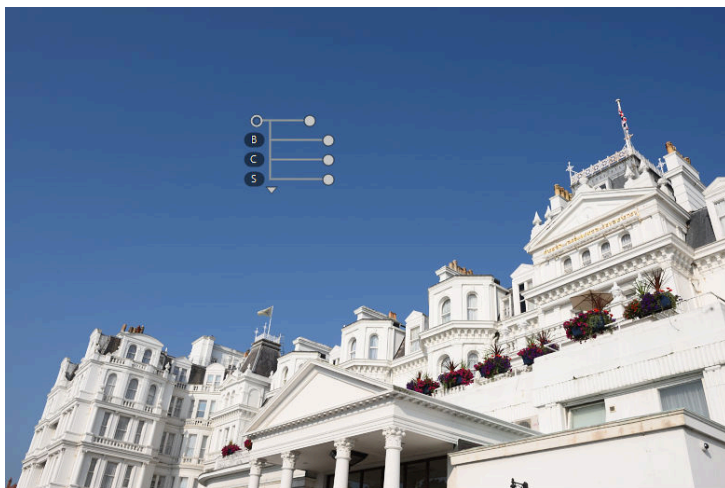
- 1 画像を1枚表示または複数枚表示にします。サムネイル表示時はカラーコントロールポイントを使用できません。



- 2 カラーコントロールポイントをクリックしてオン () にします。画像調整パレットの上にあるカラーコントロールポイントのアイコンをクリックしてもオンにできます。



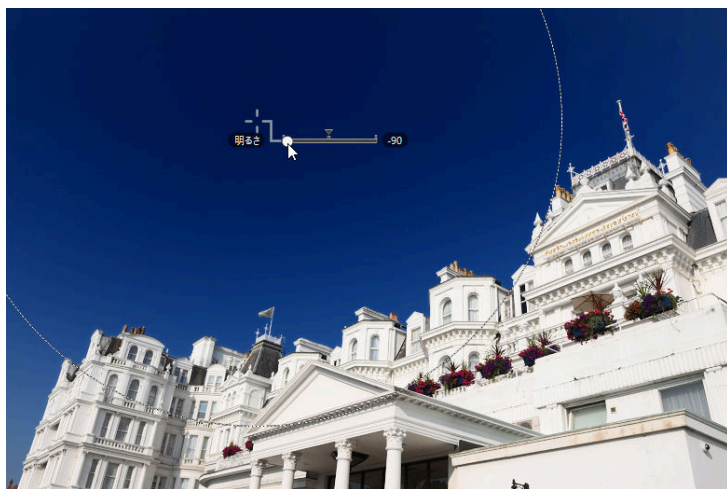
- 3 色を変更したい箇所をクリックして、カラーコントロールポイントを配置します。カラーコントロールポイントの位置はドラッグして移動できます。



- 4 サイズスライダーを左右に動かして調整する範囲を変更します。カラーコントロールポイントを中心とした円形の内部（点線の円内）に処理が適用されます。境界線部分はグラデーション状に処理が適用され、外側に行くに従って適用量は少なくなります。スライダーが長くなるほど適用範囲が広がります。



- 5 調整スライダーを左右に動かして、処理の適用量を変更します。この例では、[B]（明るさ）のスライダーを動かして空の明るさを変更しています。カラーコントロールポイントが置かれた部分を中心に、空の青い部分のみに処理が適用され、建物の色味には影響していません。



- 6 カラーコントロールポイントはいくつでも配置できます。必要に応じてステップ 3~5 を繰り返してカラーコントロールポイントを追加します。

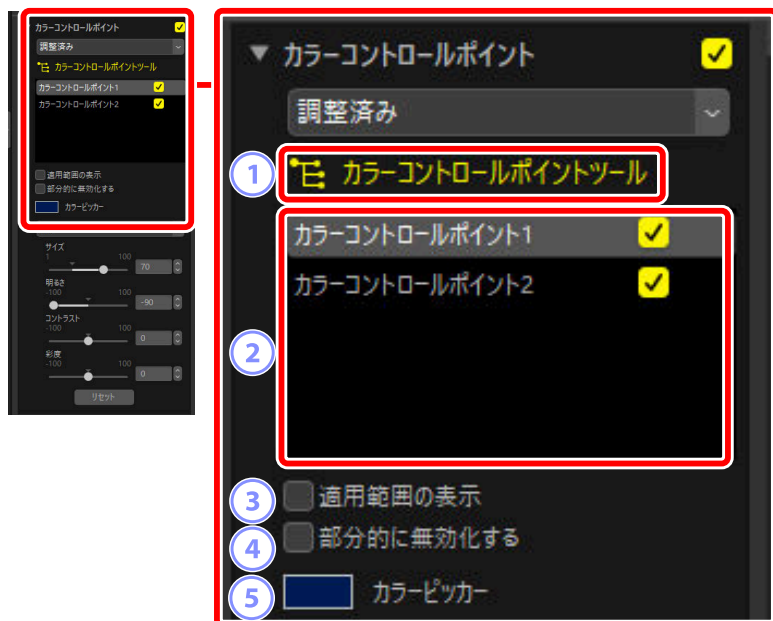
ヒント：配置するカラーコントロールポイントの数について

カラーコントロールポイントの配置は 100 程度までにすることをおすすめします。


ヒント：カラーコントロールポイントの複製について

カラーコントロールポイントを選んで **【編集】** メニューの **【コピー】** および **【貼り付け】** (macOS は **【ペースト】**) で複製できます。

画像調整パレットの [カラーコントロールポイント] について



① [カラーコントロールポイントツール]

オン () にするとカラーコントロールポイントを使用できます。

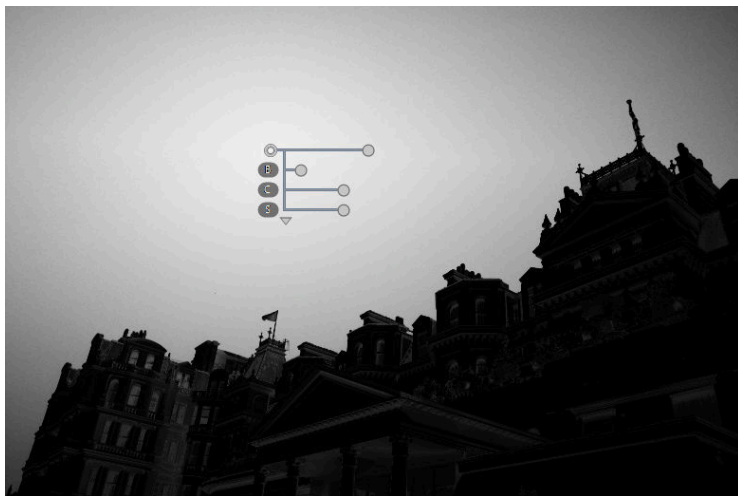
② カラーコントロールポイントリスト

画像上に置いたカラーコントロールポイントを選択できます。

- チェックをオフにすると、選択したカラーコントロールポイントの効果を無効にできます。
-  をクリックすると、選択したカラーコントロールポイントを削除できます。

③ 【適用範囲の表示】

チェックを入れると、カラーコントロールポイントの影響を受ける部分が白く表示されます。



④ 【部分的に無効化する】

チェックを入れたカラーコントロールポイントの適用範囲は、色が変更されなくなります。カラーコントロールポイントを複数使用するとき、色を変更したくない場所を保護する場合に使用します。チェックを入れると、サイズスライダーだけが表示されます。

5 カラーピッカー

カラーコントロールポイントの基準となる色をカラーピッカーから選べます。画像内でカラーコントロールポイントが置かれた被写体の色は、カラーピッカーで選んだ色に変更されます。



6 コントロール方法

カラーコントロールポイントの基準を選びます。変更すると、カラーコントロールポイントの調整スライダーと、詳細設定に表示される内容が変化します。

- **【すべて】**：【色相】 (Hue)、【彩度】 (Saturation)、【明るさ】 (Brightness)、【コントラスト】 (Contrast)、【赤】 (Red)、【緑】 (Green)、【青】 (Blue)、【暖色系調整】 (Warmth) の値を調整できます。
- **【BCS】**：【明るさ】 (Brightness)、【コントラスト】 (Contrast)、【彩度】 (Saturation) の値を調整できます。
- **【HSB】**：【色相】 (Hue)、【彩度】 (Saturation)、【明るさ】 (Brightness) の値を調整できます。
- **【RGB】**：【赤】 (Red)、【緑】 (Green)、【青】 (Blue) の値を調整できます。

7 【サイズ】

カラーコントロールポイントの調整範囲を変更できます。

8 詳細設定

カラーコントロールポイントの調整値を変更できます。選んだコントロール方法によって表示される項目は変更されます。

⑨ [リセット]

選んだカラーコントロールポイントの値を設定前の値に戻します。

トリミング

画像の必要な部分だけを切り抜けます。



① 【トリミングツール】

オン () にするとトリミングできます。

② 縦横比

画像を切り抜く範囲の縦横比を設定できます。[フリートリミング] を選ぶと、画像を自由な縦横比で切り抜きます。

③ 縦横比切替

クリックすると、切り抜く範囲を指定する枠（トリミング枠）の縦横の比率を入れ替えます。

④ 縦横比率

トリミング枠の縦横比を表示します。縦横比を [カスタム] に設定した場合、縦横比を入力して指定できます。

⑤ 【キャンセル】

トリミングをキャンセルします。

⑥ 【実行】

クリックすると、現在のトリミング枠で画像を切り抜きます。

7 [トリミンググリッドの表示]

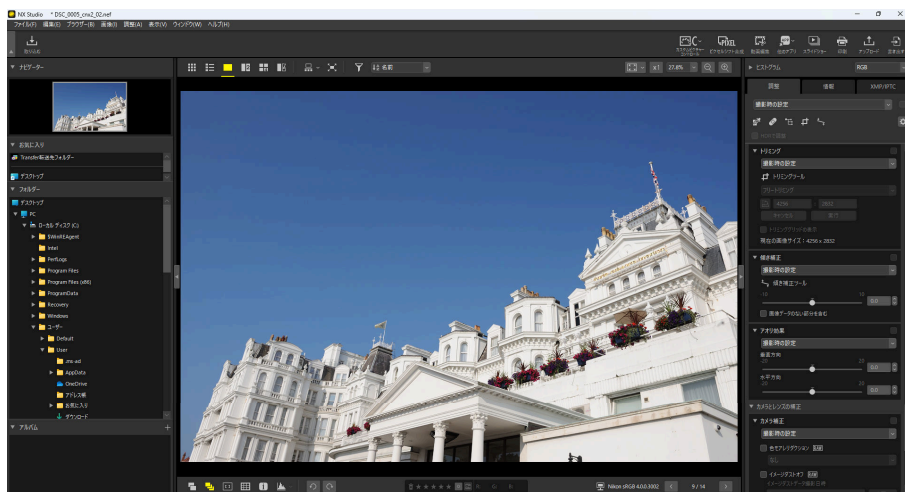
チェックを入れると、トリミング枠内に3×3のグリッド（格子線）を表示します。


8 [現在の画像サイズ]

現在の画像サイズを表示します。トリミングを行うとトリミング後のサイズを表示します。

トリミングの手順

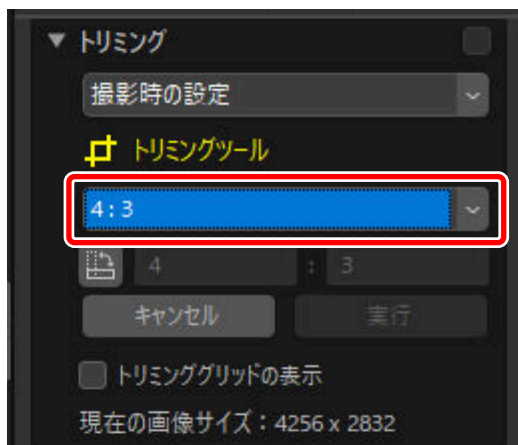
1 画像を1枚表示または複数枚表示にします。サムネイル表示時はトリミングできません。



- 2 トリミングをクリックしてオン () にします。画像調整パレットの上にあるトリミングのアイコンをクリックしてもオンにできます。



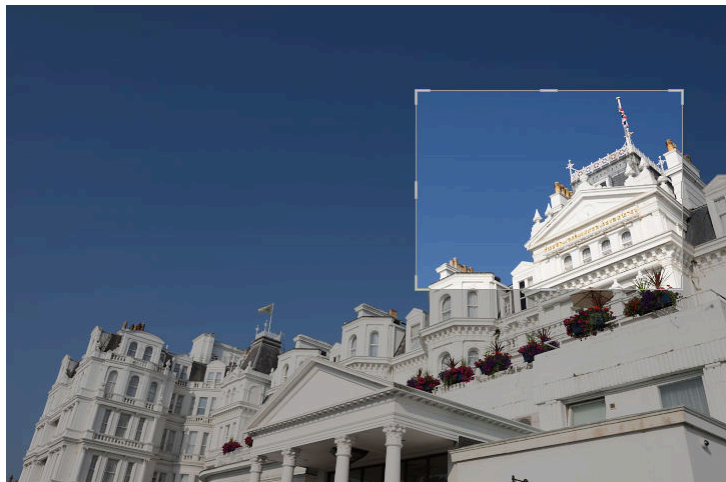
- 3 切り抜きたい縦横比を選びます。



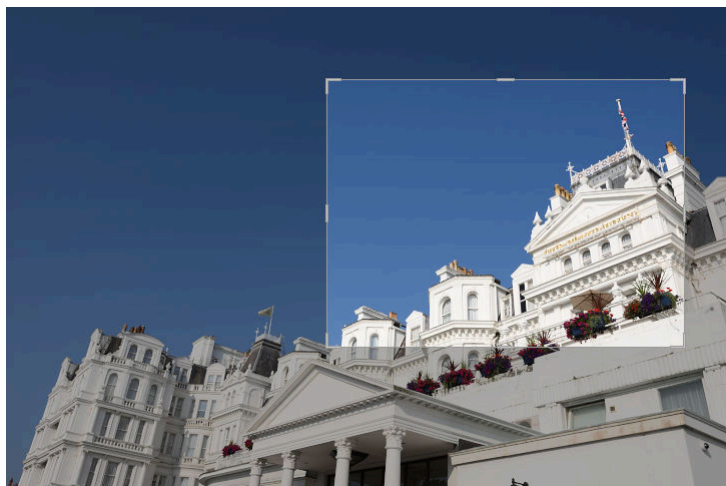
ヒント：縦横比について

縦横比はトリミング枠の設定後に変更することもできます。

- 4 切り抜きたい範囲をドラッグしてトリミング枠を指定します。トリミング枠以外は暗く表示されます。



- 5 四隅のハンドルまたは四辺の境界線をドラッグすると、トリミング枠を変更できます。トリミング枠内でドラッグすると、位置を変更できます。



- 6 トリミング枠内をダブルクリックするか、画像調整パレットの **[実行]** ボタンをクリックすると、画像が切り抜かれます。



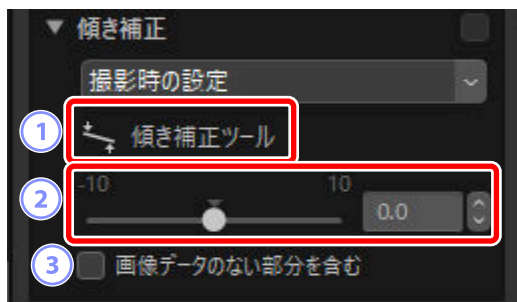
ヒント：画像のトリミングについて

トリミング後は、画像調整パレットの **[実行]** ボタンが **[リセット]** に変更されます。**[リセット]** をクリックすると、トリミング前の状態に戻ります。



傾き補正

画像の傾きを±10度の範囲で補正できます。



① 傾き補正ツール

オン () にすると、画像をドラッグして傾きを補正できます。

② 傾き調整

画像の傾きを-10から10までの範囲で調整できます。マイナス方向に調整すると反時計回りに、プラス方向に調整すると時計回りに傾きを補正します。

③ 画像データのない部分を含む


チェックを入れると、画像情報のない部分が黒く塗りつぶされます。

傾き補正の手順

画像内に基準線を引いて、基準線が水平または垂直になるように傾きを補正します。

- 1 画像を1枚表示または複数枚表示にします。サムネイル表示時は傾き補正ができません。



- 2 傾き補正をクリックしてオン () にします。画像調整パレットの上にある傾き補正のアイコンをクリックしてもオンにできます。



- 3 傾き補正の基準となる被写体に沿ってドラッグして基準線を引きます。ここでは窓枠に沿って基準線を引いています。



- 4 指定した基準線が水平または垂直になるように±10度の範囲で傾きが補正されます。補正された傾きの度数は、画像調整パレットに表示されます。



画像データの無い部分を含む

画像の傾きを調整すると、画像の周囲に画像情報のない部分が生じます。初期設定では、画像情報のない部分が表示されないように自動的に切り抜かれます。[画像データの無い部分を含む]にチェックを入れると、自動では切り抜かれず、画像情報のない部分は黒く塗りつぶされて表示されます。



画像データの無い部分を含む：オフ



画像データの無い部分を含む：オン

アオリ効果

遠近感による被写体のゆがみを垂直方向および水平方向に-20 から 20 までの範囲で調整できます。



① [垂直方向]

マイナス方向に調整すると画像の底辺が、プラス方向に調整すると画像の上辺が拡大します。



-20



0



20

② [水平方向]

マイナス方向に調整すると画像の左辺が、プラス方向に調整すると画像の右辺が拡大します。



-20



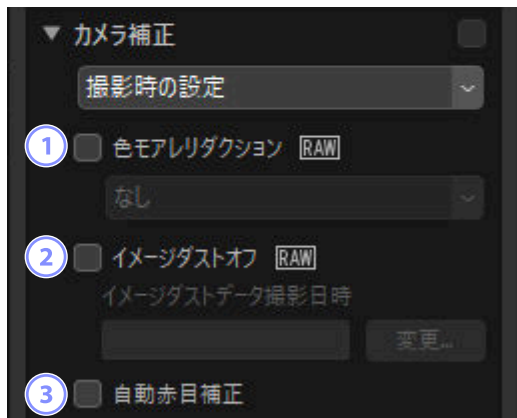
0



20

カメラ補正

色モアレの低減や、イメージダストオフを使用したゴミの低減が行えます。[HDRで調整] がオンの場合は表示されません。



① [色モアレリダクション] (RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみ)

チェックを入れると、色モアレ（規則的な重複パターンによる色干渉）が低減されます。プルダウンメニューから適用の度合いを選びます。

② [イメージダストオフ] (RAW 画像のみ)

カメラで取得したイメージダストオフ用のデータ（NDF ファイル、拡張子：.ndf）を、カメラの撮像素子前面にあるゴミの位置を参照画像（イメージダストオフデータ）として登録できます。チェックを入れると、登録した参照画像と表示中の画像が比較され、表示中の画像にあるゴミを低減できます。

- 参照画像が登録されていない場合、チェックを入れると NDF 選択画面が表示されます。
- 現在のフォルダー内にイメージダストオフ参照画像（イメージダストオフデータ）がある場合、その参照画像をイメージダストオフ処理に使用するかを尋ねるメッセージが表示されます。[いいえ] を選んだ場合、または現在のフォルダー内にイメージダストオフ参照画像がない場合は表示されるダイアログでイメージダストオフ参照画像を選んでください。
- NDF ファイルを変更するには [変更] ボタンをクリックして NDF ファイルを選びます。

③ [自動赤目補正]

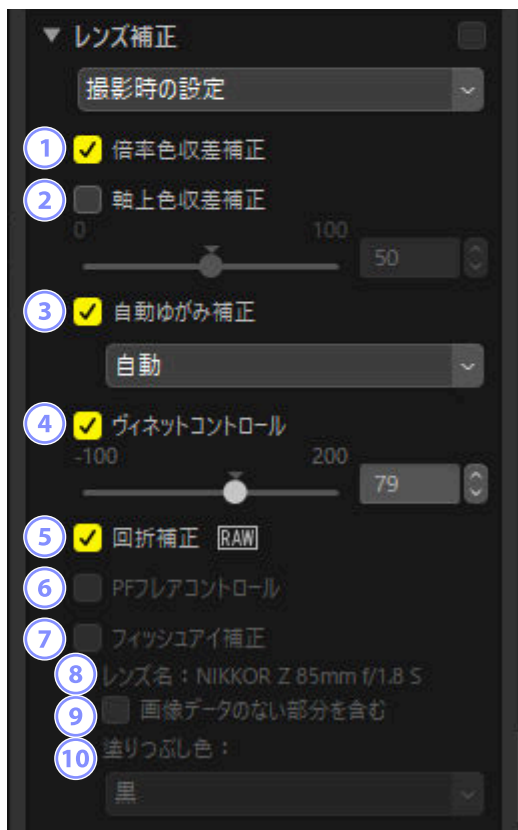
チェックを入れると、画像から人物の赤目現象を自動的に見つけ出して補正します。

ヒント：イメージダストオフについて

- カメラの撮像素子前面についたゴミの量と位置は変わる場合があります。処理を行う場合は、その画像が撮影された 1 日以内に作成した参照画像の使用をおすすめします。
 - **[イメージセンサークリーニング]** 機能があるカメラの場合、イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータは、クリーニング実行後に撮影した画像とゴミの位置が一致しなくなるため、**[イメージダストオフ]** を使用できません。イメージセンサークリーニング機能とイメージダストオフ機能を併用する場合は、カメラで **[イメージセンサークリーニング後開始]** を選択後に撮影することをおすすめします。
 - **[サイズ M]** または **[サイズ S]** に設定して撮影した RAW 画像では使用できません。
 - イメージダストオフの詳しい説明は、カメラの説明書をご覧ください。
-

レンズ補正

倍率色収差補正や軸上色収差補正など、レンズの特性により発生する現象を補正できます。



1 【倍率色収差補正】

チェックを入れると、倍率色収差による色ずれを低減できます。RAW 画像の場合、自動でチェックが入ります。ピクセルシフト合成画像の場合は調整できません。

2 【軸上色収差補正】

チェックを入れると、画像内の軸上色収差（色ずれ）を低減します。値が大きいほどより強く色ずれを低減できます。[HDRで調整] がオンの場合は表示されません。

3 [自動ゆがみ補正]

チェックを入れると、広角レンズ使用時のたる型ゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻きゆがみなど、レンズの特性により発生する画像のゆがみを画像に記録されたレンズ情報を用いて補正できます。

- ゆがみを補正するにはプルダウンメニューで **[自動]** を選びます。
- 専用防水レンズを装着して撮影した画像の場合、プルダウンメニューに **[自動 (水中)]** が追加されます。水中で撮影するときの糸巻き型のゆがみを補正できます。

4 [ヴィネットコントロール]

チェックを入れると、レンズの特性により発生する周辺光量の低下を調整することができます。値が大きいほど画像の端を明るくします。

5 [回折補正]

チェックを入れると、レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像感が低下する回折現象を補正します。対応カメラで撮影した RAW 画像またはピクセルシフト合成画像にのみ対応しています。

6 [PF フレアコントロール]

画面内に強い光源がある場合、画像にフレア（リング状、円形など）が写り込むことがあります。チェックを入れると、画像に写り込んだフレアを軽減できます。対応レンズで撮影した画像にのみ対応しています。**[HDR で調整]** がオンの場合は表示されません。

- 光源の種類や形状によっては、十分な効果が得られない場合があります。
- 意図しない補正が発生した場合は、チェックをオフにしてください。

7 [フィッシュアイ補正]

フィッシュアイレンズで撮影した画像を、通常の広角レンズで撮影したように変換できます（[174](#)）。AF DX Fisheye-Nikkor 10.5mm f/2.8G ED、AF Fisheye-Nikkor 16mm f/2.8D または AF-S Fisheye NIKKOR 8-15mm f/3.5-4.5E ED を使用して撮影した画像にのみ対応しています。その他のレンズを使用して撮影された画像には使用できません。

8 [レンズ名]

レンズ情報がある画像の場合、撮影に使用したレンズ名が表示されます。

9 [画像データのない部分を含む]

チェックを入れると、画像情報のない部分が単色で塗りつぶされます。

10 [塗りつぶし色]

[画像データのない部分を含む] にチェックを入れた場合に、何色で塗りつぶすかを選べます。

フィッシュアイ補正について

[フィッシュアイ補正] にチェックを入れると、フィッシュアイレンズで撮影した画像を広角レンズで撮影したように変換します。

- 対角線魚眼で撮影した画像の場合、画像の中心を通る縦幅を基準にしてカメラの画角の比率に合わせて切り出されます。



フィッシュアイ補正 : オフ



フィッシュアイ補正 : オン

- 円周魚眼で撮影した画像の場合、画像の中心を基準としてカメラの画角の比率に合わせて切り出されます。



フィッシュアイ補正 : オフ



フィッシュアイ補正 : オン

画像データの無い部分を含む

フィッシュアイ補正は画像の一部を湾曲させて変換を行いますが、湾曲した部分には画像情報がまったく含まれません。初期設定では、画像情報のない部分が表示されないように自動的に切り抜かれます。[画像データの無い部分を含む] にチェックを入れると、自動では切り抜かれず、画像情報のない部分は単色で塗りつぶされて表示されます。



画像データの無い部分を含む：オフ



画像データの無い部分を含む：オン

塗りつぶす色は [塗りつぶし色] で設定します。



塗りつぶし色：赤

調整履歴設定

[調整ステップの適用]にチェックを入れると、Capture NX の[画像処理ステップ]および Capture NX 2 の [調整] セクションで行った調整を NX Studio にも適用して画像を表示します。[HDR で調整] がオンの場合は表示されません。



- Capture NX または Capture NX 2 で調整した NEF 形式の RAW 画像のみ使用できます。
- 例えば Capture NX 2 で [ぼかし (ガウス)] と [色変換] を適用した画像を開くと、[調整ステップの適用] にチェックを入れない場合は何も調整が適用されません。[調整ステップの適用] にチェックを入れると、[ぼかし (ガウス)] と [色変換] の調整を適用して表示します。調整項目ごとの適用/非適用の変更や、調整値の変更はできません。



調整ステップの適用：オフ



調整ステップの適用：オン

- [ピクチャーコントロール] や [ホワイトバランス] など、一部の機能は NX Studio でも調整値が保持されています。これらの項目は NX Studio での再調整が可能です。

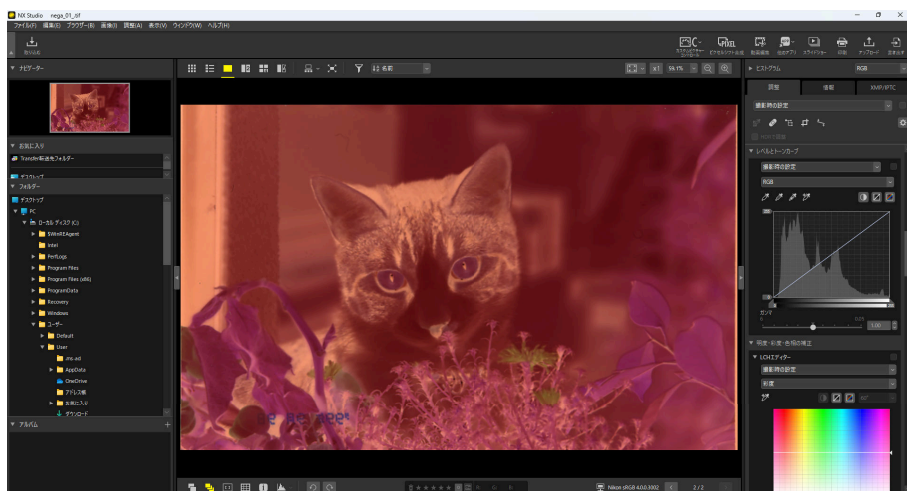
ヒント：Capture NX/Capture NX 2 で調整した画像について

- JPEG または TIFF 形式の画像を Capture NX/Capture NX 2 で NEF 形式に変換した画像の場合、NX Studio では画像調整が行えません。
 - Capture NX または Capture NX 2 のプラグインソフト Color Efex Pro の機能が適用されている場合、NX Studio では画像調整が行えません。
-

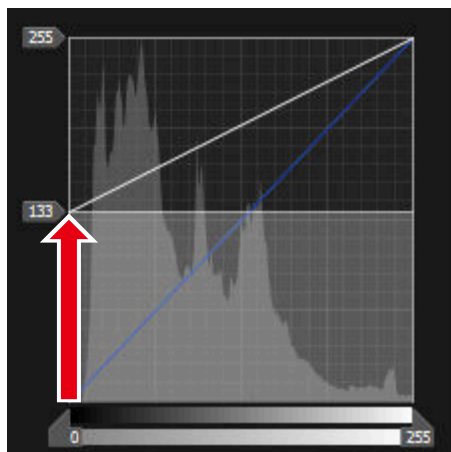
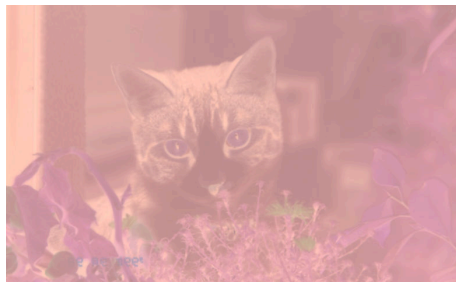
デジタル化されたネガフィルム画像をネガポジ変換する

[調整] タブの [レベルとトーンカーブ] を使用して、デジタル化したネガフィルム画像をネガポジ変換できます。

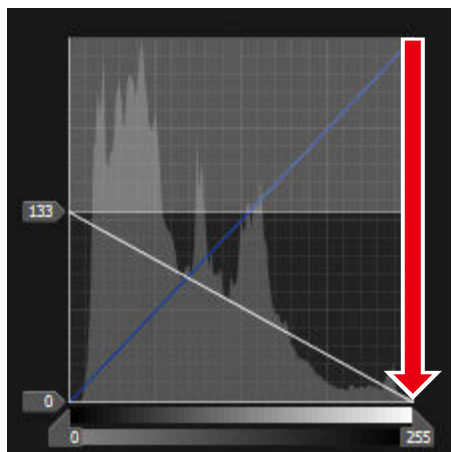
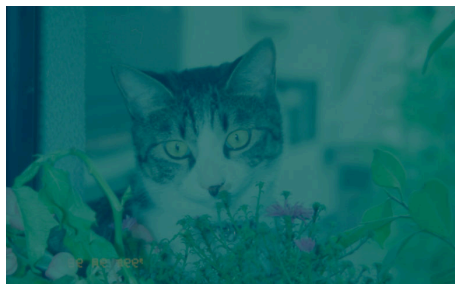
1 ネガポジ変換したい画像を表示します。サムネイル表示や複数枚表示でも調整できます。



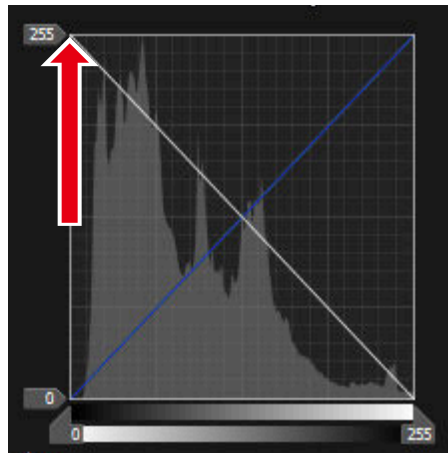
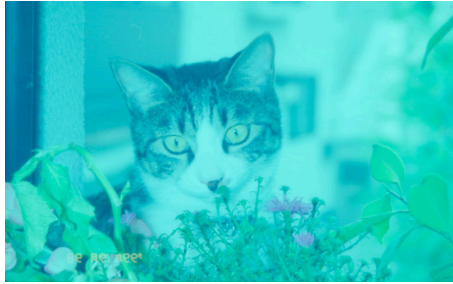
- 2 「レベルとトーンカーブ」で、トーンカーブの下軸を上方方向にドラッグし、中段付近で止めます。



- 3 上軸を下方方向にドラッグし、下軸まで動かします。



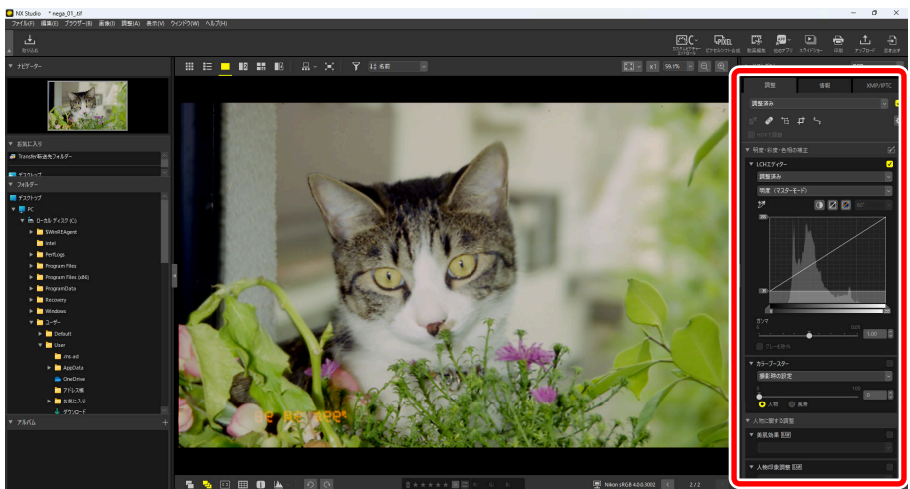
4 手順2で止めていた下軸を上軸まで動かします。



5 自動コントラスト (🔍) をクリックします。



6 必要に応じて [LCH エディター] や [タッチブラシ]、[傾き補正]などで画像を補正します。



調整した内容を他の画像に適用する

NX Studio では、調整内容を他の画像に適用できます。他の画像に適用するには、各調整項目にある調整設定メニューを使用する方法と、調整タブにある調整リストを使用する方法があります。

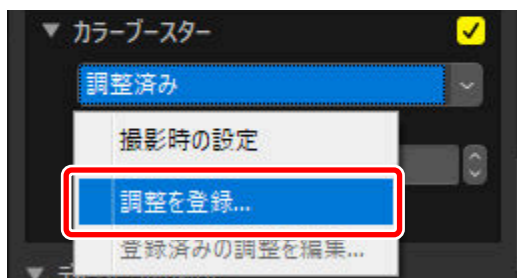
調整設定メニューを使用する

調整内容を画像調整パレットの調整設定メニューにプリセットとして登録できます。登録したプリセットを選ぶと、他の画像に同じ調整内容が適用されます。ここでは「カラーブースター」を例にしていきます。

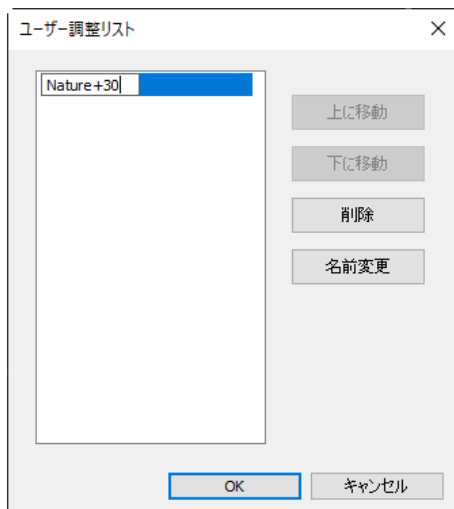
- 1 画像調整パレットで調整を行います。ここでは調整対象で「風景」を選び、調整値を+30にしています。



- 2 調整設定メニューで「調整を登録」を選びます。



- 3 [調整を登録] ダイアログで任意の名前を設定します。ここでは「Nature+30」としています。名前を決定したら [OK] をクリックします。



- 4 登録した名前がプリセットマニュアルとして調整設定メニューに登録され、同じ調整内容が他の画像にも適用できるようになります。



ヒント：調整設定メニューについて

- 画像調整によっては、独自の項目が調整設定メニューに含まれていることがあります。
 - [レタッチブラシ] など、調整を登録できない項目もあります。
 - プルダウンメニューの [登録済みの調整を編集] を選ぶと、ダイアログで名前の変更や調整の削除が行えます。
-

調整リストを使用する

調整タブの調整リストを使用すると調整内容をコピー/保存/登録して他の画像に適用できます。複数の調整内容をまとめて適用することも可能です ([図 190](#))。



【撮影時の設定】

調整内容をすべて破棄して撮影時の状態に戻します。

【最後に保存された状態】

画像を以前の状態に戻します。どの時点の状態に戻るかは環境設定の [保存] の設定によって異なります ([図 235](#)、[図 250](#))。

- [調整内容およびラベル・レーティング情報を調整ファイル（サイドカーファイル）に記録する] を選んでいる場合：画像の調整ファイルが削除され、調整ファイルに保存されていたメタデータや調整情報が無効になります。
 - [調整内容およびラベル・レーティング情報を元画像ファイルに記録する] を選んでいる場合：最後に画像を NX Studio で保存したときの状態に戻します。
-

[すべての調整をコピー]

すべての項目の設定をコピーします。

[調整を貼り付け] (Windows) / [調整をペースト] (macOS)

[すべての調整をコピー] でコピーした調整を画像に適用します。

[すべての調整を保存]

すべての項目の設定を、ひとつの設定ファイル (拡張子: .nka) として保存します。

[調整を読み込む]

保存した設定ファイルを読み込んで、調整を適用します。

[すべての調整を登録]

すべての項目の設定を、[調整] のプルダウンメニューにプリセットとして登録します。

[登録済みの調整を編集]

プルダウンメニューにプリセットとして登録した調整の名前や並び順を変更したり、削除したりできます。

ヒント: RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみに適用できる項目について

[露出補正] や [ピクチャーコントロール] など、RAW 画像またはピクセルシフト合成画像のみに適用できる項目をコピーして JPEG/HEIF/TIFF のいずれかの画像に適用した場合、それらの項目の調整の内容は反映されません。

ヒント: RAW 画像またはピクセルシフト合成画像間で適用できない項目について

撮影したカメラによって調整できる内容が異なる項目の場合、コピーして他の RAW 画像またはピクセルシフト合成画像に適用しても調整の内容は反映されない場合があります。

調整内容をコピーして貼り付ける

調整内容をコピーして他の画像に貼り付けます。複数の調整項目をまとめてコピーできます。

- 1 画像の調整を行います。ここでは「ホワイトバランス」を「晴天」に、「露出補正」を「-1EV」に設定しています。



- 2 調整リストで [すべての調整をコピー] を選びます。



- 3 調整を適用したい画像を選びます。この画像にはすでに [露出補正] と [アクティブ D-ライティング] に調整が加えられています。



4 調整リストで「調整を貼り付け」を選びます。



- 5 調整が適用されます。すでに設定していた [露出補正] が手順 1 と同じ値に変更され、[アクティブ D-ライティング] の設定は [撮影時の設定 (しない)] に戻っています。

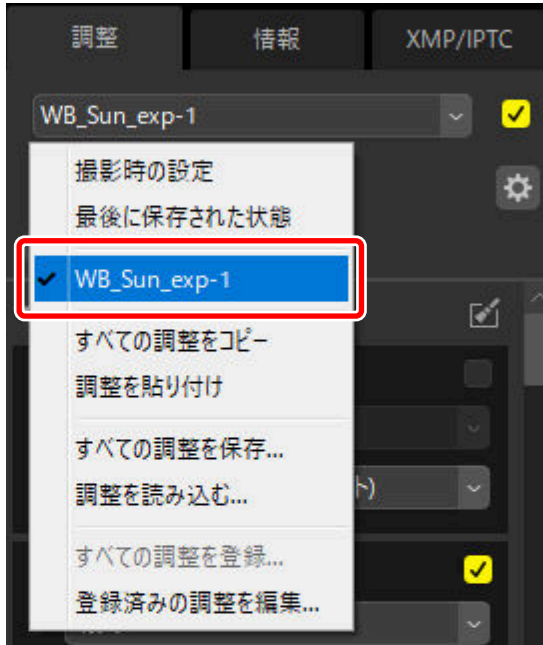


調整内容を設定ファイルに保存する

すべての調整内容を設定ファイルとして保存するには [すべての調整を保存] を選びます。保存した設定ファイルは、[調整を読み込む] で読み込んで画像に適用できます。設定ファイルを他のパソコンにコピーすれば、他の環境でも同じ調整を簡単に適用できます。

調整内容を調整リストに登録する

[すべての調整を登録] を選ぶと、[調整を登録] ダイアログが表示されて調整の値を変更した項目の設定を、調整リストにプリセットとして登録できます。



調整した内容を複数の画像に適用する

調整した内容を複数の画像に対してまとめて適用するには、次の方法があります。

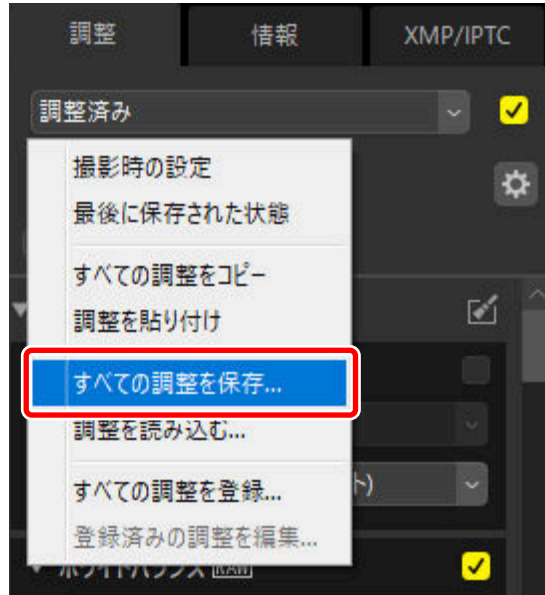
- コピーした調整内容を貼り付けるときに、複数の画像を選択する ([186](#))。
- 設定ファイルに保存した調整内容を読み込むときに、複数の画像を選択する ([191](#))。
- 調整内容のプリセットを読み込むときに、複数の画像を選択する ([190](#))。

設定ファイルに保存した調整内容を複数の画像に適用する

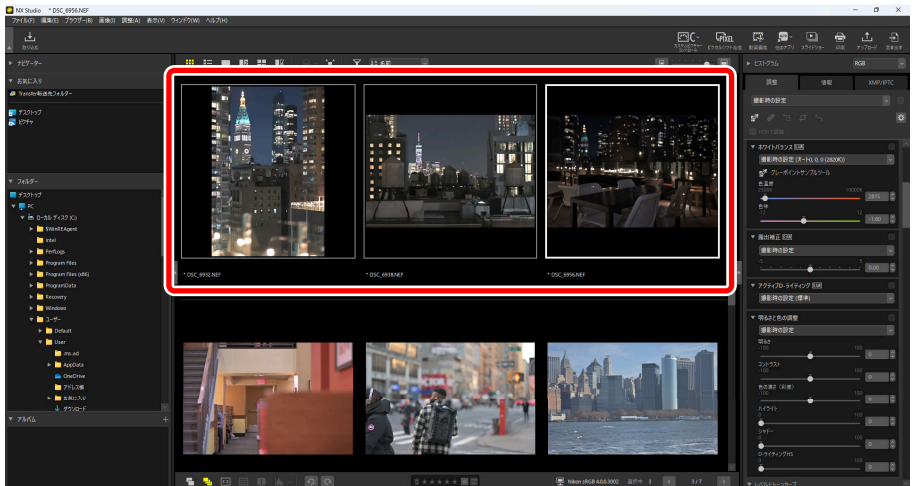
- 1 画像の調整を行います。ここでは「ホワイトバランス」を「晴天」に、「露出補正」を「+1EV」に設定しています。



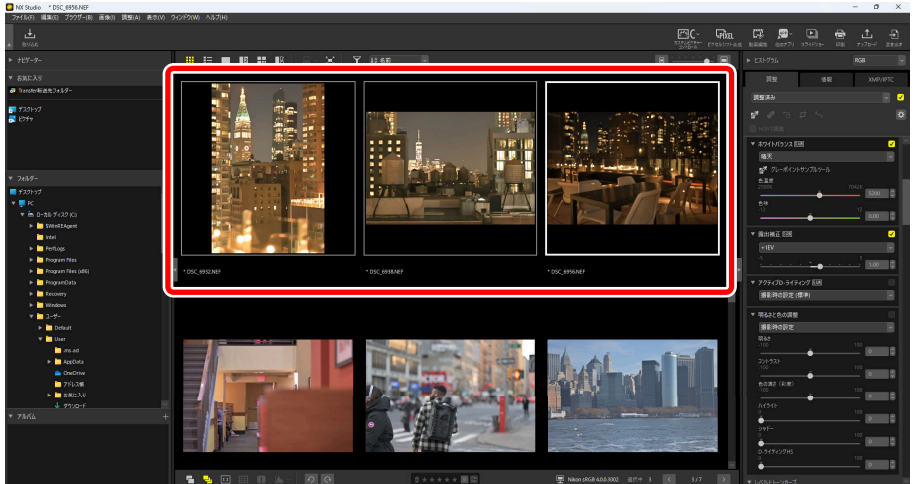
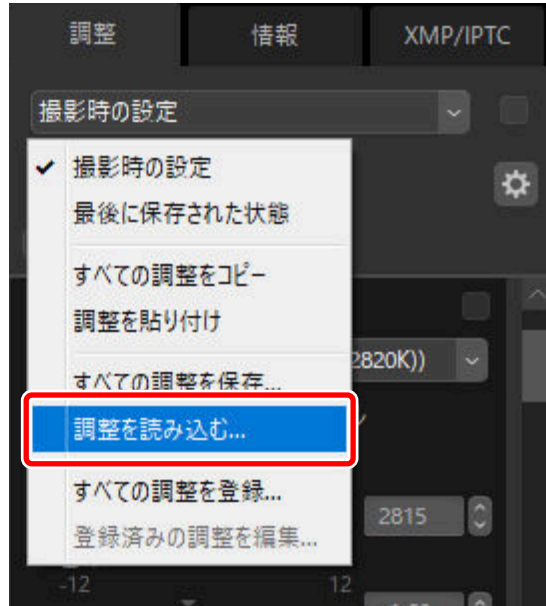
- 2 調整リストで [すべての調整を保存] を選び、保存先を選んで [保存] をクリックすると、設定ファイルが保存されます。



- 3 サムネイル表示またはフィルムストリップで複数の画像を選びます。



- 4 調整リストで「調整を読み込む」を選び、手順2で保存した設定ファイルを選んで「開く」をクリックすると、選んだすべての画像に調整が適用されます。



カスタムピクチャーコントロール

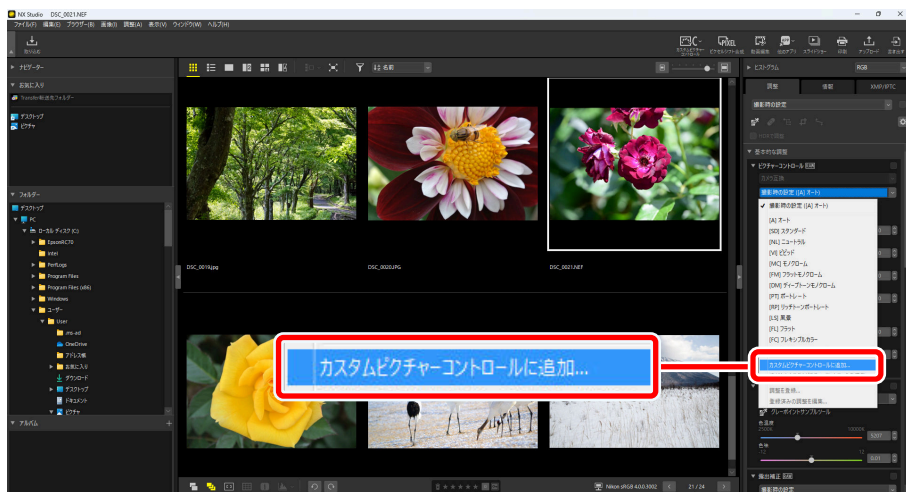
カスタムピクチャーコントロールについて

画像調整パレットの [ピクチャーコントロール] で調整したピクチャーコントロールは、カスタムピクチャーコントロールとして NX Studio に登録できます。登録したカスタムピクチャーコントロールは、[ピクチャーコントロール] のプルダウンメニューから選んで画像に適用できます。

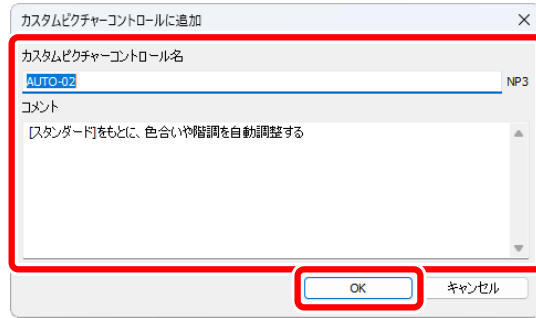
NX Studio に登録できるカスタムピクチャーコントロール数の上限について
NX Studio に登録できるカスタムピクチャーコントロール数は 150 までです。

カスタムピクチャーコントロールを登録する

- 1 画像調整パレットの [ピクチャーコントロール] で、プルダウンメニューから [カスタムピクチャーコントロールに追加] を選びます。

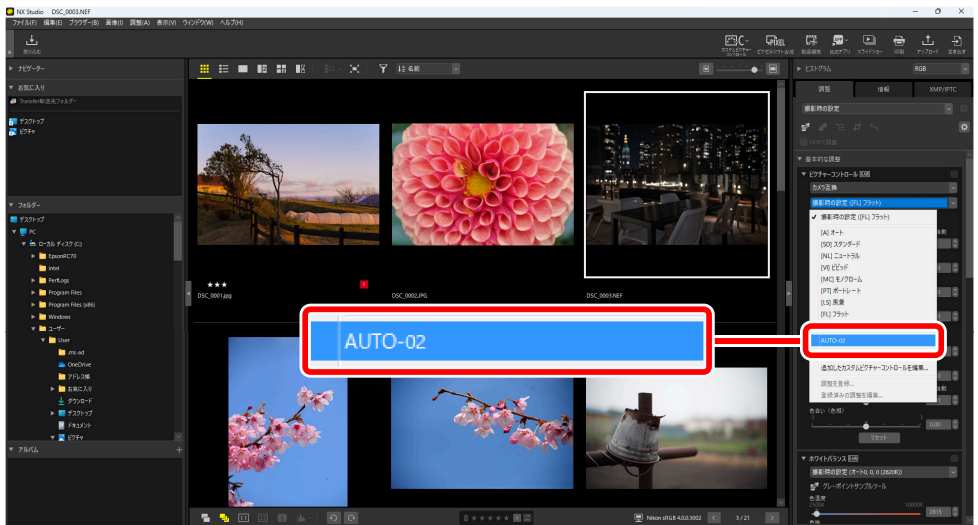


- 2 表示される [カスタムピクチャーコントロールに追加] ダイアログでカスタムピクチャーコントロール名とコメントを設定し、[OK] をクリックします。



ヒント：登録したカスタムピクチャーコントロールを画像に適用する

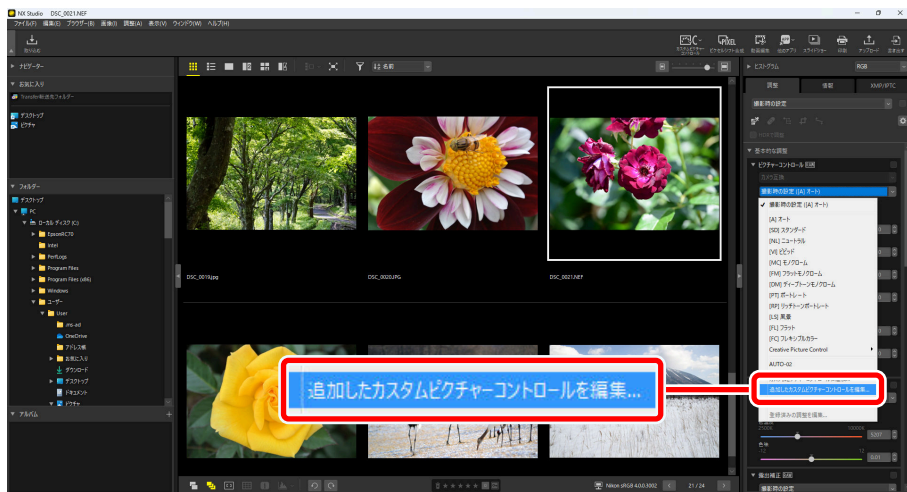
登録したカスタムピクチャーコントロールは、画像調整パレットの [ピクチャーコントロール] でプルダウンメニューから選んで画像に適用できます。



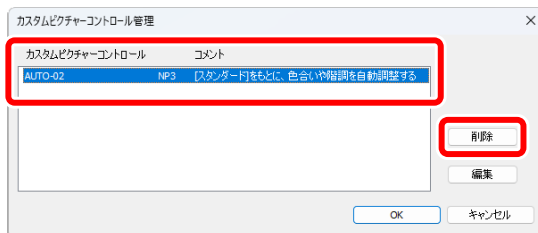
カスタムピクチャーコントロールを編集する

カスタムピクチャーコントロールを削除する

- 1 画像調整パレットの [ピクチャーコントロール] で、プルダウンメニューから [追加したカスタムピクチャーコントロールを編集] を選びます。



- 2 表示される [カスタムピクチャーコントロール管理] ダイアログで削除したいカスタムピクチャーコントロールを選び、[削除] をクリックします。

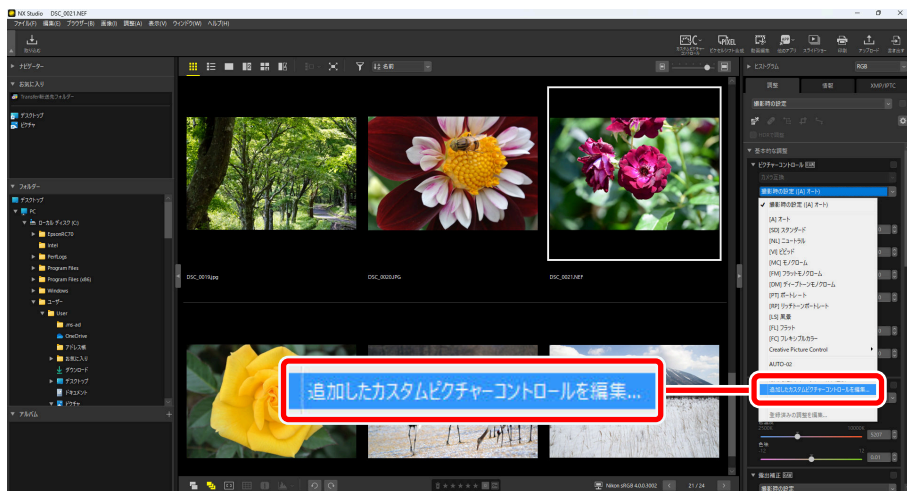


ヒント：削除したカスタムピクチャーコントロールについて

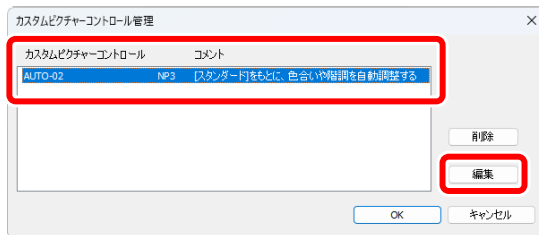
NX Studio からカスタムピクチャーコントロールを削除しても、画像に適用されている調整内容は残ります。

カスタムピクチャーコントロールを編集する

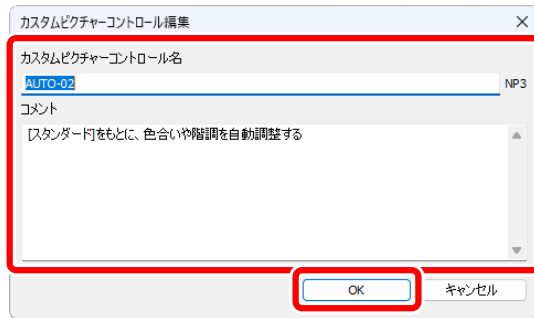
- 1 画像調整パレットの [ピクチャーコントロール] で、プルダウンメニューから [追加したカスタムピクチャーコントロールを編集] を選びます。



- 2 表示される [カスタムピクチャーコントロール管理] ダイアログで編集したいカスタムピクチャーコントロールを選び、[編集] をクリックします。

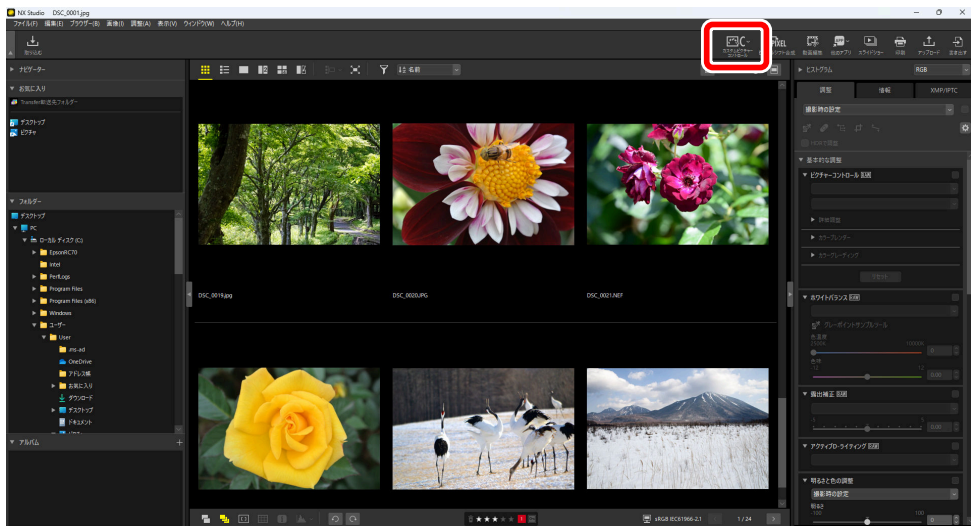


- 3 表示される [カスタムピクチャーコントロール編集] ダイアログでカスタムピクチャーコントロール名とコメントを設定し、[OK] をクリックします。



カスタムピクチャーコントロールファイルを読み込む/書き出す

ツールバーの [カスタムピクチャーコントロール] ボタンをクリックすると、カメラやソフトウェアで書き出されたカスタムピクチャーコントロールファイルを読み込んで NX Studio に登録すること、および NX Studio の画像調整パレットにある [ピクチャーコントロール] で登録したカスタムピクチャーコントロールをファイルに書き出すことができます。



カスタムピクチャーコントロールファイルの種類と特徴

カスタムピクチャーコントロールファイルには [NCP]、[NP2]、[NP3] の3つの種類があります。使用できるカスタムピクチャーコントロールファイルの種類はお使いのカメラによって異なります。

- NP3 : Zマウントのミラーレスカメラ、D6、D780 で使用できるカスタムピクチャーコントロールファイルです。
 - [Creative Picture Control] を使用すると、色合いや階調、彩度などを細やかに作りこんだ多彩な効果により、さまざまな雰囲気表現する調整ができます。
 - 調整項目 [シャープ調整] が使用できます。[クイックシャープ] で簡単に調整したり、[ミドルレンジシャープ] などにより詳細に調整できます。
 - [輪郭強調] の調整範囲が「0~9」→「-3~9」に拡張され、ソフトな輪郭からくっきりした輪郭まで表現できます。

- NP2 : D810 以降のカメラで使用できるカスタムピクチャーコントロールファイルです。
 - ピクチャーコントロール **[フラット]**、**[オート]** が使用できます。**[オート]** は、D850、D7500 および NP3 対応のカメラでのみ使用できます。
 - 調整項目 **[明瞭度]** が使用できます。
 - 各調整項目は、0.25 単位のステップ幅で NCP よりも細かく調整できます。
 - **[明るさ]** の調整範囲が「-1~1」→「-1.5~1.5」に拡張されています。
- NCP : カスタムピクチャーコントロールをサポートしているすべてのカメラで使用できるカスタムピクチャーコントロールファイルです。

ヒント : カスタムピクチャーコントロールファイルを使用できるカメラ

- NP3、NP2、NCP : Z マウントのミラーレスカメラ、D6、D780
 - NP2、NCP : Z マウントのミラーレスカメラ、D6、D5、D500、D850、D810/D810A、D780、D750、D7500、D7200、D5500/D5600
 - NCP : D3/D3X/D3S/D4/D4S、Df、D800/D800E、D700、D600/D610、D300/D300S、D7000/D7100、D5000/D5100/D5200/D5300、D90、Nikon 1 シリーズ (J5 を除く)、COOLPIX A
-

カスタムピクチャーコントロールファイルを読み込む

対応カメラや対応ソフトウェアで作成したカスタムピクチャーコントロールファイルを NX Studio に読み込み、カスタムピクチャーコントロールを登録できます。

NX Studio に登録できるカスタムピクチャーコントロール数の上限について

NX Studio に登録できるカスタムピクチャーコントロール数は 150 までです。

メモリーカードから読み込む

- 1 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットに、カスタムピクチャーコントロールファイルがコピーされているメモリーカードを挿入します。

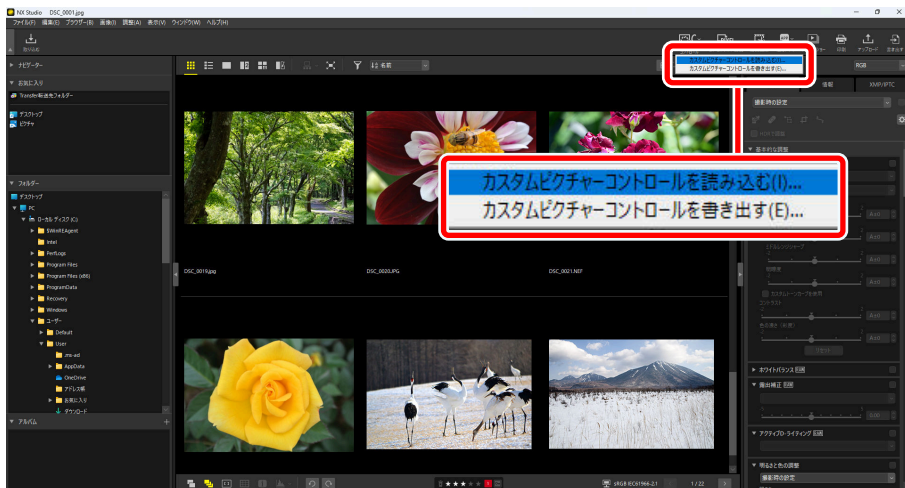
メモリーカード内のファイルについて

- パソコンを使用してメモリーカードにカスタムピクチャーコントロールをコピーする場合は、メモリーカードのルートディレクトリ (一番上の階層) または「NIKON」フォルダー→「CUSTOMPC」フォルダーにコピーしてください。
- メモリーカードのルートディレクトリに「DCIM」フォルダー、および「NIKON001.DSC」ファイルがない場合は、NX Studio でカスタムピクチャーコントロールを読み込めません。

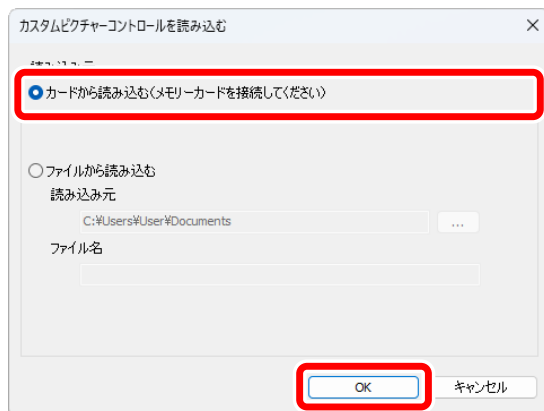
✓ メモリーカードのフォーマットについて

カスタムピクチャーコントロールの読み込み、書き出しに使用するメモリーカードは、対応カメラで事前にフォーマットされている必要があります。

- 2 ツールバーの「カスタムピクチャーコントロール」をクリックし、「カスタムピクチャーコントロールを読み込む」を選びます。



- 3 表示される「カスタムピクチャーコントロールを読み込む」ダイアログで「カードから読み込む (メモリーカードを接続してください)」を選び、「OK」をクリックします。

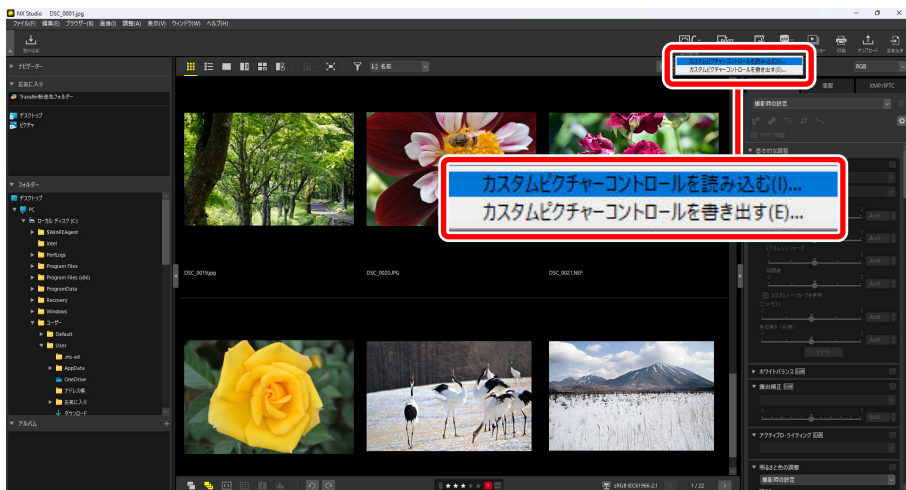


ヒント：メモリーカードが複数ある場合は

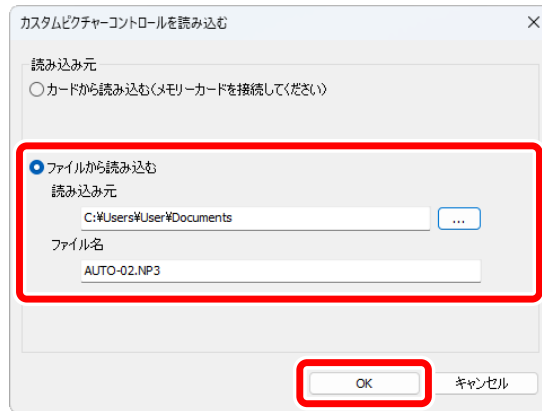
読み込み元のメモリーカードが複数ある場合は、メモリーカードを選択する画面が表示されます。読み込みたいカスタムピクチャーコントロールが含まれているメモリーカードを選択して、[OK] をクリックします。

ファイルから読み込む

- 1 ツールバーの[カスタムピクチャーコントロール] をクリックし、[カスタムピクチャーコントロールを読み込む] を選びます。



- 2 表示される [カスタムピクチャーコントロールを読み込む] ダイアログで [ファイルから読み込む] を選び、読み込むファイルを選んで [OK] をクリックします。



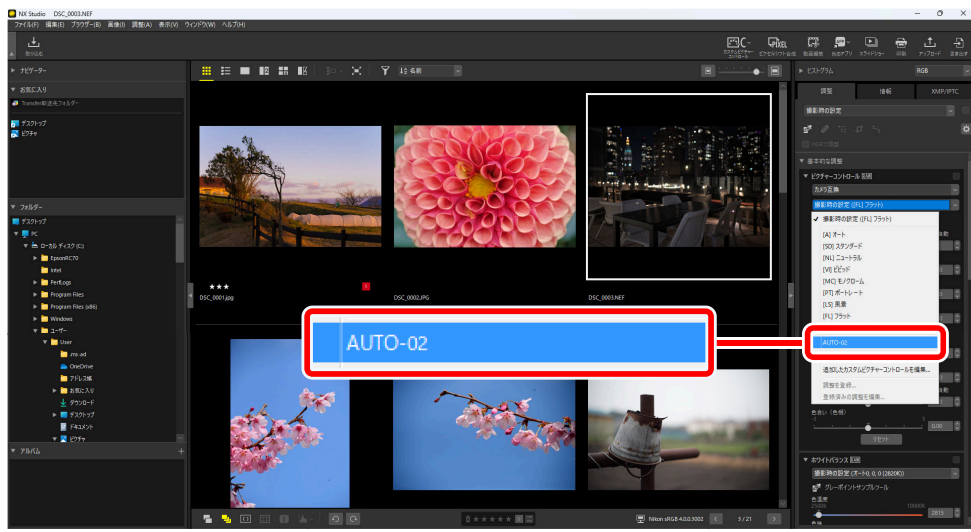
ヒント：読み込むファイルの選び方について

[読み込み元] に読み込みたいカスタムピクチャーコントロールファイルがある場所を入力し、[ファイル名] にファイル名を入力する方法と、... をクリックしてパソコン内のファイルを直接選ぶ方法の2種類の選び方があります。

- 3 読み込まれたカスタムピクチャーコントロールがダイアログで表示されます。

ヒント：読み込んだカスタムピクチャーコントロールを画像に適用する

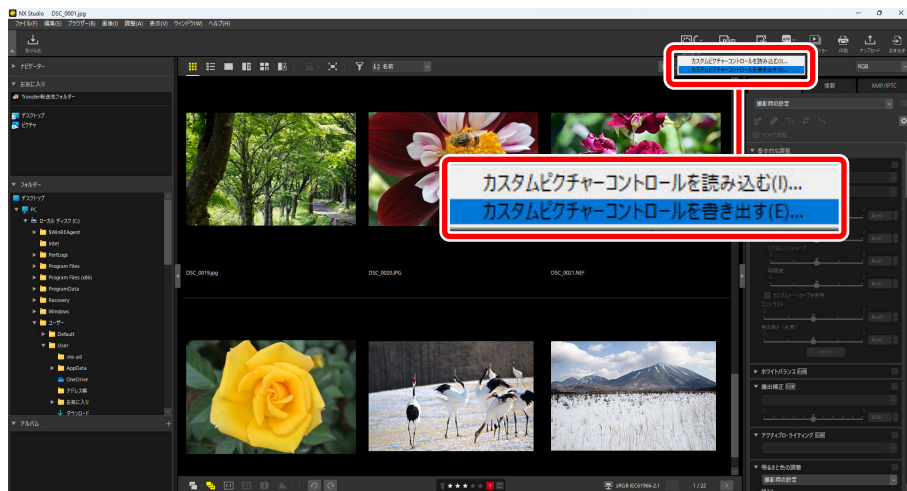
NX Studio に読み込んで登録したカスタムピクチャーコントロールは、画像調整パレットの [ピクチャーコントロール] でプルダウンメニューから選んで画像に適用できます ([図 92](#)) 。



カスタムピクチャーコントロールファイルを書き出す

NX Studio に登録されているカスタムピクチャーコントロールをファイルに書き出します。

- 1 ツールバーの「**カスタムピクチャーコントロール**」をクリックし、「**カスタムピクチャーコントロールを書き出す**」を選びます。



- 2 表示される「**カスタムピクチャーコントロールを書き出す**」ダイアログで書き出したいカスタムピクチャーコントロールを選び、「**ファイルに書き出す**」または「**カードに書き出す**」をクリックします。

「**ファイルに書き出す**」: パソコン内の任意の場所を選び、カスタムピクチャーコントロールファイルを書き出せます。

「**カードに書き出す**」: メモリーカード内の「NIKON」フォルダー→「CUSTOMPC」フォルダーにカスタムピクチャーコントロールファイルが書き出されます。メモリーカードを認識できない場合はエラーダイアログが表示されます。

✓ メモリーカードに書き出す場合のご注意

- カスタムピクチャーコントロールの読み込み、書き出しに使用するメモリーカードは、対応カメラで事前にフォーマットされている必要があります。
- 1枚のメモリーカードに保存できるカスタムピクチャーコントロールは、NCP、NP2、NP3、それぞれ01から99までの297個です。

ヒント : カスタムピクチャーコントロールのコメントを編集する

- カスタムピクチャーコントロールをファイルに書き出す場合、書き出し時にコメントを編集できます。複数のカスタムピクチャーコントロールをファイルに書き出す場合は、共通のコメントになります。
 - カスタムピクチャーコントロールをメモリーカードに書き出す場合、すでに入力されているコメントが引き継がれます。コメントの編集は、書き出しの前に画像調整パレットの [**ピクチャーコントロール**] > [**追加したカスタムピクチャーコントロールを編集**]で行ってください ([📖 197](#))。
-

- 3** 書き出したカスタムピクチャーコントロールがダイアログで表示されます。


ヒント : 書き出したカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録する

ファイルに書き出したカスタムピクチャーコントロールは、カメラのメニューで読み込んで登録できます。読み込む方法については、カメラの説明書をご覧ください。

ピクセルシフト撮影で撮影された画像を合成する

ピクセルシフト撮影について

カメラでピクセルシフト撮影すると、撮像素子の位置を変えながら自動的に複数の RAW 画像を撮影します。撮影した RAW 画像を NX Studio で合成すると、通常よりも高画質な画像を生成できます。

- ピクセルシフト撮影で撮影された画像は、サムネイルに  が表示されます。
- 1 回のピクセルシフト撮影で撮影された画像は同じ画像グループ（ピクセルシフト撮影画像グループ）として記録されます。
- ピクセルシフト撮影について、詳しくはピクセルシフト対応カメラの説明書をご覧ください。

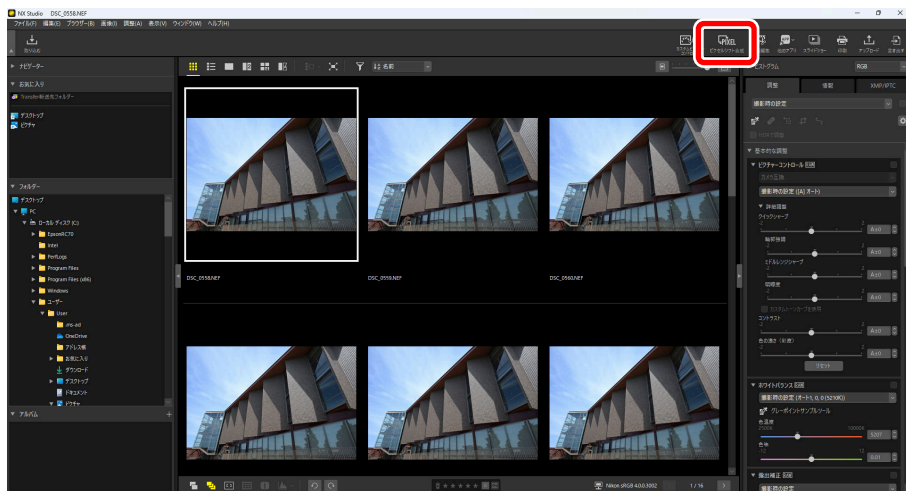
ピクセルシフト撮影で撮影された画像を合成する

ピクセルシフト撮影で撮影された画像を選んでツールバーの[ピクセルシフト合成]をクリックすると、選んだ画像と同じ画像グループを自動的に検出し、グループ内の画像を1つのファイルに合成できます(ピクセルシフト合成)。

- ピクセルシフト合成した画像は、撮影条件や合成後に生成する枚数によって解像度を変更される場合があります。

ピクセルシフト合成の手順

- 1 合成したい画像グループが収められたフォルダーを表示して、ツールバーの[ピクセルシフト合成]をクリックします。



- 2 表示される【ピクセルシフト合成】ダイアログで、合成モード（生成する枚数）や倍率色収差補正などの設定を行います。



ピクセルシフト撮影画像グループ

合成する画像グループを選べます。ビューエリアに複数の画像グループがある場合、異なるグループを同時に選んで合成することもできます。

【合成モード】

合成後に生成する枚数を選べます。合成する画像の枚数によって選べる生成枚数が異なります（[211](#)）。

【倍率色収差補正】

【する】を選ぶと倍率色収差による色ずれを低減できます。

【出力先】

生成した画像を保存するフォルダーを選べます。

【ファイル名】

生成した画像のファイル名を設定できます。【名前の設定】をクリックすると、プレフィックスやサフィックスなどの設定が行えます。

- 3 **[実行]** をクリックすると、合成された画像（ピクセルシフト合成画像）が指定したフォルダーに保存されます。



ピクセルシフト合成画像の生成枚数について

- 合成する画像の枚数によって選べる生成枚数が次のように異なります。

合成する枚数	生成枚数	内容
4枚	1枚	4枚の画像から1枚の画像を生成します。
8枚	1枚	8枚の画像から1枚の画像を生成します。
	2枚	4枚の画像合成を2回行い、2枚の画像を生成します。
16枚	1枚	16枚の画像から1枚の画像を生成します。 • 縦横の画像サイズが元の画像の2倍になります。
	4枚	4枚の画像合成を4回行い、4枚の画像を生成します。
32枚	1枚	32枚の画像から1枚の画像を生成します。 • 縦横の画像サイズが元の画像の2倍になります。
	2枚	16枚の画像合成を2回行い、2枚の画像を生成します。 • 縦横の画像サイズが元の画像の2倍になります。
	4枚	8枚の画像合成を4回行い、4枚の画像を生成します。
	8枚	4枚の画像合成を8回行い、8枚の画像を生成します。

- 複数のピクセルシフト撮影画像グループを同時に選んだ場合、各グループの生成できる枚数を比較し、共通する枚数のみ生成できます。例えば、8枚の画像グループと16枚の画像グループを同時に選んだ場合は生成できる枚数は1枚になり、8枚の画像グループと32枚の画像グループを同時に選んだ場合は生成できる枚数は1枚または2枚になります。

✓ 画像の輝点について

ピクセルシフト合成を行うと、生成された画像に輝点が発生する場合があります。


- ピクセルシフト撮影を行う前にカメラのメニューで [**ピクセルマッピング**] を実行しておくことをおすすめします。
- 画像に輝点が発生して気になる場合は、画像調整パレットの [**レタッチブラシ**] を使用すると取り除くことができます (📖 146)。

✓ ピクセルシフト合成で生成した画像ファイルについてのご注意

ピクセルシフト合成で生成した画像ファイルは、次の機能には対応していません。

- スライドショー再生
 - NIKON IMAGE SPACE へのアップロード
-

ヒント : ピクセルシフト合成で生成した画像ファイルについて

- 拡張子は「.nefx」(NEFX形式)になります。
- サムネイルに  が表示されます。

ヒント : 階調モードが HLG の画像をピクセルシフト合成した場合

階調モードを HLG に設定してピクセルシフト撮影した画像を NX Studio で合成すると、生成されるピクセルシフト合成画像 (.nefx) の階調モードも HLG になります。

スライドショーを見る

フォルダー内の画像をスライドショーで見る

ツールバーの【スライドショー】ボタンをクリックすると、選んだ画像またはフォルダー内すべての画像をスライドショーで再生できます。



表示されるダイアログでスライドショーの設定を行い、【OK】をクリックすると設定した内容でスライドショーを開始します。

✓ 動画ファイルについて

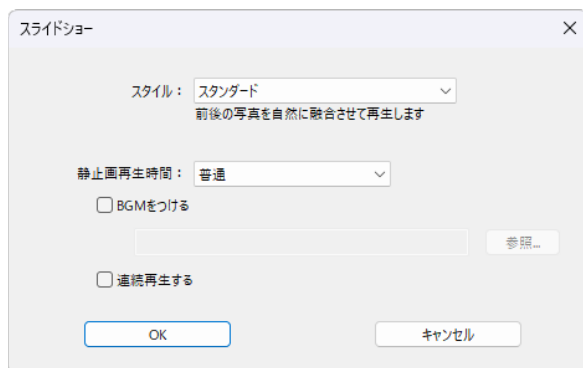
動画ファイルはスライドショーで再生できません。

✓ NEFX 形式の画像について

NEFX 形式の画像（ピクセルシフト合成画像）はスライドショーで再生できません。

スライドショーの設定

[スライドショー] ダイアログでは画像を切り換える間隔や効果などを設定できます。設定完了後、[OK] をクリックすると設定した内容でスライドショーを開始します。



[スタイル]

画像切り換えの効果を選べます。

[静止画再生時間]

静止画の切り換え時間を [短め] (約 3 秒)、[普通] (約 5 秒)、[長め] (約 10 秒) から選べます。

[BGM をつける]

チェックを入れると、音楽ファイルをスライドショーの BGM として設定できます。音楽ファイルは [参照] をクリックして設定します。設定できる BGM は 1 ファイルのみです。

[連続再生する]

チェックを入れると、スライドショーを繰り返し再生します。

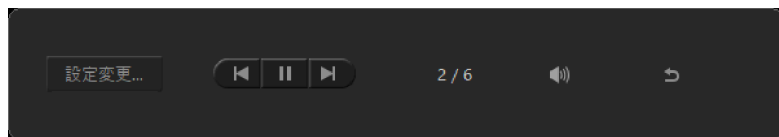
スライドショーの操作

スライドショー再生中または終了時の操作が行えます。

スライドショー再生中の操作

画像の任意の場所をクリックするとスライドショーが終了します。👉をクリックしてもスライドショーを終了できます。スライドショー再生中にマウス操作を行うとスライドコントロールバーが表示され、スライドショーの操作が行えます。

- ⏪ または ⏩ ボタンで画像を切り換えた場合は **【スタイル】** の効果は反映されません。
- **【設定変更】** を行った場合、スライドショーは最初から再生されます。



■ スライドショー再生終了後の操作

スライドショーの再生が終了すると、ボタンが表示されます。スライドショーをもう一度再生したり、設定を変更したりできます。



Web にアップする

Web サービスを活用する

NX Studio を使用して、静止画および動画を NIKON IMAGE SPACE に直接アップロードできます。

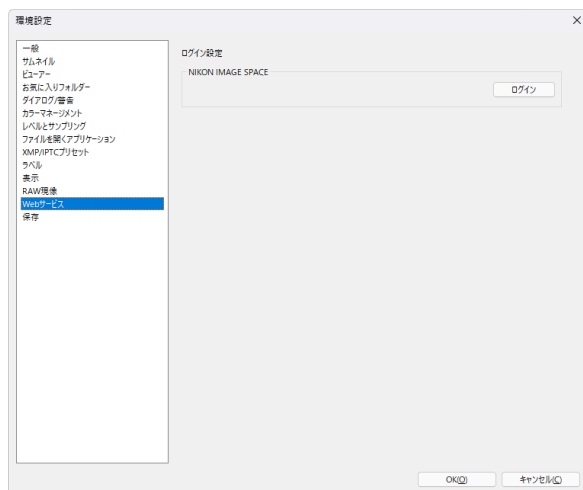
ヒント : NIKON IMAGE SPACE について

NIKON IMAGE SPACE はインターネット上で静止画や動画などのファイルを保存・管理できるニコンのサービスです。ニコン製デジタルカメラをお使いのお客様は、ニコンユーザー特典をご利用いただけます。詳しくは NIKON IMAGE SPACE のホームページをご覧ください。

<https://www.nikonimagespace.com/>

NIKON IMAGE SPACE にログインする

画像をアップロードする前に、NIKON IMAGE SPACE にログインする必要があります。ログインは環境設定の [Web サービス] で行えます ([📖 235](#)、[📖 249](#))。



NIKON IMAGE SPACE にアップする

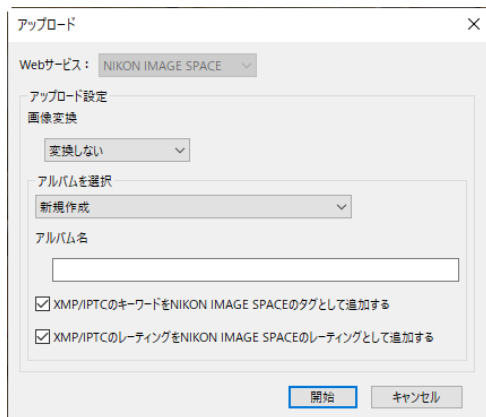
画像をアップするには、画像を選んでツールバーの [アップロード] ボタンをクリックします。



NIKON IMAGE SPACE にログインしていない場合、ログインを確認するダイアログが表示されます。[ログイン] をクリックすると、Nikon ID ログイン画面が表示されます。

アップロード設定について

[アップロード] をクリックすると、画像をアップロードする設定を行えます。



[アップロード設定]

NX Studio からアップロードする画像の設定を行えます。

- **[画像変換]**：画像をアップロードするときの変換サイズを選べます。
 - RAW 画像を調整時に **[変換しない]** を選んだ場合、NX Studio で調整した内容は反映されずに撮影時の状態でアップロードされます。
- **[アルバムを選択]**：画像をアップロードするアルバムを選べます。**[新規作成]** を選んだ場合は、アルバム名を設定してください。
 - **[XMP/IPTCのキーワードをNIKON IMAGE SPACEのタグとして追加する]**：チェックを入れると、調整/情報パレットの **[XMP/IPTC]** タブで設定している **[キーワード]** を画像のタグとして追加できます ([図 24](#))。タグは NIKON IMAGE SPACE 内で検索キーワードとして使用できます。
 - **[XMP/IPTCのレーティングをNIKON IMAGE SPACEのレーティングとして追加する]**：チェックを入れると、画像に設定しているレーティングを付けてアップロードできます ([図 63](#))。

[開始]

クリックすると、設定した内容で NIKON IMAGE SPACE に画像をアップロードします。

[キャンセル]

画像のアップロードを中止します。

ヒント：アップロードできるファイル形式について

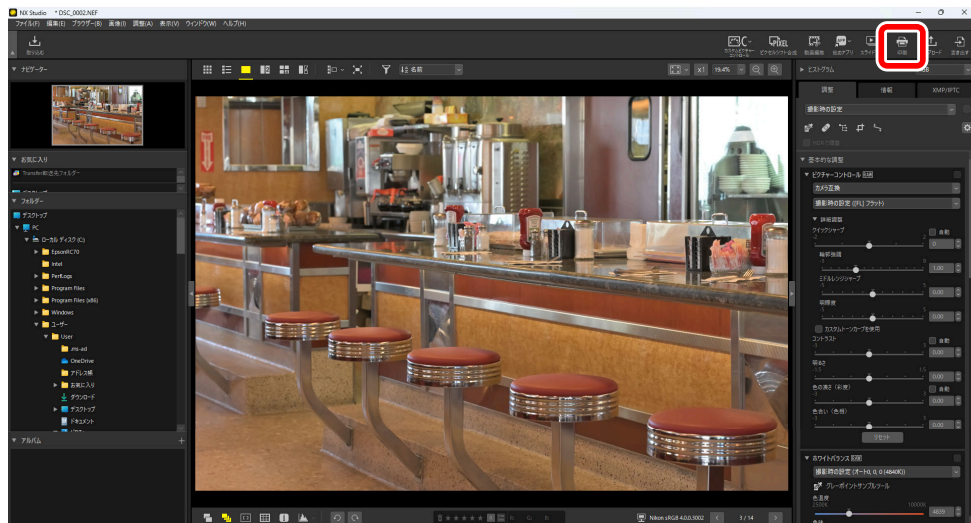
アップロードできるファイル形式は JPEG、TIFF、RAW (NEF、NRW)、MOV、AVI、MP4、WAV、NMS、MPO 形式です。

- サムネイルに **HLG** または **PQ** が表示される画像および NEFX 形式の画像（ピクセルシフト合成画像）はアップロードできません（[図 36](#)、[図 208](#)）。
 - ProRes RAW で撮影された MOV 形式の動画はアップロードできません。
 - WAV 形式の音声ファイルは、画像に音声メモファイルとして関連付けられている場合および COOLPIX の音声レコード機能で録音されている場合のみアップロードできます。
-

印刷する

画像を印刷する

ツールバーの「印刷」をクリックすると、パソコンに接続しているプリンターから画像を印刷できます。



プリンターの設定などを行い、「印刷」ボタンをクリックすると、プレビューされているレイアウトで印刷が開始されます。

ヒント：印刷について

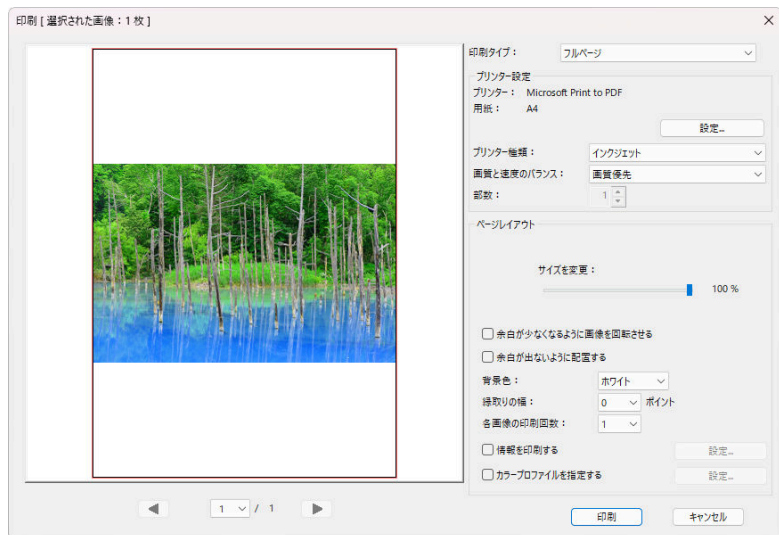
印刷の設定は、次の印刷時に、前回印刷した内容が保存されています。

ヒント：セイコーエプソン社製のプリンターをお使いの場合

セイコーエプソン社製のユーティリティ E-Photo や、プラグイン Epson Print Layout をインストールすると、ツールバーに「EPSON 写真印刷」または「Epson Print Layout」のアイコンが表示され、NX Studio から起動できます。E-Photo および Epson Print Layout の詳しい使い方は、セイコーエプソン社の使用説明書やホームページをご覧ください。

印刷設定

使用するプリンターや画像のレイアウトを設定します。



【印刷タイプ】

用紙 1 枚に画像を 1 つまたは複数配置するパターンを設定します。

- **【フルページ】**：用紙 1 枚に 1 つの画像を印刷します。
- **【インデックスプリント】**：用紙 1 枚に複数の画像を並べて印刷します ([図 228](#))。
- **【標準写真サイズ】**：画像を規定のサイズに拡大または縮小して配置し、印刷します。規定のサイズを **【ページレイアウト】** の **【写真サイズ】** から選んでください。用紙 1 枚あたりに配置される画像の数は、自動で設定されます。

【プリンター設定】

使用するプリンターの機種、印刷の品質、印刷部数などを設定します。

- **【プリンター】**： **【設定】** ボタンをクリックして、プリンターの設定を行ってください。設定したプリンターと用紙が表示されます。
- **【プリンター種類】**：プリンターの種類がインクジェットの場合は、 **【インクジェット】** を選んでください。
- **【画質と速度のバランス】**：RAW 画像 (NEF/NRW) またはピクセルシフト合成画像 (NEFX) を印刷するときの設定です。 **【速度優先】** にすると、RAW 画像に埋め込まれたプレビュー (簡易表示) を使用して印刷するため、 **【画質優先】** に比べて画質が落ちます。 **【印刷タイプ】** を **【インデックスプリント】** に設定している場合、 **【速度優先】** に固定されます。
- **【部数】**：印刷する部数を選びます。

[ページレイアウト]

用紙に印刷する画像のレイアウトを設定します。

- **[サイズを変更]** : 画像のサイズをスライダーで調整できます。
- **[余白が少なくなるように画像を回転させる]** : チェックを入れると、規定の用紙の向きに合わせて、余白を少なくするよう画像を回転します。
- **[余白が出ないように配置する]** : チェックを入れると、余白が出ないように画像と用紙の中心を自動的に合わせます。はみ出した部分はトリミングされます。
- **[背景色]** : 余白の色を選びます。**[ホホワイト]** を選ぶと、余白部分に色は印刷されません。
- **[縁取りの幅]** : 配置した各画像のまわりに境界線を描くことができます。境界線の色は、**[背景色]** で選んだ色によって黒色または白色に自動的に設定されます。**[0]** を選ぶと境界線は印刷されません。
- **[各画像の印刷回数]** : 同じ画像を繰り返し使用する回数を選びます。
- **[情報を印刷する]** : 画像のファイル名や撮影日時、撮影情報などを画像の下に配置して印刷します ([□ 224](#))。
- **[カラープロファイルを指定する]** : カラープロファイルの指定の設定を行います。**[設定]** ボタンをクリックすると、カラープロファイルの設定が行えます。
 - **[プリンタープロファイル]** : 印刷するときに使用するプリンタープロファイルを設定します。
 - **[マッチング手法]** : 画像に適用するマッチング手法を **[知覚的]** または **[相対的な色域]** から選びます ([□ 242](#))。

印刷情報設定

印刷情報設定ダイアログの[撮影日時/コメント]タブ、[メタデータ]タブ、[ヘッダー/フッター]タブで印刷する撮影情報を設定します。

[撮影日時/コメント] タブ

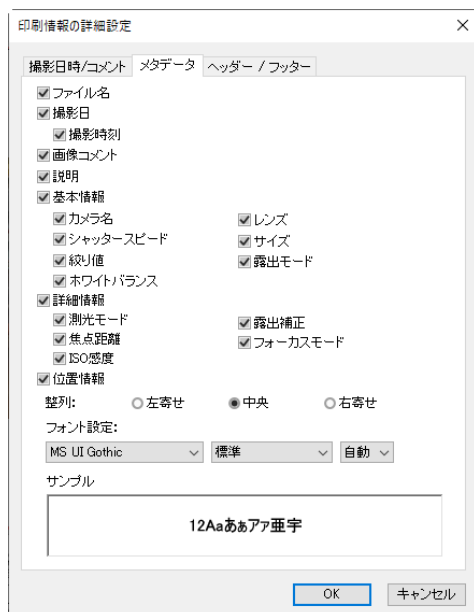
撮影した日時や任意のコメントなどを設定します。



- **[撮影日]** : 撮影日が印刷されます。**[表示位置]** で印刷する位置を選んでください。
- **[撮影時刻]** : 撮影した時刻も日付と併せて印刷されます。
- **[ユーザーコメント]** : テキストボックスに入力した任意の文字が印刷されます。
- **[フォント設定]** : 印刷する撮影日 (時刻) のフォントを設定します。フォント、太さ、サイズ、文字色を選んでください。
- **[サンプル]** : 設定した内容のサンプルが表示されます。

[メタデータ] タブ

チェックを入れた項目のメタデータが印刷されます。印刷できるのは、撮影情報の一部です。



- **[フォント設定]** : 印刷するメタデータのフォントを設定します。フォント、太さ、サイズを選んでください。
- **[サンプル]** : 設定した内容のサンプルが表示されます。

☑ メタデータについて

[メタデータ] タブで印刷指定した内容は、印刷領域によっては一部が印刷されない場合があります。

[ヘッダー/フッター] タブ

用紙の上部または下部に印刷する情報を設定します。

The screenshot shows a dialog box titled '印刷情報の詳細設定' (Print Information Detailed Settings) with a close button (X) in the top right corner. The 'ヘッダー / フッター' (Header / Footer) tab is selected. The dialog is divided into three main sections: 'ヘッダー' (Header), 'ページ番号' (Page Number), and 'フッター' (Footer). Each section has a text input field and radio button options for alignment (left, center, right). The 'ページ番号' section also includes a checkbox for '総ページ数 (1/2)' (Total Page Number (1/2)) and radio button options for display position (top, bottom). Below these sections is a 'フォント設定' (Font Settings) area with dropdown menus for font (MS UI Gothic), size (太字 - Bold), and style (自動 - Automatic). At the bottom is a 'サンプル' (Sample) text box displaying '12Aaああアア亜宇' and 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- **[ヘッダー]** : 用紙の上部にヘッダーが印刷されます。テキストを入力し、印刷する位置を選んでください。
- **[ページ番号]** : ページ番号が印刷されます。表示する位置を選んでください。上部を選ぶとヘッダー内、下部を選ぶとフッター内に印刷されます。[総ページ数 (1/2)] にチェックを入れると、「n/総ページ数」の形式で印刷されます。
- **[フッター]** : 用紙の下部にフッターが印刷されます。テキストを入力し、印刷する位置を選んでください。
- **[フォント設定]** : 印刷するヘッダー/フッターのフォントを設定します。フォント、太さ、サイズを選んでください。
- **[サンプル]** : 設定した内容のサンプルが表示されます。

インデックスプリントで印刷する

[印刷タイプ] で [インデックスプリント] を選ぶと、用紙 1 枚に複数の画像を並べて印刷できます。用紙に配置する画像の枚数やサイズも設定できます。



[レイアウト]

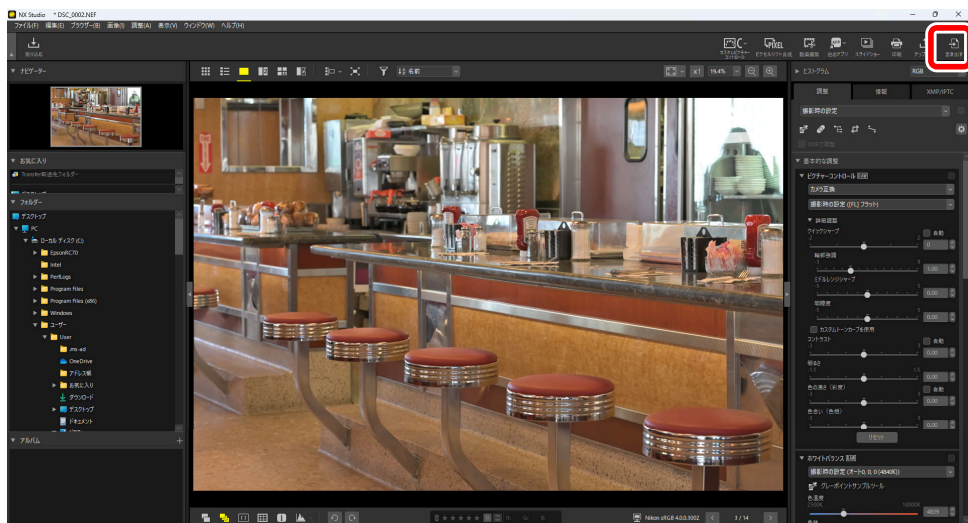
画像の並べ方を設定します。

- **[通常プリント]**: 用紙に配置する画像の枚数を、一覧から選びます。1枚あたりの画像サイズは、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。
- **[画像サイズ]**: 用紙に配置する画像の1枚あたりのサイズを指定します。画像サイズの [横] と [縦] に数値を入力してください。配置される画像の数は、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。
- **[列と行]**: 用紙に配置する画像の列数、行数を [行] と [列] で指定して用紙に配置します。配置される画像1枚あたりのサイズは、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。
- **[枚/ページ]**: 用紙1ページに何枚の画像を配置するかを設定します。配置される画像1枚あたりのサイズは、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。

画像を書き出す（ファイル変換）

ファイル変換して書き出す

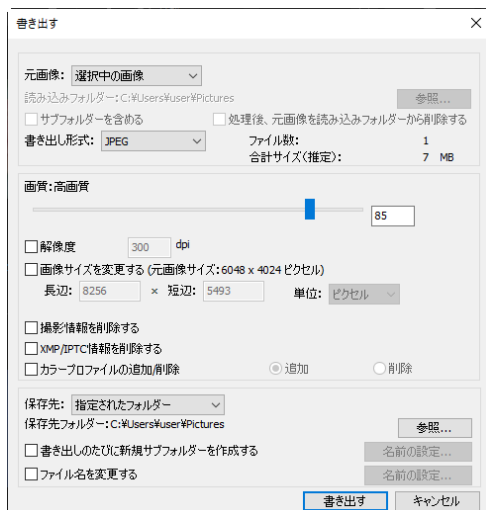
ツールバーの「書き出す」をクリックすると、選んだ画像のファイル形式を JPEG/HEIF/TIFF のいずれかの形式に変換して別ファイルとして書き出せます。NEF/NRW 形式の RAW 画像および NEFX 形式の画像（ピクセルシフト合成画像）を変換すれば、他のソフトウェアでも使用が可能です。フォルダー内の画像をまとめて処理することもできます。



✓ RAW 画像またはピクセルシフト合成画像の書き出しについて

RAW 画像またはピクセルシフト合成画像を他の形式に変換する場合に「書き出す」を使用します。ファイル形式を変更せずに保存したい場合、「ファイル」メニューの「保存」または「別名で保存」で行ってください。画像の保存方法については環境設定の「保存」もご覧ください ([🔗 235](#)、[🔗 250](#))。

画質や画像サイズなどの設定を行い、**[書き出す]** をクリックすると変換された画像が指定したフォルダーに保存されます。



【元画像】

書き出す画像やフォルダーを選べます。

- **[選択中の画像]** : 選んでいる画像を書き出します。
- **[指定されたフォルダー]** : 選んだフォルダーにある画像すべてを書き出します。**[参照]** をクリックしてフォルダーを選べます。
 - **[サブフォルダーを含める]** : チェックを入れると、サブフォルダーにある画像も書き出します。
 - **[処理後、元画像を読み込みフォルダーから削除する]** : チェックを入れると、書き出し後に元画像がフォルダーから削除されます。

【書き出し形式】

変換して保存するファイルの形式を **[JPEG]**、**[TIFF (8ビット)]**、**[TIFF (16ビット)]**、**[HEIF (HLG)]**、**[HEIF (PQ)]** から選べます。

- 元画像がサムネイルに **PQ** が表示される画像の場合は変換できません ([図 36](#))。
- **[HEIF (HLG)]** / **[HEIF (PQ)]** は、元画像がサムネイルに **HLG** が表示される画像の場合のみ有効です ([図 36](#))。
- HEIF を選んだ場合、ファイルの合計サイズは表示されません。
- **[画質]** : 変換形式で JPEG または HEIF を選んだときに設定できます。JPEG を選んだ場合、画像の圧縮率をスライダーまたは数値を入力して設定します。HEIF を選んだ場合、Windows では **[最低画質 (最高圧縮)]**、**[低画質]**、**[標準画質]**、**[高画質]**、**[最高画質]** から選べます。macOS では画質設定はできません。
- **[LZW 圧縮を使用する]** : 変換形式で TIFF を選んだときに設定できます。チェックを入れると、LZW アルゴリズムに基づいて、画像データ損失のない圧縮を行います。

✓ LZW 圧縮で保存するときのご注意

TIFF (16 ビット) 形式ファイルを LZW 圧縮で保存した場合、元のサイズより大きくなる場合があります。

✓ PQ 方式の HEIF 画像に変換する場合のご注意

[HEIF (PQ)] を選んでサムネイルに **PQ** が表示される画像に変換すると、NX Studio では調整できなくなります ([📖 36](#))。

[解像度]

チェックを入れると、画像の解像度を変更できます。

[画像サイズを変更する]

チェックを入れると、画像サイズを拡大縮小できます。[長辺] のテキストボックスにサイズを入力すると、縦横比を保ったまま [短辺] の数値が変更されます。単位は [ピクセル]、[インチ] または [センチ] から選べます。

[撮影情報を削除する]

チェックを入れると、画像に保存している撮影情報を削除します。

[XMP/IPTC 情報を削除する]

チェックを入れると、画像に設定している XMP/IPTC 情報を削除します。

[カラープロファイルの追加/削除]

チェックを入れると、カラープロファイルの [追加] または [削除] を選べます。[追加] を選んだ場合、追加するカラープロファイルは環境設定の [カラーマネージメント] の設定によって異なります ([📖 235](#)、[📖 241](#))。[カラーマネージメント] で設定できるカラープロファイルは次の通りです。

- [画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] にチェックを入れている場合、[標準 RGB 色空間] (Windows) または、[RGB デフォルト] (macOS) で設定したカラープロファイルを追加します。
- [画像変換を行う場合、sRGB にプロファイル変換する] にチェックを入れている場合、カラープロファイルを sRGB で追加します。
- 両方にチェックを入れている場合、カラープロファイルを sRGB で追加します。
- 両方にチェックを入れていない場合、元画像のカラープロファイルを使用します。
- [書き出し形式] で HEIF を選んだ場合は表示されません。

【保存先】

変換した画像を保存するフォルダーを選べます。

- **[元ファイルと同じフォルダー]** : 変換した画像を元画像と同じフォルダーに保存します。
- **[指定されたフォルダー]** : 変換した画像を選んだフォルダーに保存します。[参照] をクリックして保存先を選びます。
 - **[書き出しのたびに新規サブフォルダーを作成する]** : チェックを入れると、選んだフォルダーに自動でサブフォルダーを作成して画像を保存します。[名前の設定] をクリックすると、プレフィックスやサフィックス、開始番号などの設定が行えます。

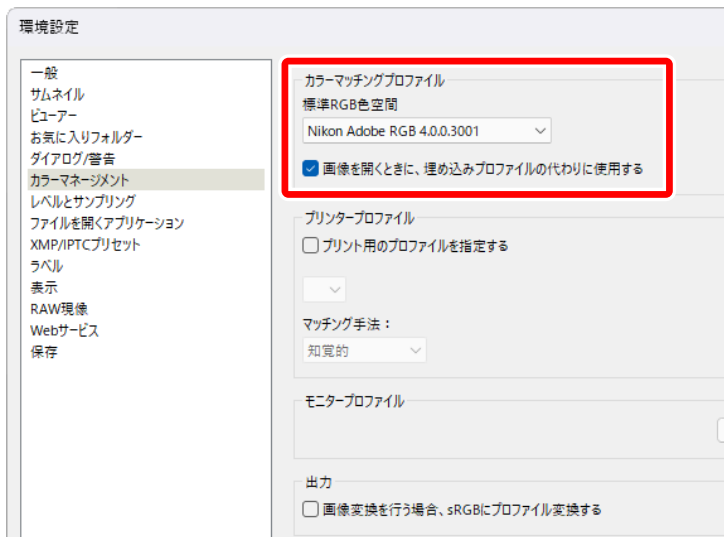
【ファイル名を変更する】

変換した画像のファイル名を設定できます。[名前の設定] をクリックすると、プレフィックスやサフィックス、開始番号などの設定が行えます。

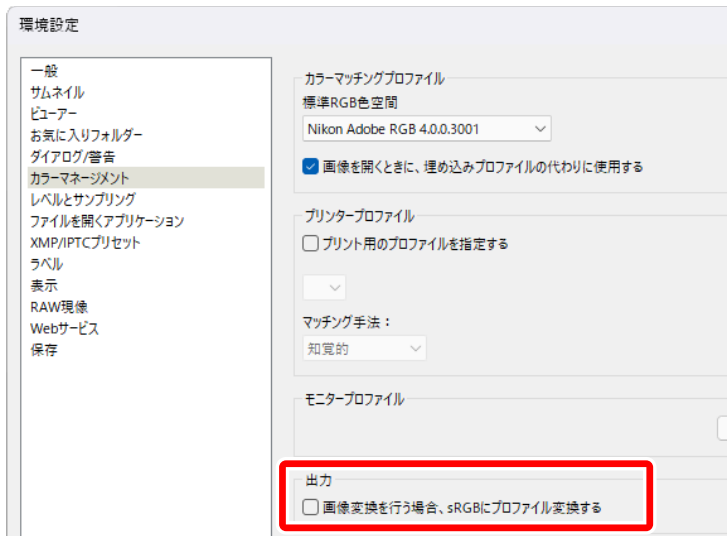
画像の色空間を sRGB 以外に変換して書き出す

sRGB の設定で撮影した RAW 画像またはピクセルシフト合成画像の色空間を別の色空間に変換して保存できます。ただし、階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した RAW 画像またはピクセルシフト合成画像は、環境設定や書き出しの色空間設定にかかわらず色空間が BT.2100 に固定されます。

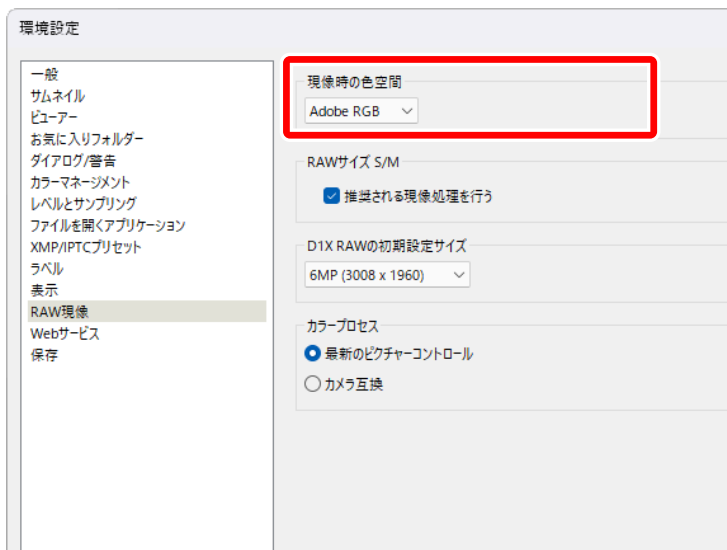
- 1 環境設定の **[カラーマネージメント]** にある **[カラーマッピングプロファイル]** を任意の色空間に設定し、**[画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する]** にチェックを入れます ([235](#)、[241](#))。



- 2 [カラーマネージメント] の [出力] にある [画像変換を行う場合、sRGB にプロファイルを交換する] のチェックを外します。



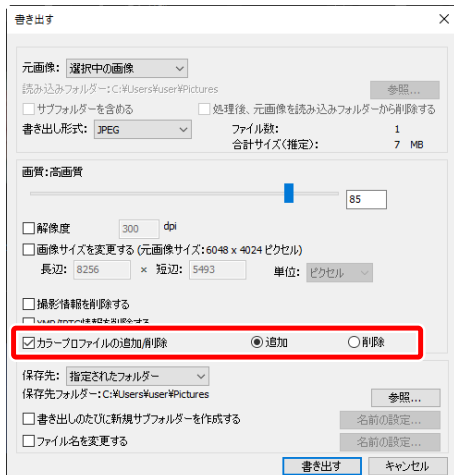
- 3 環境設定の [RAW 現像] にある [現像時の色空間] を任意の色空間に設定します ([235](#)、[248](#))。



ヒント：現像時の色空間について

現像時の色空間は、カメラの **i** ボタンでも確認できます。

4 「書き出す」の「カラープロファイルの追加/削除」にチェックを入れて「追加」を選びます。



5 「書き出す」をクリックすると設定した色空間に変換された画像が書き出されます。

ヒント：画像の色空間を sRGB に戻すときは

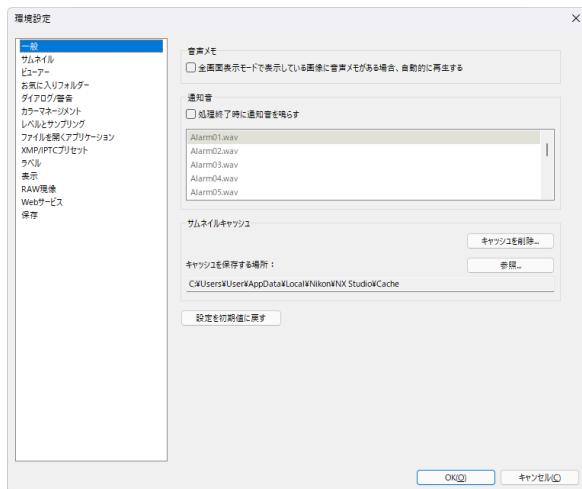
画像の色空間を sRGB に戻すときは、次の設定を行います。

- 環境設定の [RAW 現像] にある [現像時の色空間] を [sRGB] に設定します ([図 235](#)、[図 248](#))。
 - 環境設定の [カラーマネージメント] にある [出力] の [画像変換を行う場合、sRGB にプロファイル変換する] にチェックを入れます ([図 235](#)、[図 241](#))。
 - 環境設定の [カラーマネージメント] にある [カラーマッピングプロファイル] を [Nikon sRGB 4.0.0.3002] に設定し、[画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] のチェックを外します ([図 235](#)、[図 241](#))。
-

環境設定

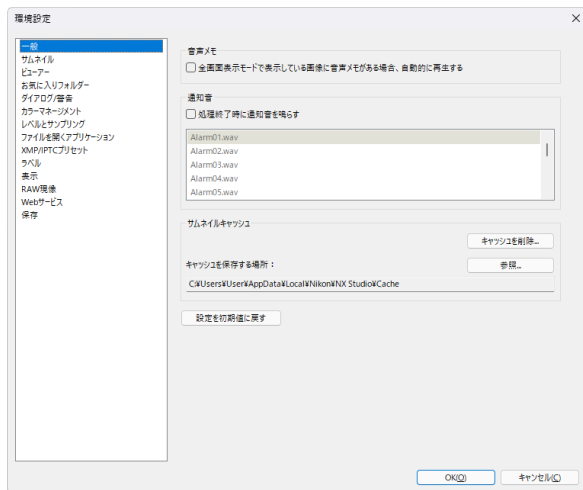
環境設定について

環境設定の設定を変更すると、ユーザーの使いやすいようにカスタマイズできます。環境設定の変更は、Windows をお使いの方は [編集] メニューの [環境設定]、macOS をお使いの方は [NX Studio] メニューの [設定] / [環境設定] から行えます。



[一般]

NX Studio の操作に関する設定を行います。



[音声メモ]

[**全画面表示モードで表示している画像に音声メモがある場合、自動的に再生する**] にチェックを入れると、音声メモ付き画像を全画面表示モードで表示したときに、音声メモを自動的に再生します。

[通知音]

[**処理終了時に通知音を鳴らす**] にチェックを入れると、処理が終了したときに通知音が鳴ります。通知音は一覧から設定できます。

[サムネイルキャッシュ]

画像のキャッシュの設定を行います。

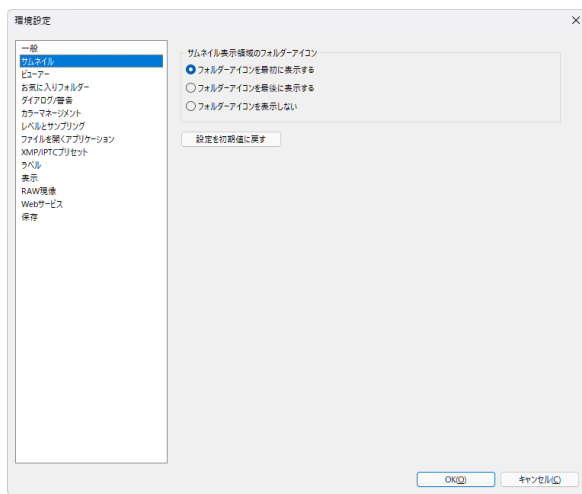
- [**キャッシュを削除**] : 表示に使用した画像のキャッシュをすべて削除します。
- [**キャッシュを保存する場所**] : キャッシュの保存場所を変更します。[参照] をクリックすると、表示されるダイアログから変更場所を指定できます。

[設定を初期値に戻す]

[一般] で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

[サムネイル]

サムネイル表示の設定を行います。



[サムネイル表示領域のフォルダーアイコン]

サムネイル一覧表示とサムネイル詳細表示時、またはフィルムストリップを表示している場合のサブフォルダーの表示順を設定します。

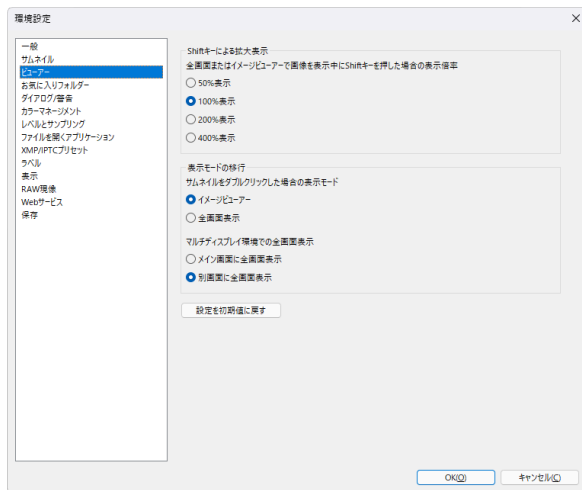
- [フォルダーアイコンを最初に表示する]：サブフォルダーを画像よりも前に表示します。
- [フォルダーアイコンを最後に表示する]：サブフォルダーを画像よりも後に表示します。
- [フォルダーアイコンを表示しない]：サブフォルダーを表示しません。

[設定を初期値に戻す]

[サムネイル] で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

[ビューアー]

画像表示の設定を行います。



[Shift キーによる拡大表示]

画像の拡大表示倍率を設定できます。拡大表示はイメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較表示時に Shift キーを長押しするか、画像をクリックして行えます。

[表示モードの移行]

画像の表示モードを設定します。表示モードの切り換えはイメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較表示時に行えます。

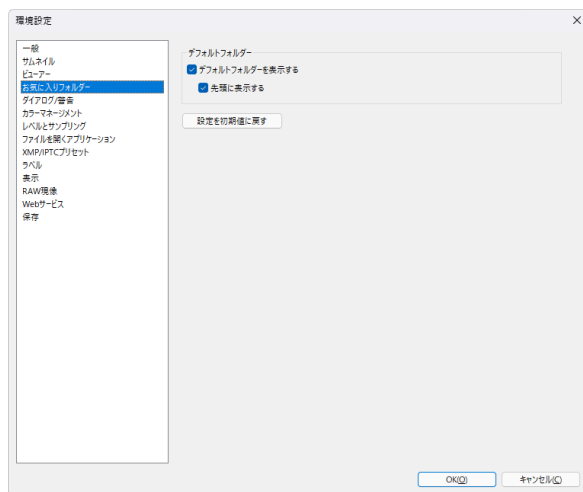
- **[サムネイルをダブルクリックした場合の表示モード]**: サムネイル一覧またはサムネイル詳細上で画像をダブルクリックしたときに、画像をイメージビューアー表示にするか全画面表示にするかを設定できます。
- **[マルチディスプレイ環境での全画面表示]**: マルチディスプレイ環境で NX Studio を使用し、**[サムネイルをダブルクリックした場合の表示モード]** で **[全画面表示]** が選ばれている場合に、画像を表示するモニターを選べます。

[設定を初期値に戻す]

[ビューアー] で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

【お気に入りフォルダー】

ブラウザパレットにある【お気に入り】の設定を行います。



【デフォルトフォルダー】

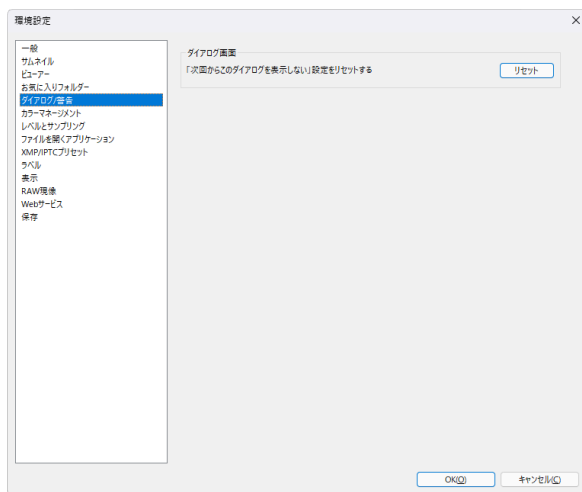
【デフォルトフォルダーを表示する】にチェックを入れると、ブラウザパレットの【お気に入り】にデフォルトフォルダーを表示します。【先頭に表示する】にチェックを入れると、デフォルトフォルダーを先頭に表示します。

【設定を初期値に戻す】

【お気に入りフォルダー】で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

[ダイアログ/警告]

ダイアログ表示の設定を行います。

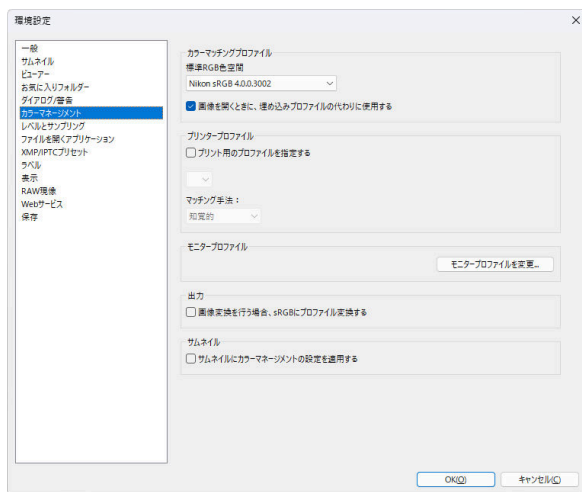


[ダイアログ画面]

[リセット] をクリックすると、各ダイアログ画面の [次回からこのダイアログを表示しない] のチェックボックスを初期状態に戻します。

[カラーマネージメント]

画像のカラーマネージメントの設定を行います。



[カラーマッチングプロファイル] (Windows) / [画像のデフォルトプロファイル] (macOS)

画像の色空間 (カラープロファイル) に関する設定をします。

- [標準 RGB 色空間] (Windows) / [RGB デフォルト] (macOS) : 画像のデフォルトの色空間を選べます。
 - [画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] : チェックを入れると、画像に埋め込まれているプロファイルを自動的に [標準 RGB 色空間] または、[RGB デフォルト] で設定したプロファイルに変換します。

[プリンタープロファイル]

[プリント用のプロファイルを指定する] にチェックを入れると、プリンタープロファイルの設定を行います。

- 印刷に使用するプリンタープロファイルを選べます。
- [マッチング手法] で画像に適用するマッチング手法を選べます。

[モニタープロファイル] (Windows) / [ディスプレイプロファイル] (macOS)

[モニタープロファイルを変更] (Windows)、[ディスプレイプロファイルの変更] (macOS) をクリックしてモニタープロファイルを変更します。お使いの OS での設定画面が表示されます。

[出力]

[**画像変換を行う場合、sRGB にプロファイル変換する**] にチェックを入れると、画像を他の形式に変換する場合に変換後の画像データに sRGB の色空間を適用します。埋め込まれていたカラープロファイルは破棄されます。

[サムネイル]

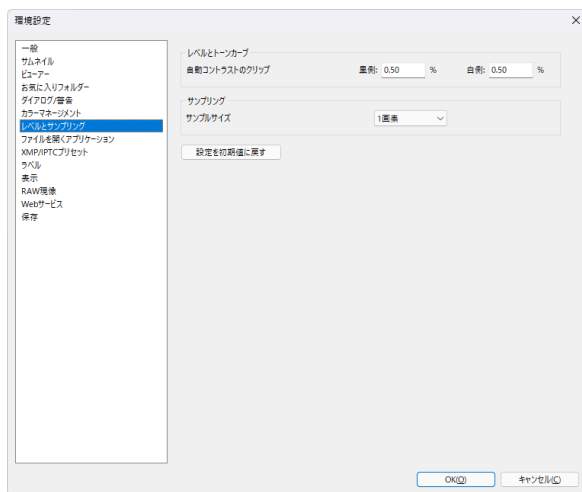
[**サムネイルにカラーマネージメントの設定を適用する**] にチェックを入れると、サムネイル一覧表示またはサムネイル詳細表示で表示されている画像や、フィルムストリップに表示されている画像にもカラーマネージメントの設定を適用します。

ヒント：マッチング手法について

- **[知覚的]**：印刷した画像の配色が人間の目に自然に見えるよう、色の相対関係を維持するマッチング手法です。このマッチング手法を選ぶと、色の関係性は保たれますが、画像の実際の色値は変更されます。
 - **[相対的な色域]**：指定したプロファイルで設定されている色域外の色を本来の色に近づけるようにマッピングするマッチング手法です。このマッチング手法を選ぶと、印刷を行うプリンターの対応範囲内の色はすべて正確に再現されます。
-

[レベルとサンプリング]

[レベルとトーンカーブ] での設定と、画像をサンプリングするときの設定を行います。



[レベルとトーンカーブ]

[自動コントラストのクリップ]: [調整] タブの [レベルとトーンカーブ] でシャドウまたはハイライトを使用するとき、除外する最も暗いピクセルのパーセンテージを [黒側] で、除外する最も明るいピクセルのパーセンテージを [白側] で設定します ([図 124](#))。

[サンプリング]

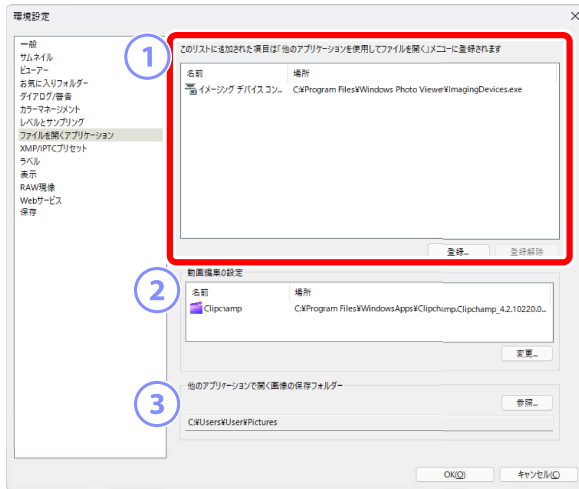
[サンプルサイズ]: [調整] タブの [ホワイトバランス] のグレーポイントサンプルツールまたは [レベルとトーンカーブ] でスポイトツールを使用するときのサンプルサイズを設定します ([図 116](#)、[図 124](#))。

[設定を初期値に戻す]

[レベルとサンプリング] で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

[ファイルを開くアプリケーション]

ツールバーの[他のアプリ]で使用するソフトウェアを登録・削除できます。



① 画像を開くアプリケーション

[登録] をクリックするとソフトウェアを選べます。追加したソフトウェアは一覧表示されます。

② [動画編集の設定]

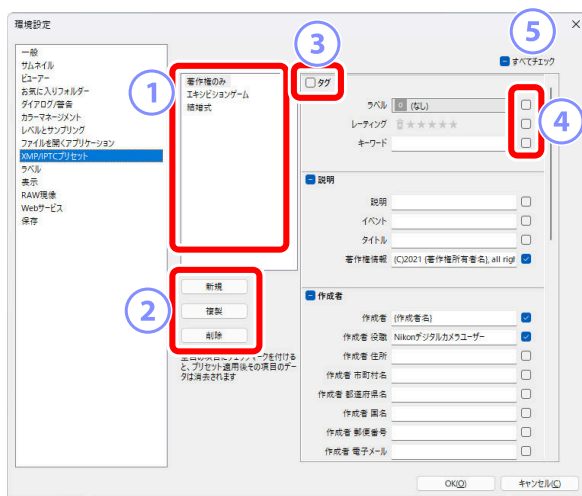
動画を編集するソフトウェアを設定します。初期設定では OS に付属のソフトウェアが登録されています。[変更] をクリックすると、動画再生や編集を行うソフトウェアを指定することができます。登録できるソフトウェアは 1 つのみです。

③ [他のアプリケーションで開く画像の保存フォルダー]

画像を他のソフトウェアで開く場合、別ファイルとして保存した画像を使用します。[参照] をクリックすると、画像の保存先となるフォルダーを選べます。画像の保存形式は [他のアプリ] で使用するソフトウェアを選んだときに表示されるダイアログで選べます。

[XMP/IPTC プリセット]

XMP/IPTC プリセットの管理を行えます。



① プリセット一覧

作成済みの XMP/IPTC プリセットが一覧で表示されます。

② 【新規】 / 【複製】 / 【削除】

XMP/IPTC プリセットの新規作成および選択した XMP/IPTC プリセットの複製/削除が行えます。

③ カテゴリーのチェック

カテゴリー内すべての項目のチェックオン/オフを一度に切り換えられます。

④ 項目のチェック

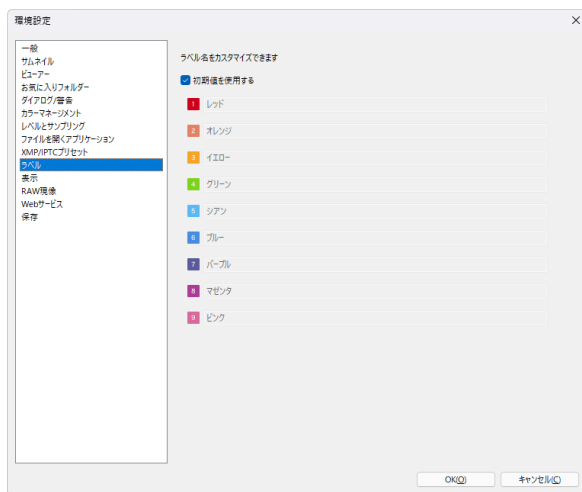
チェックを入れた項目の内容が、転送時に画像に付加されます。入力フィールドが空白の項目にチェックを入れると、「消去」の指定になります。画像にその項目の XMP/IPTC 情報が保存されている場合、内容は消去されます。

⑤ 【すべてチェック】

選んでいる XMP/IPTC プリセットすべての項目のチェックオン/オフを一度に切り換えられます。

[ラベル]

ラベルの設定を行います。

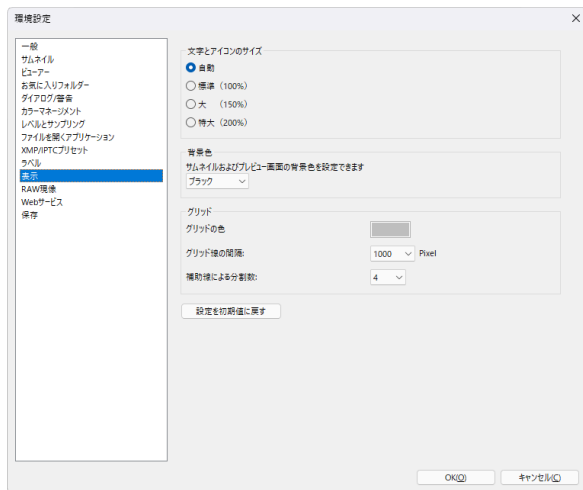


ラベル名の変更

[初期値を使用する] にチェックを入れると、すべてのラベルで初期値として設定されたラベル名を使用します。チェックをオフにすると、それぞれのラベル名を任意に変更できます。

[表示]

NX Studio の表示に関する設定を行います。



[文字とアイコンのサイズ]

パレットやメニューなどの、文字とアイコンの表示サイズを変更します。

[背景色]

イメージビューアー表示、2 画面表示、4 画面表示、調整結果比較表示、フィルムストリップ表示時の背景色を設定します。

[グリッド]

グリッドに関する設定をします。

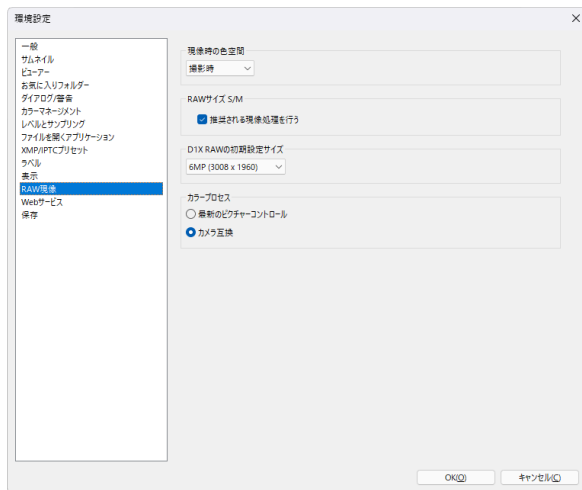
- **[グリッドの色]** : 表示するグリッドの色を設定します。
- **[グリッド線の間隔]** : グリッドの間隔を設定します。
- **[補助線による分割数]** : 主線グリッド間に破線で表示される補助線の分割数を設定します。

[設定を初期値に戻す]

[表示] で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

[RAW 現像]

RAW 画像を現像する場合の設定を行います。



【現像時の色空間】

RAW 画像を現像する場合に使用する色空間を設定します。

【RAW サイズ S/M】

【推奨される現像処理を行う】にチェックを入れると、【サイズ S】または【サイズ M】の RAW 画像に対して推奨される現像処理を行います。

【D1X RAW の初期設定サイズ】

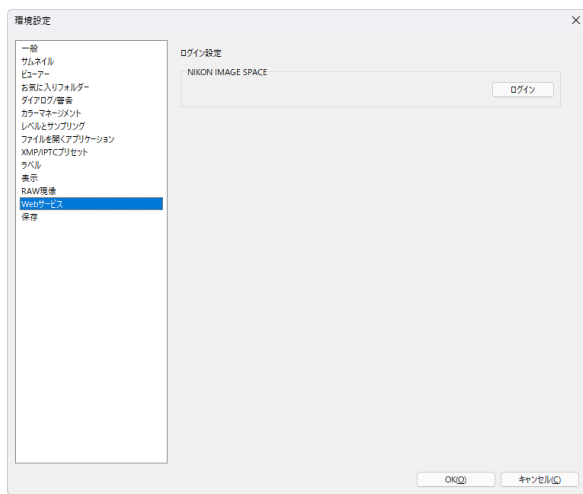
D1X で撮影した RAW 画像を表示する場合の、初期設定の画像ファイルサイズを設定します。

【カラープロセス】

画像に適用するカラープロセスを選べます。

[Web サービス]

Web サービスにログインします。ログインすると、画像をアップロードできます ([図 217](#)、[図 218](#))。

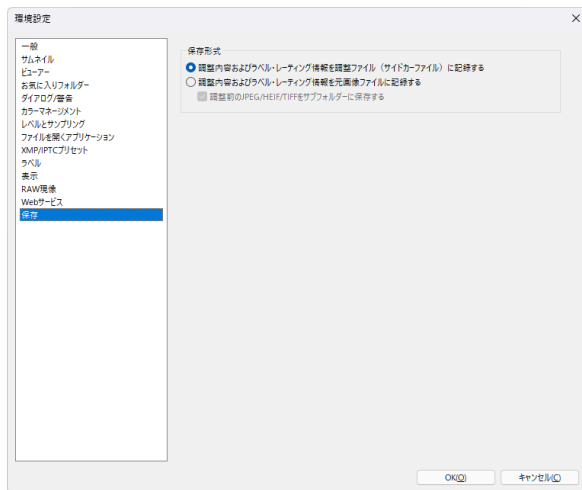


[NIKON IMAGE SPACE]

[**ログイン**] をクリックすると、Nikon ID ログイン画面が表示されます。Nikon ID とパスワードを入力すると、Nikon ID に紐づけられた NIKON IMAGE SPACE にログインできます。NIKON IMAGE SPACE の ID をお持ちでない方は、画面の案内に従って ID を取得してください。

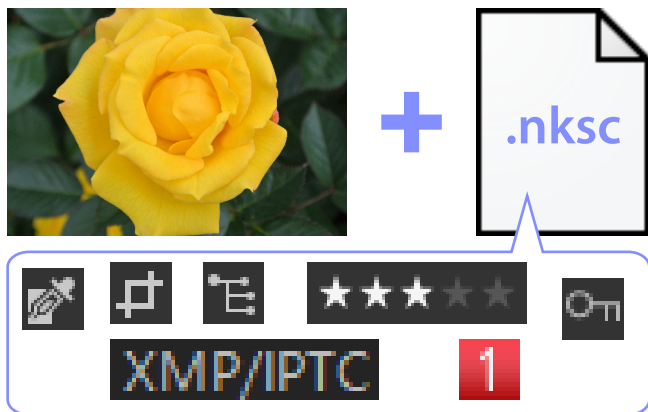
[保存]

画像の保存形式の設定を行います。NX Studio ではサイドカー形式と直接保存形式の2通りの保存形式があります。



サイドカー形式

【保存形式】で【調整内容およびラベル・レーティング情報を調整ファイル（サイドカーファイル）に記録する】を選んだ場合の保存形式です。画像を調整すると、その内容は調整ファイル（サイドカーファイル、拡張子：.nksc）として元画像とは別に保存されます。元の画像ファイルに変更を加えないため、調整を繰り返しても画像の劣化がありません。画像の調整以外にも、ラベルやレーティング、XMP/IPTCなどのメタデータもすべて調整ファイルに記録されています。調整ファイルを削除すれば、いつでも元の状態に戻すことが可能です。

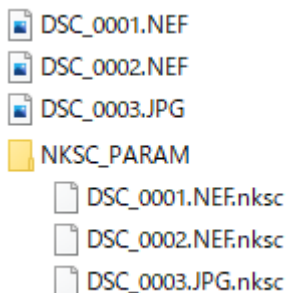


サイドカー形式を使用する場合、次のような特徴があります。

- 調整ファイルは画像調整が行われるたびに更新されます。
- 調整ファイルのみが変更されるため、ファイルサイズの大きいRAW画像やピクセルシフト合成画像を扱う場合でも処理時間が短く、作業効率が向上します。
- 画像調整の適用/非適用をいつでも変更できます。また、複数の画像調整を行った場合、個別に変更が可能です。
- 調整ファイルを他の画像に適用することもでき、同じ調整作業を何度も繰り返さずに済みます。
- 調整した画像をサイドカー形式に対応していないソフトウェアで開きたい場合、JPEG/HEIF/TIFFのいずれかの形式で書き出す必要があります（[Q 229](#)）。

ヒント：調整ファイルについて

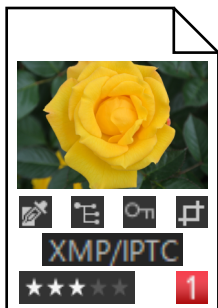
画像を調整すると、元画像と同じ階層に「NKSC_PARAM」というフォルダーが作成され、そこに調整ファイルが保存されます。



- 「NKSC_PARAM」フォルダーや調整ファイルを削除すると、調整内容は失われます。
 - 画像ファイルと調整ファイルは、ファイル名でひも付けされています。OS上でどちらか一方のファイル名を変更すると、調整内容が失われたり、他の画像に調整が反映されたりすることがあります。ファイルやフォルダー名の変更、移動、コピー、削除を行う場合は、NX Studioのフォルダーおよびファイル操作機能を使用してください。
 - 調整を反映した画像を他の環境で使用したい場合、元画像と調整ファイルを一緒に移動してNX Studioで開く必要があります。調整ファイルは「NKSC_PARAM」フォルダーごと移動してください。
-

直接保存形式

【保存形式】で【調整内容およびラベル・レーティング情報を元画像ファイルに記録する】を選んだ場合の保存形式です。画像調整の内容やメタデータを画像に直接保存します。サイドカー形式のように調整ファイルは生成されないため、他の環境へ移動する場合や他のソフトウェアで使用する場合のファイル管理が容易です。直接保存形式の場合、画像のファイル形式によって動作が異なります。



RAW 画像 (NEF、NRW 形式) / ピクセルシフト合成画像 (NEFX 形式)

画像調整の内容は元画像ファイルに記録されるため、一度保存した後も画像調整の修正を行えます。調整内容を破棄して元の状態に戻すことも可能です。

- 他のソフトウェアで開きたい場合、JPEG/HEIF/TIFF のいずれかの形式で書き出す必要があります ([229](#))。
- 調整した画像をメモリーカードに読み込んでカメラで再生した場合、NX Studio で調整した内容は反映されずに撮影時の状態で表示されます。NEFX 形式の画像はカメラで再生できません。

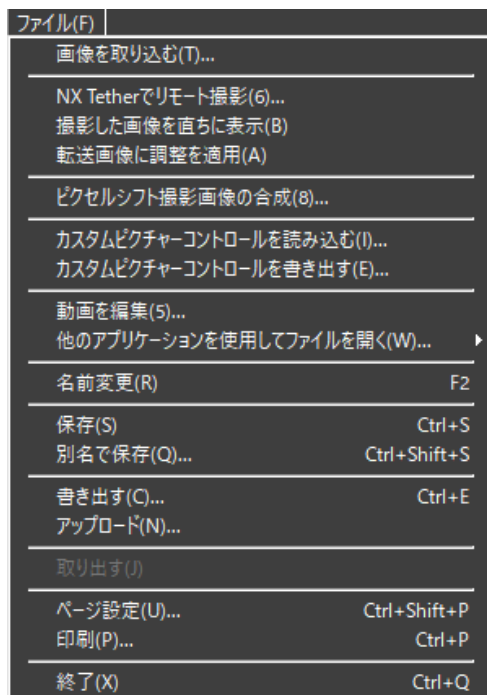
JPEG 形式、HEIF 形式、TIFF 形式

調整した内容を反映して画像を上書き保存します。調整した値も上書きされるため、一度保存すると元の状態に戻せません。

- 他のソフトウェアで開いても、NX Studio で行った画像調整が反映されています。
- 【調整前の JPEG/HEIF/TIFF をサブフォルダーに保存する】のチェックをオンにすると、調整前の元画像がバックアップとして残ります。画像保存時に元画像と同じ階層に「_Original」というフォルダーが作成され、調整前の元画像が保存されます。

メニュー一覧

[ファイル] メニュー



[画像を取り込む]

Nikon Transfer 2 を起動します。

[Camera Control Pro でリモート撮影]

Camera Control Pro 2 を起動します。Camera Control Pro 2 がインストールされている場合のみ表示されます。

[NX Tether でリモート撮影]

NX Tether を起動します。NX Tether がインストールされている場合のみ表示されます。

【撮影した画像を直ちに表示】

オンにすると、他のアプリケーションを使用して画像をパソコンに転送した場合に、カメラから画像が転送されるたびに自動的に NX Studio で表示します。

- 対象のアプリケーションがインストールされている場合のみ表示されます。
- 対象のアプリケーション側での設定が必要です。詳しくはそれぞれのヘルプをご覧ください。
 - Wireless Transmitter Utility : **【転送後、次のアプリケーションで表示】** で **【NX Studio】** を選ぶ
 - Camera Control Pro 2 : **【カメラから新しい画像を受け取った時】** で **【NX Studio に表示する】** を選ぶ
 - NX Tether : **【転送先閲覧ソフト】** で **【NX Studio】** を選ぶ

【転送画像に調整を適用】

オンにすると、**【調整】** タブで行った画像の調整が同じフォルダーに転送された新しい画像に自動で適用されます。

【ピクセルシフト撮影画像の合成】

カメラのピクセルシフト撮影で撮影された画像を合成し、別ファイルとして保存します ([🔗 208](#))。

【カスタムピクチャーコントロールを読み込む】

対応カメラや対応ソフトウェアで作成したカスタムピクチャーコントロールを NX Studio に読み込みます ([🔗 200](#))。

【カスタムピクチャーコントロールを書き出す】

NX Studio に登録されているカスタムピクチャーコントロールをファイルに書き出します ([🔗 205](#))。

【Picture Control Utility 2 を起動】

Picture Control Utility 2 を起動します。Picture Control Utility 2 がインストールされている場合のみ表示されます。

【動画を編集】

あらかじめ設定していた動画編集ソフトウェアが起動します。初期設定では OS に付属のソフトウェアが登録されています。使用するソフトウェアは環境設定の **【ファイルを開くアプリケーション】** で変更できます ([🔗 235](#)、[🔗 244](#))。

【他のアプリケーションを使用してファイルを開く】

パソコンにインストールされている他の画像編集ソフトウェアを使用して、現在選択している画像を表示します。使用するソフトウェアは **【アプリケーションの登録】** で追加できます。

【名前変更】

選択している画像のファイル名を変更します。

【保存】

画像調整または XMP/IPTC 編集を行った画像を保存します ([📖 250](#))。

【別名で保存】

画像調整または XMP/IPTC 編集を行った画像を別名で保存します。

【書き出す】

選択している画像をファイル変換して書き出します ([📖 229](#))。

【アップロード】

静止画および動画を NIKON IMAGE SPACE にアップロードできます ([📖 217](#)、[📖 218](#))。

【取り出す】 【切断】 (Windows) / 【取り出す】 (macOS)

取り出し可能なディスクを取り出します。Windows でネットワークドライブが選択されているときはネットワークを切断します。

【ページ設定】

プリンターの設定を行います。

【印刷】

選択した画像を印刷します ([📖 221](#))。

【終了】 (Windows のみ)

NX Studio を終了します。

ヒント : セイコーエプソン社製のプリンターをお使いの場合

セイコーエプソン社製のユーティリティ E-Photo や、プラグイン Epson Print Layout をインストールすると、NX Studio で使用できます。

- E-Photo をインストールしている場合、**【EPSON 写真印刷】** が **【ファイル】** メニューに表示されます。
 - Epson Print Layout をインストールしている場合、**【Epson Print Layout で印刷】** が **【ファイル】** メニューに表示されます。
 - ツールバーにも **【EPSON 写真印刷】** および **【Epson Print Layout】** のアイコンが表示され、クリックすると E-Photo および Epson Print Layout が起動します。
-

[NX Studio] メニュー (macOS のみ)



[NX Studio について]

バージョンの確認ができます。

[設定] / [環境設定]

NX Studio の環境設定を変更できます ([📖 235](#))。

[NX Studio を終了]

NX Studio を終了します。

【編集】メニュー

編集(E)	
元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直す(R)	Ctrl+Y
<hr/>	
切り取り(T)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除(D)	Delete
<hr/>	
すべて選択(S)	Ctrl+A
選択解除(E)	
選択状態を反転(I)	Ctrl+I
<hr/>	
ファイルの種類で選択(W)	▶
レーティングで選択(G)	▶
ラベルで選択(L)	▶
<hr/>	
環境設定(O)...	Ctrl+K

【元に戻す】(Windows) / 【取り消す】(macOS)

1つ前の状態に戻り、画像に対して行った変更や現在のダイアログ内での変更を取り消せます。調整中の画像を保存する前にエクスプローラーなど他のアプリケーションで削除した場合、変更の取り消しはできません。

【やり直す】

【元に戻す】で戻された状態を再び適用できます。

【切り取り】(Windows) / 【カット】(macOS)

選択している画像を切り取り（カット）します。

【コピー】

画像またはフォルダー、テキストをコピーします。

[貼り付け] (Windows) / [ペースト] (macOS)

コピーした画像またはフォルダー、テキストを貼り付け（ペースト）します。

[削除]

選択している画像またはフォルダーを削除して OS のゴミ箱に移動します。ブラウザーパレットの **[お気に入り]** でフォルダーを選んでいる場合はお気に入りフォルダーの登録を削除します。

[すべて選択]

画像またはフォルダーをすべて選択します。

[選択解除]

選択している画像またはフォルダーを非選択状態にします。

[選択状態を反転]

選択している画像またはフォルダーを非選択に、非選択の画像を選択状態にします。

[ファイルの種類で選択]

すべてのファイル形式またはファイル形式の種類で画像または動画を選択します。

[レーティングで選択]

設定したレーティングによって画像または動画を選択します ([📖 63](#))。

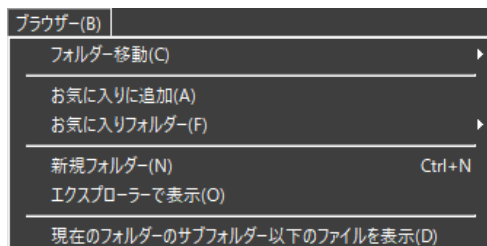
[ラベルで選択]

設定したラベルによって画像を選択します ([📖 67](#))。

[環境設定] (Windows のみ)

NX Studio の環境設定を変更できます ([📖 235](#))。

【ブラウザー】メニュー



【フォルダー移動】

現在表示しているフォルダーを変更します。

【お気に入りに追加】

現在表示しているフォルダーをブラウザーパレットの【お気に入り】に追加します ([図 17](#))。

【お気に入りフォルダー】

ブラウザーパレットの【お気に入り】に登録されているフォルダーを選べます。

【新規フォルダー】

現在表示しているフォルダー内に新規フォルダーを作成します。

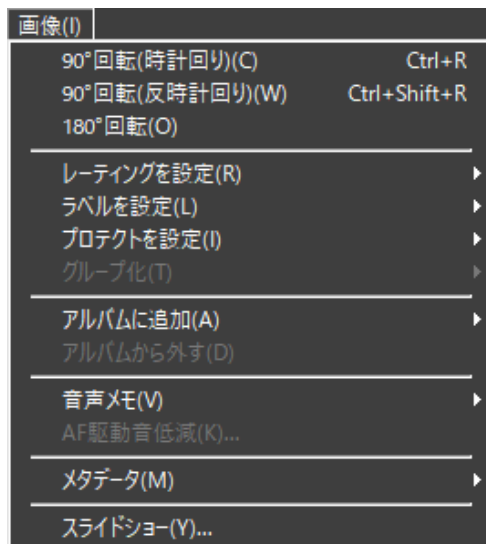
【エクスプローラーで表示】(Windows) / 【Finderで表示】(macOS)

現在表示しているフォルダーまたは選んでいるフォルダーを OS 上で表示します。

【現在のフォルダーのサブフォルダー以下のファイルを表示】

現在表示しているフォルダー内にあるサブフォルダーの画像もサムネイル表示またはフィルムストリップと一緒に表示します。

【画像】メニュー



【90°回転（時計回り）】 / 【90°回転（反時計回り）】 / 【180°回転】

画像の角度を変更します。

【レーティングを設定】 / 【ラベルを設定】 / 【プロテクトを設定】

画像にレーティング、ラベル、およびプロテクトの設定を行います。

【グループ化】

グループ画像の設定を変更します。

- **【代表画像を変更】**：選択された画像を代表画像に設定します。
- **【グループ化解除】**：グループ画像のグループ解除を行います。

【アルバムに追加】

現在選ばれている画像を選択したアルバムに追加できます ([図 21](#))。

【アルバムから外す】

現在選ばれている画像をアルバムから削除します。

【音声メモ】

音声ファイルを再生、停止します。または音声メモ付き画像の音声メモファイルを削除します。

[AF 駆動音低減]

MP4 形式と MOV 形式の動画ファイルの場合、動画内の AF 駆動音を低減して別のファイルとして保存します。

[メタデータ]

メタデータのコピーや削除を行えます。

- **[ファイル情報/撮影情報を書き出し]** : 画像の撮影情報をテキストファイルに書き出します。
- **[ファイル情報/撮影情報をコピー]** : 画像の撮影情報をクリップボードにコピーします。
- **[IPTC 情報をコピー]** / **[IPTC 情報を貼り付け]** (Windows) / **[IPTC 情報をペースト]** (macOS) : 画像の IPTC 情報をコピー/貼り付け (ペースト) します。
- **[XMP/IPTC プリセットを読み込み]** : XMP/IPTC プリセットファイルを読み込みます。
- **[位置情報をコピー]** / **[位置情報を貼り付け]** (Windows) / **[位置情報をペースト]** (macOS) : 画像の位置情報をコピー/貼り付け (ペースト) します。
- **[位置情報を削除]** : 画像の位置情報を削除します。
- **[方位情報を削除]** : 画像の方位情報を削除します。

[スライドショー]

現在選んでいる画像またはフォルダー内すべての画像を使用してスライドショーを開始します ([図 213](#))。

【調整】メニュー

調整(A)	
グレーポイントサンプルツール(W)	W
トリミングツール(T)	T
傾き補正ツール(R)	R
自動レタッチブラシツール(B)	B
カラーコントロールポイントツール(A)	A
<hr/>	
すべての調整をコピー(C)	Ctrl+Shift+C
調整を貼り付け(P)	Ctrl+Shift+V
<hr/>	
すべての調整を保存(S)...	Ctrl+Shift+J
調整を読み込み(O)...	Ctrl+Shift+O
<hr/>	
撮影時の状態に戻す(U)	Ctrl+U
最後に保存された状態に戻す(V)	Ctrl+Shift+U

【グレーポイントサンプルツール】

クリックしたピクセルをサンプリングして、そのピクセルがグレーになるように自動でホワイトバランスを調整します ([🔗 116](#))。

【トリミングツール】

画像の必要な部分だけを切り抜きます ([🔗 160](#))。

【傾き補正ツール】

画像の傾きを調整します ([🔗 165](#))。

【自動レタッチブラシツール】

画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除けます ([🔗 146](#))。

【カラーコントロールポイントツール】

カラーコントロールポイントを使用して画像を調整できます ([🔗 150](#))。

【すべての調整をコピー】

すべての項目の設定をコピーします。

【調整を貼り付け】 (Windows) / 【調整をペースト】 (macOS)

コピーした調整を画像に適用します。

[すべての調整を保存]

すべての項目の設定を、ひとつの設定ファイルとして保存します ([📖 189](#))。

[調整を読み込み]

設定ファイルを読み込んで、調整を適用します ([📖 184](#))。

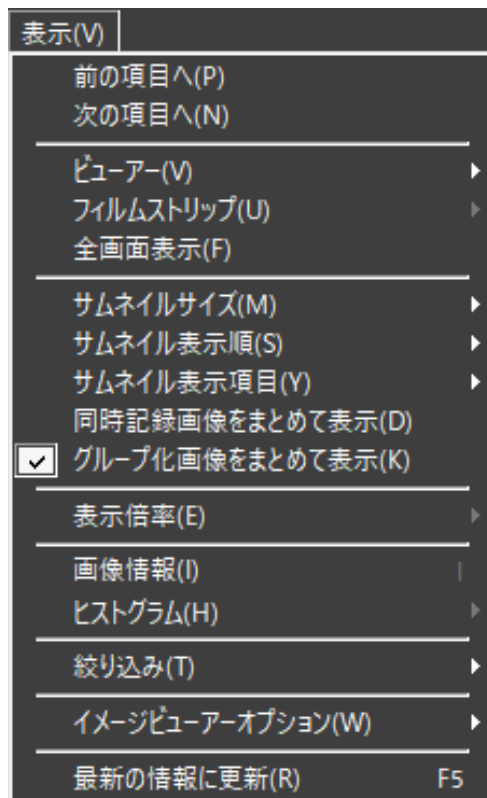
[撮影時の状態に戻す]

調整をすべてリセットして、撮影時の状態に戻します。

[最後に保存された状態に戻す]

調整ファイルの内容がリセットされ、NX Studio で行った調整が削除されます。

【表示】メニュー



【前の項目へ】 / 【次の項目へ】

現在のフォルダー内にあるファイルの表示を切り換えます。

【ビューアー】

ビューエリアの表示を切り換えます ([図 34](#))。

【フィルムストリップ】

フィルムストリップの表示位置を切り換えます ([図 46](#))。

【全画面表示】

モニターいっぱいに画像を表示します ([図 48](#))。

[サムネイルサイズ]

サムネイル表示またはフィルムストリップでのサムネイルの表示サイズを変更します。

[サムネイル表示順]

サムネイルの表示順をソートします。

[サムネイル表示項目]

サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合に、サムネイル上のファイル名、ラベル、レーティング、アイコンなどの表示/非表示を切り換えます。

[同時記録画像をまとめて表示]

オンにすると、サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合に、RAW+JPEG または RAW+HEIF 形式で撮影した画像をまとめて表示します。

[グループ化画像をまとめて表示]

オンにすると、サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合に、スマートフォトセクターや連続撮影グループで撮影された画像をまとめて表示します。

[表示倍率]

イメージビューアー表示、2 画面表示、4 画面表示、調整結果比較の場合の画像の表示サイズを変更します。

[画像情報]

オンにすると、ビューアーに画像の撮影日時やカメラ名などの情報を表示します。

[ヒストグラム]

オンにすると、ビューアーに画像のヒストグラムを表示します。チャンネル別や明度表示の設定も変更できます。

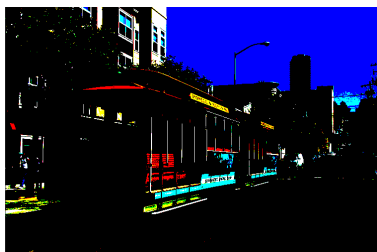
[絞り込み]

ラベル、レーティング、プロテクト、ファイル形式で表示する画像を絞り込みます。

[イメージビューアーオプション]

ビューアーの表示を切り換えます。

- **[グリッドを表示]** : オンにすると、ビューアーにグリッドを表示します。
- **[フォーカスポイント表示]** : オンにすると、表示している画像のフォーカスポイントを表示します。
- **[白とび表示]** : オンにすると、画像の白とび（画像が非常に明るい部分=値が 255 の部分）を RGB チャンネルごとに色別で表示します。



- **[黒つぶれ表示]** : オンにすると、画像の黒つぶれ（画像の非常に暗い部分=値が 0 の部分）を RGB チャンネルごとに色別で表示します。

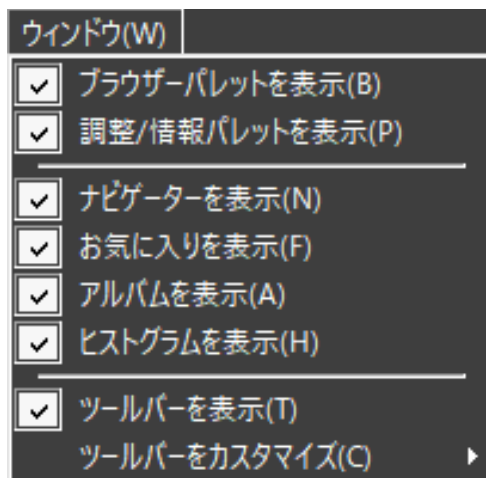


- **[RAW 画像を表示]** : オンにすると、NEF/NRW 形式のファイルを選んでいる場合にビューアーに RAW 画像を表示します。オフの場合はプレビュー画像が表示されます。[調整] タブで調整を行った画像を選んでいる場合や階調モードを設定できるカメラで HLG に設定して撮影した RAW 画像を選んでいる場合は設定内容にかかわらず、RAW 画像を表示します。

[最新の情報に更新]

ビューアーおよびフィルムストリップの表示を最新の情報に更新します。

[ウィンドウ] メニュー



[ブラウザーパレットを表示] / [調整/情報パレットを表示] / [ナビゲーターを表示] / [お気に入り
を表示] / [アルバムを表示] / [ヒストグラムを表示]

各パレットの表示/非表示を切り換えます。

[ツールバーを表示]

ツールバーの表示/非表示を切り換えます。

[ツールバーをカスタマイズ]

ツールバーに表示する項目を設定します。オンにした項目がツールバーに表示されます。

【ヘルプ】メニュー



【NX Studio ヘルプ】

ヘルプを表示します。

【Nikon ID を表示】

ログイン中の Nikon ID を表示します。

【NX Studio 設定】

Web ブラウザーで NX Studio 設定を表示します。

【利用規約】

Web ブラウザーで利用規約を表示します。

【プライバシーノーツ】

Web ブラウザーでプライバシーノーツを表示します。

【ログアウト】

Nikon ID のログアウトを行えます。

【Nikon ID アカウント設定】

Web ブラウザーで Nikon ID アカウント設定を表示します。

[NIKON IMAGE SPACE を開く]

Web ブラウザーで NIKON IMAGE SPACE を表示します。

[バージョン情報] (Windows)

バージョンの確認ができます。